

社会福祉法人三宝会令和元年度事業報告

今年度は、新しい元号「令和」にさまざま希望を託して語られた祝賀ムードのうちに始まりました。まさに新しい時代の幕開けとなる年でした。年度末には確かにこれまでにない時代が到来したのですが、それは誰も待ち望まなかった未知の感染症が世界を席卷する時代でした。

年度当初にルンビニあゆみ園が袋井駅南に開園しました。6月に理事・監事の改選、理事長の重任が行われました。10月から幼児教育・保育の無償化がスタートしました。次年度の事業展開を踏まえ、ルンビニあゆみ園の幼保連携型認定こども園への移行準備、グループホームの建物設計などを行いました。また、働き方改革の一環として有給休暇の取得促進、同一労働同一賃金による非正規職員の処遇見直し等の検討を進めました。

年明け以降は新型コロナウイルスのニュースが次第に世間を騒がせるようになり、3月に入る頃には世界的な流行に至り、感染予防対策が各事業所で喫緊の課題となりました。

<職員>

職員数 198名（月平均） 新入職員 35名 退職者 19名

資格取得者 社会福祉士 1名、社会福祉主事 2名

育児休業取得者 4名

<施設整備>

紫雲の園	ポータブル発電機整備、居室（3室）エアコン取替
浅羽デイサービスセンター	脱衣室床張替、脱衣室屋上防水工事、厨房エアコン取替
ひなた	トイレ・キッチン・廊下洗面台給湯工事、網戸取替
ルンビニ保育園	2階西側保育室増築工事、2階保育室壁クロス貼替、1階保育室床張替
ルンビニ第二保育園	プール内壁塗装、泥遊び場設置
ルンビニあゆみ園	日除け用テント支柱設置、園庭ブランコ設置、園支援システム

<経営状況>

・介護部門について

紫雲拠点区分の収入は前年度より増えたものの、老朽化した建物・設備の修繕費や高騰している人材紹介料など経費の上昇とグループホームの設計費のため、損益では前年度を下回ることになりました。前年度に引き続き次年度建設予定のグループホームの建設資金を積み立てました。

入所施設では稼働率の目標値を3年ぶりに達成しました。平均要介護度はこの3年間で要介護3前半から要介護4に近づきつつあり、稼働率とともに収入に反映しています。短期入所は長期利用の申し込みが継続的にあったことから比較的堅調な稼働率を保つことが

できました。通所事業所では利用者数が減少傾向にあります。令和元年度においては1人当たり単価が上がったことにより増益になりましたが、利用者数の減少にどのように対応するかがこれからの課題です。

ひなた拠点区分は当期活動増減差額が前年度までの2期連続マイナスからプラスへと転じました。小規模多機能の特性を活かした迅速な対応が評価されて利用稼働率の向上につながりました。登録者数の伸びに応じて職員を増員し、コミセン祭りへの参加やひなた文化祭の催しなど地域交流にも力を入れ、地域での認知度を高めるように努めました。

・保育部門について

ルンビニ保育園は懸案であった保育室の狭小さについて県から改善するよう指導を受けました。急きょ2階保育室を拡張しましたが、それでも損益分岐点に達する園児数を受け入れるだけの面積はありませんので、抜本的な対策を要します。ルンビニ第二保育園はこの年度末に退職された第二保育園初代園長にとっての最終年度になりました。有終の美を飾るに相応しい予算に沿った堅実な経営状況でした。ルンビニ保育室花びらは年度前半に保育士の確保ができるとその後は順調に上限まで園児を受け入れて収益を残すことができました。ルンビニあゆみ園は開設初年度ということで年長児が少ないこともあり定員に対する充足率は67%でした。0歳児・障がい児・外国人児童の受け入れを積極的に行ったことが収入増につながりました。開設初年度の収支は事前の事業計画を上回る好成績でした。次年度から幼保連携型認定こども園に移行しますので、地域に「ルンビニあゆみ園」を発信することで1号認定こどもの入園につなげていきます。

以下、実施した事業について個別に報告します。

なお、事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の付属明細書は作成していません。

法人本部

1 理事会の開催

開催年月日	出席者数	決議事項
令和元年5月27日	5/6名	平成30年度事業報告について 平成30年度決算報告について 定時評議員会の開催について 経理規程の一部改正について 文書取扱規程の一部改正について 公印管理規程の一部改正について 介護保険事業に属する職員への令和元年6月支給の賞与の額について 三宝会親睦クラブ（サークル）活動助成実施要領の制定について グループホームの新設計画の承認について

令和元年 6 月 20 日	5/6 名	<p>令和元年度資金収支補正予算の承認について 保育園の管理規程の廃止及び運営規程の制定について</p> <p>理事長の選定について 三宝会親睦クラブ（サークル）活動助成実施要領の制定について 保育園の管理規程の廃止及び運営規程の制定について</p>
令和元年 11 月 28 日	6/6 名	<p>介護事業と法人本部に属する職員への令和元年 12 月支給の賞与の額について 法人本部及び介護事業に属する職員の給与規程の一部改正について 指導監査の実施結果における改善指導事項に対する是正・改善について 指導監査の実施結果における助言指導事項に対する是正・改善について ルンビニ保育園 2 階保育室拡張工事の承認について 積立金取崩の取り消しと前期末支払資金残高の取り崩しについて 資金収支補正予算の承認について 苦情解決に関する要綱の一部改正について 苦情解決第三者委員の選任について （介護事業所）運営規程の一部改正について （保育所）運営規程の一部改正について 経理規程の一部改正について ルンビニあゆみ園の幼保連携型認定こども園への移行について 定款の一部改正について 役員の報酬等の総額の決定について 評議員会決議の省略について</p>
令和 2 年 3 月 24 日	6/6 名	<p>保育事業に属する職員の給与規程（別表 7）の一部改正について 令和元年度資金収支補正予算の承認について 定款施行細則の一部改正について 保育事業に属する職員の給与規程の一部改正について 法人本部及び介護事業に属する職員の給与規程の一部改正について</p>

令和2年3月31日	6/6名	<p>ルンビニ第二保育園園長の交代について</p> <p>ルンビニ保育園副園長の選任について</p> <p>ルンビニあゆみ園副園長の選任について</p> <p>地域包括支援センター管理者の再雇用期間の延長について</p> <p>在宅部長兼浅羽ケアマネジメントセンター長の再雇用期間の延長について</p> <p>紫雲の園看護課長の再雇用期間の延長について</p> <p>経理規程の一部改正について</p> <p>苦情解決に関する要綱の一部改正について</p> <p>各保育園拠点区分の前期末支払資金残高の取り崩しについて</p> <p>令和2年度事業計画の承認について</p> <p>令和2年度資金収支予算の承認について</p> <p>保育事業に属する職員の給与規程の一部改正について</p> <p>育児・介護休業等に関する規則の一部改正について</p> <p>ルンビニあゆみ園運営規程の一部改正について</p> <p>研修受講費支給規程の制定について</p>
-----------	------	---

2 評議員会の開催

開催年月日	出席者数	決議事項
令和元年6月20日	6/7名	<p>平成30年度決算報告について</p> <p>理事及び監事の選任について</p> <p>補欠理事の選任について</p>
令和元年7月9日	みなし	定款の一部改正について
令和元年12月5日	みなし	<p>定款の一部改正について</p> <p>役員の報酬等の総額の決定について</p>

3 監査・実地指導の実施

(1) 法人監事による監査

令和元年5月24日 事業運営、決算

(2) 静岡県、袋井市

令和元年10月2日 社会福祉施設（ルンビニ保育園、ルンビニ第二保育園、ルンビニあゆみ園）の指導監査 静岡県

令和2年1月28、29日 社会福祉法人指導監査 袋井市

令和2年2月13日 地域型保育事業所（花びら）の指導監査 袋井市

4 役員研修会の参加

開催年月日	研修場所	内容	参加者数
平成 31 年 4 月 15 日	グランシップ	監事監査研修会	監事 1 名

5 登記事項等

資産の総額の変更（平成 31 年 3 月 31 日現在） 令和元年 6 月 24 日登記
 理事長の重任（令和元年 6 月 20 日重任） 令和元年 6 月 24 日登記

6 寄付金品の受領

寄付件数 10 件 寄付金額 515,607 円（物品で頂いたものについての相当額を含む）

7 その他

（1）令和元年度事業計画の重点目標の達成状況

更なる公益的な取り組みの検討	△	検討の結果、見送り
スケールメリットを活かした効率化	△	検討の結果、見送り
保育部門における経営情報の共有	○	保育園長会の月例実施
各事業所の I C T 化の支援	○	給食費の徴収事務等
将来を見通した就労環境の整備	△	顧問社労士と協議中

（2）地域における公益的な取り組み

ア 社会福祉法人等による利用者負担軽減事業の実施

軽減対象者 15 名（月平均）
 利用者負担軽減額 2,414,858 円
 市町補助金 829,913 円
 法人負担額 1,584,945 円

イ 「認知症にやさしい地域を創る会」への参加

浅羽地区の医療・介護従事者の協働により立ち上げた「認知症にやさしい地域を創る会」の企画・運営に三宝会も積極的に参加し、法人本部では県社協の助成金の申請事務等を行いました。

開催日	会場	内容	参加者数
令和元年 7 月 11 日	メロープラザ	講義「「認知症について」	50 名
令和元年 11 月 24 日	メロープラザ	令和元年度メロープラザ市民提案事業「認知症地域支援推進セミナー」	126 名

紫雲の園利用状況について

令和元年度の紫雲の園入退所状況は、入所者29名、退所者29名であり、退所者の内26名(前年度19人)は施設での看取りであった。年間延べ利用者数は32,304人(前年度32,173人)で稼働率は98.1%(前年度97.9%)であり、目標としていた98%を達成した。

入所者の平均要介護度は、平成28年度は3.36であったが、その後ゆっくりと重度化が進み、平成29年度は3.62、平成30年度は3.73、そして令和元年度は3.87であった。

体調変化や検査による入院は、上半期は延べ38日と例年に比べて大変少なかったが、下半期には延べ147日と例年に比べて多く、年間では延べ185日(前年度270日)となり、下半期の稼働率低下に影響を及ぼした。

年間定員32,940人から延べ利用者、入院者及び外泊を差し引いた451人(床)が空床であり(前年度392床)、利用者が退所をしてから次の利用者が入所するまでに平均15.6日を要していることとなる(前年度15.8日)。

令和元年度は12月に退所者が重なり、優先入所会議の開催が間に合わなくなる場面も見られたが、それ以外の時期には、長期間の空床が発生しない取り組みが徹底できたため、年間稼働率は3年ぶりに98%を上回った。上半期の入院者数が極端に少なかったことも、稼働率を押し上げた要因であるが、下半期は例年以上の入院者数であり、今後も利用率に大きく影響を与える要因となっていく事が考えられる。

参考資料：別表1

資料1：保険者別入所者数

保険者	男	女	計
袋井市	15	66	81
磐田市	0	3	3
掛川市	1	2	3
静岡市	1	0	1
鴨川市	0	1	1
大垣市	0	1	1
計	17	73	90

資料2：年齢別入所者数

才	男	女	計
～65	0	0	0
～70	2	1	3
～75	5	1	6
～80	4	9	13
～85	1	11	12
～90	4	19	23
～95	1	22	23
～99	0	7	7
100～	0	3	3
計	17	73	90

平均年齢	
男性	79.2歳
女性	88.6歳
全体	86.8歳

資料3：身元引受人の状況

続柄	人数
配偶者	5
子供(子の配偶者)	68
孫	0
(義)兄弟姉妹	6
親戚	4
後見人	6
その他	1
計	90

資料4：在所期間別入所者数

年	男	女	計
1年未満	6	19	25
~ 2	3	12	15
~ 3	2	9	11
~ 4	1	5	6
~ 5	2	7	9
~ 6	0	4	4
~ 7	0	3	3
~ 8	2	8	10
~ 9	0	1	1
~ 10	0	1	1
~ 11	0	0	0
~ 12	0	2	2
~ 13	1	1	2
~ 14	0	0	0
~ 15	0	1	1
15年以上	0	0	0
計	17	73	90
平均入所期間		3年6カ月	

令和2年3月31日現在

資料5：退所者の状況

年齢	性別	退所理由	在籍日数
94	女	看取り	2411
84	女	他施設入所	1176
83	女	看取り	1693
90	女	看取り	1735
99	女	看取り	1759
91	男	看取り	1252
97	女	看取り	1005
85	女	看取り	77
83	男	看取り	1559
98	女	看取り	529
91	女	看取り	1686
77	男	看取り	211
75	女	看取り	49
93	女	看取り	983
90	女	看取り	2671
83	女	看取り	1770
80	女	他施設入所	2545
86	女	看取り	117
86	女	看取り	2078
85	女	看取り	2647
87	女	看取り	1267
93	女	看取り	444
81	男	看取り	690
88	女	看取り	853
79	女	看取り	810
82	女	看取り	466
89	女	看取り	90
72	男	入院	384
96	女	看取り	1905
退所者29名の内 施設での看取りは26名 (平成30年度は19名)			

紫雲の園短期入所利用状況について

短期入所の稼働率については、長期利用の申し入れを積極的に受け入れる事によって、利用率の安定を目指した。しかし、長期利用者は同時に紫雲の園入所申込者であり、例年に比べて紫雲の園退所者が多かった事が、短期入所稼働率の停滞に大きく影響を与えている。しかし、12月以降は季節性の変動や入所への切り替えによって再び稼働率が低迷し、年間の利用率は67.1%(前年度62.4%)であった。長期利用者のための居室確保をどのように考えていくべきであるか、議論を深めていく必要がある。

参考資料：別表2

事業計画の進捗状況

利用者の視点・・・ご利用者の満足度向上のために、各部署が年度内に、必ず1つ以上の新たな取り組みを行う。

担 当	取 り 組 み	結 果(評 価)	
全 体	全ての部署において新たな取り組みが実施されていること。 上半期中に取り組み開始、または計画立案までの進捗を目指し、企画会議において状況を点検する。	毎月開催している企画会議において、進捗状況を管理してきたが、どの部署においても概ね計画通りに実行する事が出来ていた。情報共有の部分が徹底出来ていない事案が見られたため、その方法から見直しをしていく必要がある。	
医 務	日常の声掛け、観察、バイタル・排便・排尿・食事量の評価を基に異常の早期発見、適切な看護、苦痛の緩和に努める。	体調変化などの早期発見と、それに対する適切な看護を、年間通して提供する事が出来た。	
介 護	花 北	ご利用者の状態の変化を職員全員が把握している事により、ご利用者1人1人が満足した生活を送れるようにする。	ご利用者のアセスメントを居室担当者が行い、評価票に記入し、棟内職員に共有する事を目標としたが、棟内への共有の部分が不十分であった。
	花 南	ご利用者の満足度向上のため、行事へのご家族の参加を呼びかけ、全てのご利用者が施設外へ出掛ける機会を作る。	毎月1回の施設内行事は開催できたが、施設外への外出の機会は、一部のご利用者にしかな提供出来なかった。
	森 北	全職員が計画、実行に関与したレクリエーションを半期に1回以上実施する。	上半期、下半期共に全ての職員が関与してレクリエーションを実施する事が出来た。
	森 南	ご利用者に楽しんでいただく時間を増やすために、毎月1回以上のイベントを実施して、余暇活動を充実させる。	年間を通して、毎月1回のイベントを開催することが出来た。
訓 機 練 能	月末の評価時に次の目標と運動プログラムを全員分検討することにより、ご利用者の現在のADLを出来る限り維持していく。	他職種との連携により、計画通りに運動プログラムの改善と実施が出来た。	
給 食	日常の食事に変化を取り入れるために、半期に2回、行事食の提供を行う。	ご利用者や職員の意見を反映した行事食を、半期に2回以上提供する事が出来た。	

財務の視点・・・福祉サービスを継続的に提供し続けるための資金や、ご利用者や地域、

または職員へ還元するための資金を得るため、高水準なサービス利用率を目指す。

担 当	取 り 組 み	結 果 (評 価)
全 体	【利用率目標】入所：必達目標98% 短期：必達目標65% 強化プロジェクト会議において毎月進捗管理を行いつつ、外れ値が出た場合には早急に改善措置を講じる。	入所、短期入所共に必達目標を達成した。しかし、下半期の入所稼働率は97.2%で、上半期のアドバンテージによって年間稼働率を達成しているため、今後の動向を注視していく必要がある。
相 談	入所の必達目標を達成するため、優先入所委員会で承認される実質的な待機者数を増やす。	優先入所委員会の開催頻度を多くして対応したが、退所者が多かった月に、入所案内が滞る事態が発生した。
	入所申込者を確保するため、適切な営業活動を行い、相談件数が5件以上あることを目指す。	年間入所申込者数は59件で、目標にあと一步及ばなかった。営業件数も目標に大きく及ばなかった事から、業務の優先順位を見直す必要がある。
花 南	ショートステイの稼働率向上のために、余暇活動やレクリエーション、行事の充実を図り、リピート率の向上を目指す。	ショートステイの稼働率維持に最も貢献されたのは、安定的なロングショート利用者の存在であった。更に稼働率を高めるには短期のリピーターを増やしていく必要がある。

業務の視点・・・職場の生産性向上に寄与する取り組みを積極的に取り入れ、職員のライフ

ワークバランスを整えることにより、働きやすい職場環境を目指す。

担 当	取 り 組 み	結 果 (評 価)
全 体	【有給消化目標】全職員が7日以上消化すること。 【残業時間目標】毎月の平均残業時間が2時間以下であること。	有給消化7日以上は、計画的に消化する事が出来たが、平均残業時間数は常勤職員で3時間程度であり、目標を達成出来なかった。
医 務	業務の効率を上げることにより勤務表作成時に毎月1日有給を取得できるように計画し、全体目標の達成を目指す。	有給消化、平均残業ともに全体目標の数値を達成することが出来た。
介 護	花 北 「ありがとうノート」を作り、職員同士が小さな感謝を伝え合う。	毎月10個以上の書き込みがあることを目標としていたが、目標数以上の記入があり、チームワーク作りに大いに役立った。
	花 南 有給休暇の取得状況を把握し、勤務表作成時点で有給を組み込む。また、月毎の平均残業時間を把握し、残業削減に努める。	有給消化7日以上は、計画的に消化する事が出来たが、平均残業時間数は常勤職員で3時間程度であり、目標を達成出来なかった。
	森 南 連絡帳に記入された内容を確実に申し送る事により、職員同士の情報共有を徹底する。	全ての情報が共有出来ていた訳ではないが、一定の効果は得られている。今後予定されるIT化により更なる情報共有を図る。
訓 機 練 能	業務の効率を上げることにより勤務表作成時に毎月1日有給を取得できるように計画し、全体目標の達成を目指す。	有給消化、平均残業ともに全体目標の数値を達成することが出来た。
事 務	事務員同士の報連相を確実に行うことにより、滞ってしまう業務が無いことを目指す。	常に報連相を心掛けた事により、事務業務を円滑に行うことが出来た。

人材の視点・・・全ての職員が常にスキルアップしていくことを目的として、定期的な施設内研修の開催や、外部研修への参加を推進する。

担 当		取 り 組 み	結 果 (評 価)
全 体		【内部研修】各個人ごとに5割以上の参加率であること。 【外部研修】常勤職員は必ず1回以上参加すること。	内部研修については目標としていた5割以上の参加を達成できたが、外部研修については、参加できなかった職員が数名いた。安定した勤務体制による、外部研修に参加しやすい状態を確立していく必要がある。
医 務		自己のスキルアップのため内部、外部研修に参加し、全体目標達成を目指す。	内部研修への参加は目標達成できたが、外部研修へは殆ど参加する事が出来なかった。
介 護	花 北	研修参加を積極的に行い、その内容が業務に活かされるよう会議の時間を利用してフィードバックを行う。	内部、外部研修共に目標通り参加できたが、その内容を有効に活かしてきれていない状態である。フィードバックの方法を再検討したい。
	森 北	外部研修に参加し、各職員のスキルアップから棟全体のスキルアップに繋げる。	外部研修への参加率は50%程度に留まり、目標には大きく及ばなかった。
	森 南	研修日が把握しやすい状態を作り、内部研修参加率5割以上達成する事により職員のスキル向上を目指す。	内部、外部研修共に目標通り参加できた。
訓 機 練 能		内部研修へ積極的に参加し、自己研鑽に努める。	内部、外部研修共に目標通り参加できた。
事 務		内部研修へ積極的に参加し、自己研鑽に努める。	内部、外部研修共に目標通り参加できた。

外出・外泊等の状況

施設イベント外出件数：4件17名 家族外出実施件数:16件 外泊実施件数:2件

苦情対応・事例報告等の状況

外部から		内部報告		外部へ	
苦情受付	1	事例・インシデント	419	(保険者へ)事故報告	6
ご意見・ご提言	0	事例・アクシデント	212		

防災訓練の実施状況

実施月	4月・5月・10月・3月	6月・9月・11月・2月	7月・12月	8月・1月
訓練内容	設備、マニュアル等の周知	地震及び地震からの火災	火災	風水害

食事の提供状況

(1) 年平均1日あたり摂取栄養量

	熱量 k c a l	蛋白質 g	脂肪 g	カルシウム mg	鉄分 mg	ビタミン C mg	ビタミン A Mg	ビタミン B 1 mg	ビタミン B 2 mg
基準量	1566	51.9	34～52	519	5.2	85	469	0.84	0.94
摂取量	1539	53.3	41.6	488	9.1	59.6	555	0.98	0.8

レチノール当量

(2) 一日あたり1名平均給食材料費 580円

(3) 調理内容(入所利用者の食数)

主食		副食	
米飯	18	常食	9
軟飯	20	一口大	10
粥	36	刻み	32
ミキサー粥	10	超刻み	23
ゼリー	5	ソフト	10
経管栄養	1	ゼリー 経管栄養	6
計	90	計	90

内部研修への参加状況

参加研修名	日程	主催	参加人数
衛生研修会(食中毒)	5月13日・5月15日	衛生委員会	48
アンガーマネジメント研修	7月4日	研修委員会	43
排泄研修会	9月11日	排泄委員会	14
リスク研修会(事故防止)	9月20日	リスク事例検討委員会	26
衛生研修会(感染症)	10月23日・10月25日	衛生委員会	42
アンガーマネジメント研修	1月17日	研修委員会	31
合計			204
職員1人あたり			3.3

外部研修への参加状況

参加研修名	日程	主催	延参加人数
働き方改革セミナー	5月15日	磐田公共職業安定所	1
中東遠地区職種別研究会(給食)	5月24日	中東遠地区特養連絡会	1
認知症介護基礎研修	6月13日	静岡県介護福祉士会	1
特定技能制度説明会	6月14日	静岡県	1
家族からのヘビークレーム対応セミナー	6月20日	あいおいニッセイ同和損保	2
中東遠地区職種別研究会(短期入所)	6月26日	中東遠地区特養連絡会	1
ターミナルケア研修	6月28日	静岡県社会福祉人材センター	1
防災に対する心構え取組について	7月4日	静岡県西部老人福祉施設協議会	1
認知症介護実践者研修	7月9日～6日間	静岡県社会福祉人材センター	12
認知症介護基礎研修	7月18日	静岡県介護福祉士会	1
人材育成研修会「承認マネジメント」	7月24日	静岡県老人福祉施設協議会	3
高齢者の食支援に係る地区ワーキング	7月30日	西部健康福祉センター	1
中東遠地区職種別研究会(事務)	8月23日	中東遠地区特養連絡会	1
中東遠地区職種別研究会(介護)	9月20日	中東遠地区特養連絡会	1
認知症の人に心地よい介護技術講座	9月25日	静岡県社会福祉人材センター	1
関東ブロック老人福祉施設研究総会	9月26日～2日間	静岡県老人福祉施設協議会	6
磐田北高等学校介護実習発表会	9月30日	静岡県立磐田北高等学校	2
楽しく笑顔になれるレクリエーション	10月7日	静岡県社会福祉人材センター	1
静岡DCAT登録員エリア別情報交換会	10月16日	静岡県社会福祉協議会	1
高齢者の食支援に係る地区ワーキング	10月17日	西部健康福祉センター	1
外交人労働者受入れについて	10月23日	静岡県西部老人福祉施設協議会	1
ゲートキーパー養成研修会	11月12日	袋井市	1
成年後見制度講演会	11月14日	袋井市	1
介護福祉士実習指導者講習会	11月18日～4日間	静岡県介護福祉士会	4
日本認知症ケア学会 東海ブロック大会	11月24日	日本認知症ケア学会	1
中東遠地区職種別研究会(ケアマネ)	12月11日	中東遠地区特養連絡会	1
利用者を癒すタッチケア	12月12日	静岡県社会福祉人材センター	2
労働者派遣法改正説明会	12月16日	静岡労働局	1
リフレッシュ講座	12月17日	静岡県社会福祉人材センター	1
快適なシーティング講座	1月23日	静岡県社会福祉人材センター	1
短期専門講座「認知症ケア」	1月24日	介護労働安定センター	1
技能実習責任者講習	1月27日	(株)ウェルネット	1
中東遠地区職種別研究会(相談員)	1月28日	中東遠地区特養連絡会	1
認知症の人に心地よい介護技術講座	1月31日	静岡県社会福祉人材センター	2
「ポジショニング・シーティング」	2月5日	介護労働安定センター	1
普通救命講習会	2月6日	袋井保安全管理協会	1
リハビリテーション専門職連絡会	2月7日	袋井市	1
喀痰吸引等研修(第2号研修)	2月13日～8日間	聖隷研修センター	8
介護保険制度改正研修	2月19日	白寿園研修センター	5
お困りごと解決！研修	2月27日・3月6日	三幸福祉カレッジ	4
高齢者の食支援に係る地区ワーキング	3月5日	西部健康福祉センター	1
		合計	80
		職員1人あたり	1.3

身体拘束廃止への取り組み状況

存在拘束数	27年3月	28年3月	29年3月	30年2月	31年3月	令和2年3月
対象人数	2	1	1	2	1	0
拘束件数	2	1	1	2	1	0

ボランティアの受け入れ状況

慰問	団体(個人)数	7	団体	実施回数	24	回
作業	団体(個人)数	5	団体	実施回数	6	回

実習・体験学習等の受け入れ状況

(1) 実習の受け入れ

2	件	3	名	43	延日
静岡県立磐田北高等学校 2名					
静岡県立横須賀高等学校 1名					

(2) 体験学習等

1	件	4	名	8	延日
袋井南中学校 4名					

別表 1

令和元年度 紫雲の園利用実績報告

区分	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		年間			
	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	日数	点数		
要介護1 (547)	4	120	4	124	4	120	4	124	4	124	4	120	2	62	2	60	2	62	2	62	2	58	2	62	1098	600606		
要介護2 (614)	4	120	4	124	4	120	4	124	4	124	4	120	5	155	5	150	5	155	5	155	5	145	5	155	1647	1011258		
要介護3 (682)	23	690	24	685	21	618	20	620	19	589	18	540	21	574	23	664	24	656	23	713	26	691	26	752	7792	5314144		
要介護4 (749)	33	929	31	961	31	924	33	973	33	960	35	986	33	985	31	901	35	991	34	1051	32	895	33	956	11512	8622488		
要介護5 (814)	28	821	29	871	31	888	30	927	31	954	31	902	32	929	31	877	30	790	25	775	27	758	26	763	10255	8347570		
計	92	2680	92	2765	91	2670	91	2768	91	2751	92	2668	93	2705	92	2652	96	2654	89	2756	92	2547	92	2688	32304	23896066		
加算	日常生活 (36)	2680		2765		2670		2768		2751		2668		2705		2652		2654		2756		2547		2688		32304	1162944	
	看護 (4)	2680		2765		2670		2768		2751		2668		2705		2652		2654		2756		2547		2688		32304	129216	
	看護 (8)	2680		2765		2670		2768		2751		2668		2705		2652		2654		2756		2547		2688		32304	258432	
	夜勤 (13)	2680		2765		2670		2768		2751		2668		2705		2652		2654		2756		2547		2688		32304	419952	
	栄養ケア (14)	2680		2707		2670		2768		2751		2668		2705		2652		2654		2756		2547		2688		32246	451444	
	機能訓練 (12)	2680		2765		2670		2768		2751		2668		2705		2652		2654		2756		2547		2688		32304	387648	
	初期 (30)	9	36	24	13	71	48							58	56	32	118	50	63	578	17340							
	外泊 (246)	6	10	6	0	0	0							12	6	12	0	16	18	86	21156							
	退所前連携	0	0	0	0	0	0							0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	退所前相談 援助加算	0	0	0	0	0	0							0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	看取り (144)	4	3	0	1	3	6							0	0	38	0	7	0	62								
(680)	2	2	2	2	2	6							0	0	11	0	4	2	33									
(1280)	1	1	1	2	1	3							2	0	6	0	2	1	20									
食費算定日数	2680		2765		2670		2768		2751		2668		2705		2652		2654		2756		2547		2688		32304			
居住算定日数	2686		2775		2676		2768		2751		2668		2717		2658		2666		2756		2563		2706		32390			
日用品算定日数	2680		2765		2670		2768		2751		2668		2705		2652		2654		2756		2547		2688		32304			
預金管理	4	4	4	4	4	4							4	4	3	3	3	3										
稼働率	99.3%		99.1%		98.9%		99.2%		98.6%		98.8%		97.0%		98.2%		95.1%		98.8%		97.6%		96.3%		98.07%			
平均介護度	3.83		3.84		3.88		3.89		3.91		3.91		3.95		3.90		3.86		3.84		3.84		3.82		3.87			
新入所数	2		1		2		1		3		1		5		2		6		0		3		3		29			
退所者数	2		2		1		3		1		3		3		2		7		1		2		2		29			
入院人数/日数	1	10	2	11	2	17	0	0	0	0	0	0	2	14	2	21	2	16	0	0	3	35	3	61	185			
法人減免対象数	13		13		13		13		14		14		14		15		15		15		15		14					

令和元年度 紫雲の園短期入所利用実績報告

別表 2

区分	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		年間	
	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数		
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
要支援2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	3	1	3	1	2	1	3	2	7	1	3	1	3	34	
要介護1	6	46	8	47	10	75	14	126	9	57	7	36	7	40	6	39	10	53	8	63	9	70	5	42	694	
要介護2	5	25	5	26	4	32	2	6	3	19	6	20	4	21	6	35	7	40	6	35	7	58	8	64	381	
要介護3	3	54	4	36	5	44	4	36	4	50	7	82	4	50	5	25	1	3	2	8	3	10	1	2	400	
要介護4	1	2	1	2	2	6	2	8	4	30	4	41	3	35	2	32	0	0	5	47	5	61	5	62	326	
要介護5	3	65	3	50	2	19	2	18	3	26	3	20	3	19	5	35	5	61	3	23	2	7	2	32	375	
計	19	194	22	163	24	178	25	196	24	184	28	202	22	168	25	168	24	160	26	183	27	209	22	205	2210	
加算	サ提供加算 (12)	194		163		178		196		184		202		168		168		160		183		209		205		2210
	夜勤配置 (13)	192		161		176		194		182		199		165		166		157		176		206		202		2176
	送迎 /(184)	45		53		55		59		65		59		43		58		49		48		48		46		628
稼働率	71.9%		58.4%		65.9%		70.3%		65.9%		74.8%		60.2%		62.2%		57.3%		65.6%		80.1%		73.5%		67.1%	
平均介護度	3.05		2.85		2.19		1.88		2.69		2.90		2.78		2.90		2.79		2.51		2.37		2.85		2.64	

令和元年度 浅羽デイサービスセンター 事業実績報告

1. 事業の概要

◆通所介護（含 現行相当サービス）

- ①所在地：〒437-1101 静岡県袋井市浅羽 4140 番地
- ②名称：浅羽デイサービスセンター
- ③営業日：月～土曜日(含 祝日)営業。(休業日：日曜日、年末年始(12月30日～1月3日))
- ④営業時間：8時～17時
内サービス提供時間：通所介護… 9時20分～16時30分(基本利用時間7～8時間)
現行相当サービス…10時30分～15時00分(指定なし)
- ⑤加算：通所介護 …………… 入浴介助加算、認知症加算、個別機能訓練加算Ⅰ、個別機能訓練加算Ⅱ、サービス提供体制強化加算Ⅰイ、介護職員処遇改善加算Ⅰ、特定処遇改善加算Ⅰ
現行相当サービス …… 口腔機能向上加算、運動器機能向上加算、生活機能向上グループ活動加算、サービス提供体制強化加算Ⅰイ、介護職員処遇改善加算Ⅰ
- ⑥対象者：概ね65歳以上の高齢者であり、
通所介護 …………… 要介護1から5までの認定を受けた者
現行相当サービス …… 要支援1または2・事業対象者の認定を受けた者
- ⑦定員：50名/日
- ⑧実施区域：旧浅羽町、袋井市岡崎・山崎、及び袋井市内の松袋井・新池地区の一部・柳原・南町・砂本町・清水町・青木町・小川町・上田町・大門二丁目・大門三丁目・豊沢、磐田市豊浜・南御厨地区。

◆通所型サービスA（基準緩和サービス）

- ①所在地：〒437-1101 静岡県袋井市浅羽 4140 番地
- ②名称：浅羽デイサービスセンター 通称：茶ろん
- ③営業日：月～金曜日(含 祝日)営業。(休業日：土・日曜日、年末年始(12月30日～1月3日))
- ④営業時間：8時～17時
内サービス提供時間：10時20分～15時30分
- ⑤対象者：65歳以上の高齢者 ……要支援1または2・事業対象者の認定を受けた者
- ⑥定員：15名/日
- ⑦実施区域：袋井市立浅羽中学校区内（旧浅羽町、袋井市岡崎・山崎）

※職員の入退職職、異動は次の通り。

・ 令和元年 6月	運転手（非常勤）	1名入職
	運転手（非常勤）	1名退職
・ 7月	運転手（非常勤）	1名入職
	運転手（非常勤）	1名退職
・ 8月	運転手（非常勤）	1名入職
	運転手（非常勤）	1名退職
・ 令和2年 1月	介護職員（派遣）	1名入職
	介護職員（非常勤）	1名産前・産後休暇～育児休暇中
・ 2月	介護職員（非常勤）	1名入職
・ 3月	看護職員（非常勤）	1名退職
	介護職員（派遣）	1名退職

…以上 入職者5名、退職者4名（派遣職員含む）
産前・産後休暇～育児休暇中1名

2. 稼働状況

利用延べ人数は、11,820名と平成29年度をピークに減少傾向となり、前年度比-228名であった。また、実利用者数も前年度より12名少ない135名であった。1ヶ月の実利用者数としては100名以上確保することを目標としているが、年度初め106名あった実利用者数が、年度末には93名まで減少してしまった。新規利用者が34名であったのに対し、終了者数が44名と昨年同様であったことが大きく影響した。新規登録者34名のうち、外部居宅介護支援事業所からの紹介者は5名と依然として少ない。年度末時点での登録者数（通所介護）78名のうち、外部居宅介護支援事業所からの紹介は10名で、現在、お付き合いのある事業所が7事業所となっている。外部居宅介護事業所との関係強化が、今後、さらに求められる。

稼働率は例年8～10月に高水準、1～3月に低水準になる傾向であるが、今年度も9月に89.5%、2月には80.8%と落ち込みがみられた。今年度は月間ベースでの『稼働率90%』の到達がなく、平均稼働率は85.3%であった。

平均介護度は、前年度1.64、今年度1.74と0.1ポイント上昇。1人当たりの平均単価は、前年度8,620円、今年度8,902円と282円増となった。結果、前年度比での売り上げ増に繋がった。

終了理由については、死亡が最も多く10名、回復期・療養病床に入院される方が6名、ロングショートステイや訪問型サービスに変更された方が6名、小規模多機能居宅介護（ひなた）が5名、急性期病院に入院4名、特別養護老人ホーム4名と続く。死亡理由がトップになったのは、昨年に続き2回目である。

延べ利用者数、実利用者数は次の通り。

(表-1)

	延べ利用者数 (名)	実利用者数 (名)
平成27年度	11,000	134
平成28年度	11,929	138
平成29年度	12,133	132
平成30年度	12,048	147
令和元年度	11,820	135
前年度比	- 228	- 12

新規利用者数、終了者数は次の通りである。

(表-2)

	新規利用者数	再利用者数	終了者数
平成27年度	延べ47名 実46名	1名	40名
平成28年度	延べ45名 実42名	3名	37名
平成29年度	延べ31名、実28名	3名	33名
平成30年度	延べ50名 実47名	3名	44名
令和元年度	延べ35名 実34名	1名	44名

終了者の理由

(表-3)

理 由		理 由	
死 亡	10名	特別養護老人ホーム	4名
回復期リハビリテーション病床、療養病床	6名	他事業所デイサービス	2名
サービスの変更	6名	サービス付高齢者住宅	2名
小規模多機能居宅介護	5名	その他	5名
急性期病院	4名		

登録者数 135 名の男女比は、男性 46 名(34%)、女性 86 名(66%)、圧倒的に女性が多い傾向は変わらないが、やや男性の比率が上がった。令和 2 年 3 月時点、在籍ベース（通所介護）でのお一人当たりの平均利用回数は 2.78 回と前年度と大きな差はなかった。また、ご利用者様の平均年齢は 86.7 歳と、昨年と比較し 0.4 歳上回った。

総合事業（現行相当サービス）のみの利用状況と平成 27 年度以降の推移は次の通りである。昨年度と比較すると、延べ利用者数は 327 名減、実利用者数は 1 名減となる。これは、総合事業（現行相当サービス）の新規受け入れを行っていないためである。1 日平均にすると 4.6 名が利用されたことになる。

(表-4)

総合事業 (現行相当)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延利用者数	99	118	108	125	132	125	131	134	110	100	106	114	1,402 名
実利用者数	18	18	18	19	19	19	19	19	17	16	16	17	24 名

(表-5)

	延べ利用者数(名)	実利用者数 (名)
平成 27 年度	2,140	39
平成 28 年度	2,090	40
平成 29 年度	1,432	29
平成 30 年度	1,729	25
令和元年度	1,402	24
前年度比	- 327	- 1

延べ利用者数を要介護度別にみると次の通りである。要介護 1 が 51.7%と圧倒的に多く半数を超え、要介護 3・4・5 の中重度は 22.1%と昨年度より 1.3%上回った。

令和 2 年 3 月における平均要介護度は 1.59 であった。

(表-6)

介護度別		要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
	%	8.1	7.6	44.5	16.7	9.7	7.9	5.5
平成 27 年度	名	947	1,193	4,990	1,365	1,256	803	446
	%	8.6	10.8	45.4	12.4	11.4	7.3	4.1
平成 28 年度	名	806	1,284	5,292	1,936	1,231	805	575
	%	6.8	10.8	44.4	16.2	10.3	6.7	4.8
平成 29 年度	名	363	1,069	5,604	2,490	1,478	678	451
	%	3.0	8.8	46.2	20.5	12.2	5.6	3.7
平成 30 年度	名	258	1,471	5,675	2,142	1,816	581	105
	%	2.1	12.2	47.1	17.8	15.1	4.8	0.9
令和元年度	名	287	1,115	6,111	1,684	1,287	778	558
	%	2.4	9.5	51.7	14.3	10.9	6.5	4.7

加算サービスの延べ利用者数は次の通りである。入浴は通所介護のご利用者様の 87.4%が実施している。認知症加算は 3,060 名の方に算定し、延べ人員の 29.3%を占め、来年度の認知症加算算定要件の 20%を達成することができた。一方、中重度者ケア体制加算は中重度者が全体の 25.1%のため、加算要件の 30%に足りず来年度も算定に至らず。機能訓練の加算、個別機能訓練加算Ⅰは 92.4%、個別機能訓練加算Ⅱは 86.9%、運動器機能向上加算は 100%の方に実施した。

総合事業（現行相当サービス）については、口腔機能向上加算、生活機能向上グループ活動加算の実績はなかった。

(表-7)

加算	通所介護				介護予防通所介護		
	入浴	個別機能訓練Ⅰ	個別機能訓練Ⅱ	認知症	運動器の機能向上	生活機能向上	アクティビティ
平成 27 年度	7,655 名			2,346 名		7 名	
平成 28 年度	8,451 名			2,733 名			
平成 29 年度	9,314 名			2,471 名			
平成 30 年度	9,365 名	8,194 名	7,570 名	2,251 名	201 名		
令和元年度	9,112 名	9,631 名	9,055 名	3,060 名	215 名		
前年度比	-253 名	+1,437 名	+1,485	+809 名	+14 名		

給付以外のサービスの利用状況は次の通りである。減免対象者は実利用者数 1 名（延べ 1 名）、生活保護受給者は実利用者数 1 名（延べ 12 名）であった。

ご利用者様の介護度の変動については次の通りである。介護度が軽くなった方は 14 名、重くなった方は 24 名と重度化する傾向にある。

(表-8)

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
要支援 1		2					
要支援 2	1		6		2	1	
要介護 1		4		4	1	2	1
要介護 2		1	4		1	1	
要介護 3			1	1		1	1
要介護 4			1	1			1
要介護 5							

実績内訳の詳細は次頁参照。

介護予防・日常生活支援総合事業がスタートし、通所型サービスA（基準緩和サービス）は3年目を迎えた。しかし、思ったより知名度が低いため、より一層、営業活動に力を入れる必要がある。今年度は29名の方にご利用いただき、3月時点での登録者数は22名である。

利用途中で介護保険申請または更新のため、要介護認定を受けられ当デイサービス（通所介護）をご利用いただいた方は4名。反対に、当デイサービス（通所介護）をご利用されていて要支援の認定を受けられ、通所型サービスA（基準緩和サービス）へ移行された方の実績はなかった。

(表-9)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	18	17	20	23	22	22	23	23	23	23	23	21	29
延べ利用者数	71	73	77	93	80	84	93	88	83	81	84	91	998

(表-10)

	延べ利用者数 (名)	実利用者数 (名)
平成29年度	398	19
平成30年度	787	29
令和元年	998	29
前年度比	+ 211	± 0

3. 計画の実施状況

(1) ご利用者様の視点

■生活に沿った機能訓練の実施

○機能訓練指導員を中心に職員全体で ADL の改善に取り組む。

職員の機能訓練に対する意識も高まり、その成果として、転倒骨折で入院される方はいなかった。パワーリハビリについては、認知症の進行で実施できなくなったケースもあった。

ADL 維持等加算については算定要件が煩雑で近隣施設に算定している事業所もないため、取り組みに消極的になってしまい準備が出来なかった。

○認知症加算を算定しているご利用者様のサービス内容の見直し。

ご利用者様へのサービスの見直しは行えなかった。今後、当施設の売りになるようしっかりと取り組んでいきたい。

(2) 財務の視点

■稼働率 90%（利用者 1 日平均 41 名）を達成する。

4 月 84.5%から始まり、9 月の 89.5%まで少しずつ稼働率が上昇したが、その後、下降し 2 月 80.8%、3 月は 82.1%とやや回復する。今年度は月間ベースでの『目標の 90%』には一度も到達しなかった。

○営業活動の継続。

報告書を届けながら月初めに営業訪問を行った。月半ばに通信紙を配布しながら実績のない居宅事業所へ営業活動に出向くようにした。管理者または機能訓練指導員が出向き、営業内容にも変化を付ける事ができた。

○ホームページを毎月更新し、内容を充実させる。

毎月、通信紙は掲載したが、その他に、デイサービスを PR する取り組みはできなかった。

■一人当たりの報酬単価を上げる。

○加算の算定。

月単位の平均介護度は 1.59~1.85、年間の平均介護度は 1.74 であった。入浴介助加算は平均値 87.4%と前年度より減少し、自宅で入浴しているためセンターでは希望しない方が多くなっている。個別機能訓練加算 I は 92.4%、個別機能訓練加算 II は 86.9%の方に実施した。認知症加算は 29.3%の方に算定した。一人当たりの平均単価は 8,904 円（前年度 8,619 円）であった。

(3) 業務の視点

■介護記録ソフトを使用し、職員の写真のスキルアップを行う。

○利用者様のご家族様にデイサービスでの活動の様子を画像でお伝えする。

利用毎にお渡しする介護連絡ノートに 1 枚の写真を添付する機能があるが、なるべく個人の写真を添付するようにした。個人の写真がないご利用者様には昼食の献立やボランティアの演芸等を添付した。1 日当たり、10 枚を目標としたが、14.5 枚添付することができ、33.9%のご利用者様に個人の写真を添付したことになる。ご家族様から、「様子が分かってよい。」「食事はどんなのができるのか参考になる。」などのお声をいただいた。

(4) 人材の視点

■会議・研修の参加率を上げる。

○ケース会議 22 回、内部研修 6 回実施し、平均出席率 60.1%で目標値の 60%を何とか達成できた。会議に出席できなかった職員には、議事録を回覧し、周知することにした。

○外部研修への参加。

2 月、3 月に研修参加予定であったが、コロナウイルス感染症拡大防止のため中止になり参加できなかった職員 4 名以外は参加できた。

4. 日 課

浅羽デイサービスセンターの1日の流れは次の通りである。

事業 時間	通所介護	総合事業（現行相当サービス）
	サービス提供時間：9：20～16：30	
8:00	送迎	
9:00	手洗い・うがい	
9:20	湯茶サービス バイタルチェック	
10:00	↓ 午前の活動（脳トレーニング、レクリエーション、機能訓練等）	送迎
10:30	入浴 湯茶サービス ↓	↓ 手洗い・うがい 湯茶サービス バイタルチェック
11:00	手洗い・うがい 嚥下体操	午前の活動（脳トレーニング、レクリエーション、生活機能向上グループ活動等） 入浴 湯茶サービス
12:15	昼食 口腔ケア	手洗い・うがい 嚥下体操 昼食
13:30	午後の活動（機能訓練、レクリエーション、趣味活動、季節の行事、慰問見学等）	口腔ケア 運動器機能向上 ドリンクサービス
14:00	ドリンクサービス	午後の活動(レクリエーション、季節の行事、慰問見学等)
14:30		手洗い・うがい おやつ
15:00		送迎 ↓
15:15	手洗い・うがい	
15:30	おやつ	
16:00	カラオケ 帰りの挨拶	
16:30	送迎 ↓	
18:00		

(1)送 迎

リフト付車両(ハイエース、キャラバン)3台、普通自動車(シエンタ)1台、スロープ付自動車(ノア)1台、スロープ付軽自動車(タント)1台、計6台の車両使用。

朝は8時00分、帰りは16時30分に出発した。可能な限りご利用者様ならびにご家族様の状態やご要望に応じて送迎車両や送迎時間を融通した。また、7時間未満でのご利用者様にも対応した。ご利用者様のその時々体調や身体状況に配慮して、個別送迎やベッドからベッドまでの送迎、職員2人体制での送迎等、必要に応じて随時変更し、柔軟に対応した。

大きな事故もなく、安全に送迎を行うことができた。

(2)入 浴

ご利用者様の身体の状況に応じて、適した入浴方法(一般浴・中間浴・特殊浴・個浴)を選択し、安全に配慮して実施した。入浴ができない場合には、ご要望や必要に応じて足浴・陰部洗浄や清拭等を行なった。

洗身及び洗髪の際には、皮膚の観察を充分に行い、皮膚炎や褥瘡等のトラブルの予防に努めるとともに、異常や変化を発見した場合はご家族様に速やかにお伝えし、必要に応じて受診をお勧めした。

ご利用者様のペースでゆっくりと入浴していただくと同時に、自立支援の見地からご自分のできること

はできるだけ行っていただくよう援助した。

また、毎月 26 日は入浴の日とし、季節に合わせた入浴剤を使用し、季節の香りを楽しんでいただいた。5 月の端午の節句には菖蒲湯、12 月の冬至には柚子湯を実施した。

(3)食 事

栄養バランスのとれた食事をご利用様の希望や身体的状況に合わせた形態で提供した。嗜好についても調査し、召し上がれない食材や献立の際には代替食をご用意した。

また、流し素麺やバイキング、鍋等のイベント昼食を企画・実施した。ご利用様に畑で収穫した野菜を調理していただき、食事の時間をより主体的に楽しんでいただけるように工夫した。調理レクも実施し、お一人暮らしや認知症の方にご自宅でも簡単に作っていただけるよう訓練をしたり、脳の活性化のために取り組んだ。日頃は見られない包丁さばき、表情などを見ることができた。

食事前には嚥下体操を行い、摂食時には常に見守り、必要があれば声かけや介助をし、誤嚥による事故の防止に努め安全に召し上がっていただけるように援助した。摂取量の少ないご利用者様には、補助食品の使用等の働きかけも行った。

(4)口腔ケア

ほぼ全員のご利用者様に食後の歯磨きを行っていただいている。ご自分で磨いていただいてから職員が確認し、汚れが落ちていない部分は綺麗に洗っていただくよう助言をしたり、仕上げ磨きをさせていただいた。必要に応じて歯間ブラシや舌ブラシ、スポンジブラシを使用し、口腔内の清潔に努めた。

歯科受診が必要なご利用者様にはご家族様やケアマネジャーに働きかけ、受診に繋げることができた。

(5)ドリンクサービス

到着時、入浴後、昼食時、おやつ時の水分補給以外に、食後の 14 時以降に、ドリンクサービスを実施し、水分補給を兼ねながらお茶のひとつを楽しんでいただくようにしている。

水分摂取量が少ないご利用者様には、脱水等に留意し、水分補給時にお好きな飲み物を提供し、摂取量を多くするよう努めた。また、誤嚥等で水分が摂取できにくい方にはとろみ剤を使用して補給していただいた。

(6)おやつ

季節や行事に合わせたおやつ、誕生会にはお祝いのケーキを提供した。おやつ作りの日を設け、ご利用者様に参加していただいた。当センターの畑で収穫した野菜等を使って、調理活動も実施した。

※手作りおやつについては 5. (2) に記載。

(7)排 泄

ご利用様の排尿・排便の時間的パターンを探り、必要な方にのみ、必要なタイミングで、声かけや誘導、身体状況や生活状況に合わせた介助を行うよう努めた。個々のご利用者様の可能性を職員が検証し、能力を最大限活かせるよう、可能な限り排泄動作の自立を促す支援をした。

ご家庭での排泄状況をできるだけ把握し、排便コントロールが必要なご利用者様には介護連絡ノートに『排便チェック表』を貼付しご家族様に助言した。

(8)健康管理

ご利用の際は、予めご自宅で体温を測定していただき、異常がないことを確認してからご利用いただくようにしている。看護職員が中心となってバイタルチェックを行い、ご利用者様のその日の体調を確認させていただいてから、入浴実施の可否の決定、活動内容や静養の必要等、過ごし方を調整した。熱発等の異常があればご家族様に連絡し、早期受診をお勧めし早期治療に努めた。

また、感染症予防の為、センター到着時、昼食前、おやつ前に手洗いとうがいを行っていただいた。毎日、フロア内の温度や湿度を定時にチェックし、感染症が流行する季節には定期的な換気も行い、環境にも配慮した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、乗車前の検温の徹底、アルコール手指消毒後に

乗車していただき、走行中は窓を開ける事を徹底した。職員は、インフルエンザ流行の季節からマスク着用の徹底を義務付けた。

(9) レクリエーション

※季節の行事、慰問、趣味教室の内容については5. に記載。

(10) 機能訓練の取り組み

機能訓練指導員または相談員、介護職員が居宅を訪問し、生活状況（起居動作、ADL、IADL等の状況）を確認し、個別機能訓練計画を作成し、実施した。その後、3月毎に体力測定（5M歩行、Timed Up&Go、片脚立位、握力）を行い、評価した。併せて、ご利用者様の居宅を訪問し、ご自宅での状況をご家族様に聞き取り、訓練内容の見直しを行った。

個別機能訓練加算Ⅰでは、身体機能の向上を目指し、機能訓練指導員・介護職員が共同し、計画に沿ったプログラムを実施した。

個別機能訓練加算Ⅱでは、生活機能の維持・向上を図り、可能な限り自立して暮らし続けることを目的に機能訓練指導員が5名以下のグループで実施した。

5. 行 事

年間計画にもとづいて、以下の行事を行った。

<通所介護・現行相当サービス>

	内 容			
	季節の行事	慰問・訪問・交流会	趣味教室	その他
4月	誕生会・誕生日ケーキ	善香会(民謡)、グリーンローズ(フラダンス)、図書館(読み聞かせ)、ルンビニ第2保育園(誕生会)	書道、詩吟、壁画、押し花、将棋、調理、ハーバリウム制作、網戸張り、おやつ作り	防災訓練、通信紙
5月	端午の節句・特別おやつ、菖蒲湯、新茶サービス、お茶会・特別おやつ、誕生会・誕生日ケーキ	善香会(民謡)、前野ひばり教室(演芸)、はまゆうの会(演芸)、桑原様・日赤奉仕団(お茶会)、ルンビニ第2保育園(誕生会)	詩吟、絵手紙、野菜の収穫、壁画、将棋、網戸張り、おやつ作り	防災訓練、通信紙
6月	運動会、誕生会・誕生日ケーキ	善香会(民謡)、カラクリボックス(手品・楽器演奏)、美咲会(日舞)、ゆずり葉(読み聞かせ)、フクロウオカリナ合奏団(オカリナ演奏)、ルンビニ第2保育園(誕生会)	書道、詩吟、野菜の収穫、花苗植え、壁画、将棋、カラオケ大会、タイル制作、梅ジュース作り、おやつ作り	防災訓練、通信紙
7月	七夕祭り・散らし寿司、流しそうめん、誕生会・誕生日ケーキ	橋長月様(手品、楽器演奏)、図書館(読み聞かせ)、善香会(民謡)、ルンビニ第2保育園(誕生会)	書道、絵手紙、壁画、将棋、ステンシル、野菜の苗植え、おやつ作り	防災訓練、通信紙
8月	納涼祭、誕生会・誕生日ケーキ	善香会(民謡)、コスモスハーモニー(ハーモニカ演奏)、ゆずり葉(読み聞かせ)、ルンビニ第2保育園(誕生会)	書道、詩吟、壁画、将棋おやつ作り	防災訓練、通信紙
9月	敬老会・特別おやつ、誕生会	羊の会(カラオケ)、美咲会(日舞)、フクロウオカリナ合奏団(オカリナ演奏)、はまゆうの会(演芸)、おかって劇団(演劇)、善香会(民謡)、袋井警察署(交通安全教室)、ルンビニ第2保育園(誕生会)	詩吟、押し花、絵手紙、おやつ作り、野菜の収穫、壁画、将棋、調理、カラオケ大会、ブローチ制作	防災訓練、通信紙 引き渡し訓練・ふれあい広場
10月	秋祭り・お汁粉、誕生会・誕生日ケーキ	アジサイひまわりの会(日舞)、グリーンローズ(フラダンス等)、善香会(民謡)、図書館(読み聞かせ)、ルンビニ第2保育園(誕生会)	書道、詩吟、おやつ作り、壁画、	通信紙
11月	誕生会・誕生日ケーキ	善香会(民謡)、ひまわりの会(日舞)、前野ひばり教室(日舞)、羊の会(カラオケ)、読み聞かせ(ゆずり葉)、ルンビニ第2保育園(誕生会)	書道、押し花、絵手紙、詩吟、クリスマスツリーのランプシェード、おやつ作り、野菜の苗植え・種まき、壁画、調理	防災訓練、通信紙
12月	バイキング昼食、クリスマス会・クリスマスケーキ、餅つき・お汁粉、誕生会・誕生日ケーキ、柚子湯	はまゆうの会(銭太鼓)、フクロウオカリナ合奏団(オカリナ)、善香会(民謡)、トレモロアンサンブル(トレモロ演奏)、ルンビニ第2保育園(お遊戯会)、	書道、押し花、詩吟、壁画、お正月飾り、門松作り、おやつ作り、調理	防災訓練、通信紙
1月	新年会・お祝い饅頭、鍋昼食、誕生会・誕生日ケーキ	善香会(民謡)、大須賀安来節の会(手品)、図書館(読み聞かせ)、羊の会(カラオケ)ルンビニ第2保育園(誕生会)	書道、絵手紙、詩吟、フラワーアレンジメント、壁画、調理、おやつ作り、カラオケ大会、	防災訓練、通信紙
2月	節分、海鮮ちらし寿司、デザートバイキング、誕生会・誕生日ケーキ	コスモスハーモニー(ハーモニカ演奏)、橋長月(手品)、ゆずり葉(読み聞かせ)、善香会(民謡)、ルンビニ第2保育園(誕生会)	詩吟、書道、壁画、野菜の収穫、手拭いで小物制作、おやつ作り、	防災訓練、通信紙
3月	雛祭り・特別おやつ、誕生会・誕生日ケーキ		オリジナルカップ制作、壁画、カラオケ大会、おやつ作り、	通信紙

<通所型サービスA(基準緩和サービス) 通称：茶ろん>

	活 動 内 容	
	内 容 (行事、調理、制作等)	外 出
4月	制作 (ハーバリウム、毛糸の小鳥)、絵手紙、書道、壁画、網戸張り	桜 (諸井河川)、菜の花 (桶ヶ谷沼)、チューリップ畑 (富里)、御衣黄 (大須賀)、買い物 (コメリ)
5月	制作 (フラワーアレンジメント、ハーバリウム)、書道、お茶会、プチナース講座	買い物 (セリア・しまむら)、鯉のぼり (諸井里山)、バラ園 (磐田農業高校)
6月	制作 (七夕飾り)、書道、ゴーヤの定植、ゴーヤ棚作り	買い物 (セリア)
7月	制作 (タイルアート)、壁画、書道、調理 (巻き寿司昼食)	買い物 (遠鉄ストア)
8月	制作 (パステル画)、調理 (ゴーヤの佃煮)、調理 (流しそうめん)、納涼祭	
9月	制作 (押し花)、書道、おやつ作り (ごま団子)、カラオケ大会	
10月	制作 (刺繍、ボタンプローチ)、壁画、書道、秋祭り	
11月	制作 (正月飾り)、押し花、男の料理 (さんまの塩焼き定食、焼き芋)	
12月	制作 (正月飾り、干支の張り子、門松作り)、書道、忘年会 (調理、おやつ作り含む)、もちつき大会	
1月	制作 (フラワーアレンジメント)、壁画、将棋、書道、新年会 (ゲーム)、調理 (鍋昼食)	
2月	制作 (小物入れ)、書道、将棋、おやつバイキング	
3月	制作 (小物入れ)、書道、オセロ・将棋講座、おやつ作り (桜餅)、カラオケ大会	

(1) イベント昼食

日々の食事に変化をもたせ食事の時間を楽しんでいただけるようにした。

- ・ 7月 … ちらし寿司、流し素麺
- ・ 12月 … クリスマスバイキング
- ・ 1月 … 鍋(鶏団子)、
- ・ 2月 … 海鮮ちらし寿司

普段、ほとんど調理をしなくなった方も調理の楽しみを味わっていただく。また、作ることで食欲増進につなげた。考えながら手を動かすことで、脳活性化の効果も期待できた。

- ・ 4月 … じゃが芋と絹さやの煮物
- ・ 9月 … 茄子とピーマンの味噌炒め
- ・ 12月 … 大根とシーチキンの煮物
- ・ 1月 … 鍋昼食の食材切り

(2) 特別・手作りおやつ

誕生会にはグリーンハウスのケーキ、季節感のあるおやつ、行事に関連したおやつを提供した。おやつ作りは作る楽しみ、また、自信に繋がるように実施した。

- ◆特別おやつ： 4月 … 誕生日ケーキ
- 5月 … 苜蓿のお饅頭、新茶、練りきり（お茶会）、誕生日ケーキ
- 6月 … 誕生日ケーキ
- 7月 … 誕生日ケーキ、梅ジュース
- 8月 … 誕生日ケーキ、梅ジュース
- 9月 … まんじゅう（敬老会）
- 10月… お汁粉（秋祭り）、誕生日ケーキ
- 11月… 誕生日ケーキ
- 12月 … クリスマスケーキ、お汁粉（餅つき）、誕生日ケーキ
- 1月 … お饅頭（新年会）、誕生日ケーキ
- 2月 … デザートバイキング、誕生日ケーキ
- 3月 … 三色ゼリー（桃の節句）、誕生日ケーキ

- ◆手作りおやつ： 4月 … 桜餅
- 5月 … 柏餅
- 6月 … アジサイフルーチェ
- 7月 … わらびもちの水まんじゅう
- 8月 … ごま団子
- 9月 … おはぎ
- 10月 … さつま芋きんつば
- 11月 … スイートポテト
- 12月 … クリスマスケーキ
- 1月 … 黒糖まんじゅう
- 2月 … お汁粉、きなこもち
- 3月 … 桜餅

(3) 慰 問

ご利用者様にとっては外部の方と交流する貴重な機会となっている。地域の皆様のご支援とご協力により、歌や踊り、読み聞かせ等をご披露いただき、毎月の主要な催し物として定着している。

計： 18 団体 46 回 来訪

(4) 趣味の教室

地域のボランティアの皆様にご協力いただき、書道、詩吟、絵手紙、フラワーアレンジメント等の教室を開催した。ご利用者様に選択していただき、興味、関心のある活動へ自主的にご参加いただいた。今後も更に皆様に多くの選択肢を提供できるよう、活動内容の種類を増やすことを検討していく。

計： 延べ 55 名様 来訪

6. 介護相談・介護支援

(1) 介護者ふれあい広場

デイサービスをご利用いただいているご家族様を対象に、懇親会を行なった。参加者が少ないため、防災引渡し訓練と合わせて実施している。パワーポイントを使ってデイサービスでの活動風景を紹介し、デイサービスでの様子をお伝えした。

参加者 24 名

(2) 通信紙『ぼっかぼか通信』発行

通信紙を毎月 1 日付で発行、ご利用者様ならびにご家族様、ケアマネジャーに送付し、センターでの活動の様子や健康・介護・防災・交通安全等に関する情報をお伝えした。文字よりも写真を多くし、より見やすく、わかりやすい紙面にし、皆様に見て読んで楽しんでいただけるものになるよう工夫した。

計： 12 回発行

(4) 『デイサービスご利用アンケート』調査

新規利用の方を対象に、サービス利用から 3 ヶ月経過した時点でアンケート調査を実施した。ご記入いただいた皆様からは概ね良好との回答をいただいた。ご利用者様の個々の状況に応じた意見・感想・相談については、検討し、即座に実施できることは対応し、『介護計画書』及び日々の援助に反映させた。

- ・対象者：23 名（平成 31 年 1 月から令和元年 12 月までの新規利用のご利用者様ならびにご家族様）
- ・回収率：100%

【回答結果】

- ・設問 1 『選んだ理由』：家から近いから 12 名
 - ※複数回答可 ケアマネジャーから紹介されて 10 名
 - 浅羽の施設だから 9 名
 - 見学やお試し利用をしてみて良さそうだったから 5 名
 - 近所の人や知り合いが利用しているから 5 名
 - 知り合いから聞いて良さそうだったから 4 名
 - 利用時間や料金、サービス内容等が希望にあっているから 4 名
 - その他 1 名
- ・設問 2 『利用の感想』：「良かった」「大変良かった」 21(91%)

- ・設問 3『職員の対応』:「良い」「大変良い」 20名(87%)
- ・設問 4『入浴』 :「良い」「大変良い」 15名(65%)
- ・設問 5『食事』 :「おいしい」「大変おいしい」 13名(52%)

※量については… 主食は適当が 23名(87%)、多いが 1名、少ないが 0名。
副食は適当が 19名(83%)、多いが 0名、少ないが 1名。

- ・設問 6『おやつ』 :「おいしい」「大変おいしい」 12名(52%)
- ・設問 7『送迎時間』 :お迎え時間「適当」 19名(83%)
お送り時間「適当」 19名(83%)
利用時間の長さ「適当」 18名(78%)
※変更の要望には、即対応。

- ・設問 8『レクリエーション』:「楽しい」「大変楽しい」 10名(43%)
※午前の脳トレで人気の高かった順に①ぬりえ 8名、②計算問題 6名、③漢字・言葉の問題 4名と特に大差がなかった。マンネリ化にもなっているため、活動内容の検討が必要だと思われる。
※午後の活動では①慰問 8名、②散歩、書道 5名、③パワーリハビリ、園芸、カラオケ・楽器演奏 3名、④体操、フラワーアレンジメント 2名、⑤絵手紙、手芸、調理 1名と続く。以前は 1 番の人気であったが、過去 5 年、あまり好まれなかった慰問が、今年が一番の人気であった。ご利用者様の興味・関心も年々変化しているため、今後、何を求めているのか追及が必要である。

7. 地域交流

多くのボランティアの方々を受け入れることで、地域の皆様との交流を深め、地域に開かれた施設としての機能を果たすよう努めた。皆様のご支援のおかげでデイサービスのプログラムの充実を図ることができた。

(1) さわやかスタッフ(有償)

年間を通じて営業日の 9 時 30 分から 11 時 30 分の 2 時間、1 日 1 名、入浴の着脱衣介助や整髪等の作業を行っていただいた。また、茶ろん補助職員として 9 時 30 分から 16 時 00 分の 5.5 時間、1 日 1 名、活動していただいた。他に、事務作業軽減のため 1 回 3 時間、1 ヶ月に 4 日程度、日報入力にお越しいただいている。

令和 2 年 3 月末現在 計: 登録及び活動者 11 名

(2) ボランティア

流し素麺昼食、納涼祭、秋祭り、クリスマスバイキング等の各種行事に際してボランティアの方を募りご参加いただいた。また、制作の補助や清掃等のボランティアの方にもお越しいただいている。

8. 人材育成

福祉を学ぶ者にとって現場を知ることは大きな収穫である。要請に応じて状況の許す限り実習生の受け入れを行い、勉強の機会を提供した。指導する立場になることにより、現場の職員にとっても刺激となった。

(1) サマーショートボランティア

- ・天竜高校春野校舎 1 年生 3 名
令和元年 8 月 5 日～9 日 5 日 5 日間

(2) 職場体験学習

- ・浅羽中学校 2年生 2名
令和元年9月30日(月)午後 事前あいさつ、オリエンテーション
10月9日(水)～11日(金) 体験学習3日間

(3) 介護等体験(小・中学校教諭の普通免許状授与に関わる)

実績なし。

(4) 実習

- ・磐田北高等学校福祉科 1年生 2名
令和元年7月10日(水)～19日(金) 6日間

(5) 調べ学習

- ・浅羽中学校 1年生 5名
令和元年10月10日(木) 1日間

(6) 職員研修

外部研修は、介護職員1名につき1講座参加することを目標に掲げたが、コロナウイルス感染拡大防止で中止になってしまい、職員18名中13名のみの参加になってしまった。

内部研修は、法人全体での「アンガーマネジメント」をテーマにした講習、その他に、年度計画・反省、感染症、外部研修報告について実施。ケースカンファレンスは毎月2回実施した。

- ・外部研修 …… 計：26講座 延べ12名参加
- ・内部研修 …… 計：6回 実施
- ・ケースカンファレンス …… 計：22回 実施

9. 防災管理

防災訓練を毎月実施し、火災や地震等の災害時に備えた。通信紙を通じて注意喚起もした。

防災訓練については、日課や業務の進行上、実施時間が午後の決まった時間にならざるを得なかった。事前に職員に計画を通知しているため、各職員が自ら判断して行動する場面が少なかったように思われた。

引渡訓練は、引渡訓練後、マニュアルの説明のみと毎年マンネリ化していたため、袋井市の取り組みや対応方法も交えながら説明したところ、興味深く聞いていただけた。

- ・防災訓練 ご利用者様避難訓練 …… 毎月1回実施
計：10回実施 (火災4回 地震7回) 延べ448名参加

ご家族様への引渡し訓練 …… 令和元年9月実施 計：24家族参加

10. 衛生管理

職員の就業前の検温及び体調の申告、ご利用者様の利用当日の検温及び体調の申告依頼、感染症等発生状況の報告、館内ならびに車両内の消毒・清掃、手洗いとうがいの励行等を実施し、日々通常業務として、感染源が持ち込まれないよう努めるとともに、疑われる症状の早期発見、蔓延予防に努めた。また、コロナウイルス感染症の拡大防止のため、一層取り組みを強化し、乗車前の検温、手指アルコール消毒、換気、職員の出勤前の検温、マスク着用を徹底した。

11. 事故防止活動

ヒヤリ・ハッと報告書については、小さな気付きでも危険だと思ったことは書類に記入し、他の職員に注意喚起することにより事故に繋がないように啓発活動に取り組んだ。その結果、189件報告があった。内容については、持ち物の紛失や返却ミスに繋がるケースが一番多く、次いで、転倒のリスクであった。

月2回のケース会議の30分をリスクマネジメントに当て、再発防止策について話し合った。同様のケースについては、少しずつ改善されているものの、引き続き取り組んで行く事により、緊張感を持って業務に当たり、再発防止に繋げる。よっては、サービスの質の向上に繋げていきたい。

事例報告についても同じ内容のものが数件あるため、対応方法を徹底し、再発防止に繋げる。

- ・ヒヤリ・ハッと報告 … 189件
- ・事例報告 … 65件 (内 ご利用者様関連 46件、設備・物品関連 19件)
- ・救急車要請報告 …… 2件
- ・業務改善書 …… 0件
- ・事故報告(行政提出) … 1件

職員の入れ替わりや活動内容の多様化を図る中で、確認・目配り・配慮不足、情報伝達の不備等によるミスが多発した。特に荷物の返却ミスの件数が増えている。反対に送迎を忘れてたり、利用日や送迎時間の記入ミスが少なくなっているのはソフトを導入した影響であると思われる。

【事例報告の主な内容】

- ・荷物の返却ミス、私物の紛失 …… 19件
- ・転倒、ずり落ち …… 6件
- ・怪我 …… 4件
- ・持ち物確認忘れ …… 4件
- ・送迎忘れ …… 3件
- ・車両関係 …… 8件
- ・事務関係 …… 5件
- ・その他 (異食、補聴器外し忘れ、食事注文誤り、戸締り等)

以 上

浅羽ケアマネジメントセンター令和元年度 事業実績報告

体制

令和元年度事業計画書で示したように、5名の介護支援専門員での稼働でしたが、令和2年度より浅羽地域包括支援センターへの異動職員1名予定のため、12月より1名補充し、12月より6名の稼働となりました。

介護給付数165件を目標として新規利用者の依頼は全て受け入れております。

尚、特定事業所加算Ⅱの算定要件を厳守しており、加算を算定しております。

業務

(1) 居宅介護支援実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実績件数	170	168	167	168	166	164	161	162	162	160	157	150	1955
H30年度	163	164	166	161	161	163	166	172	172	165	165	165	1983
R1年初回	11	3	4	1	6	4	5	5	5	8	4	6	62

上記の表の数は実際サービスを利用し国保連に請求した数です。

昨年度比 28件減です。

実績件数以外に介護予防の委託がある。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実績件数	21	21	23	24	26	27	31	31	33	27	24	25	313
H30年度	21	22	21	22	26	24	23	23	22	23	22	22	271

予防給付に関しては昨年の実績と比べて増えている状況は、更新の結果、介護給付から予防給付に変更になった方が多い傾向にあるのではと思います。

昨年度比 42件増

サービスに繋がらないが、困ったときに相談したいという方も受け持っています。

利用者受け入れ状況・傾向

利用者の受け入れ状況ですが、依頼があれば断らず引き受けましたが、サービス提供に繋がらないケースがありました。

繋がらないケースの傾向としましては、住宅改修のみの方や本人がサービスを拒否する等があります。

依頼元は、浅羽地域包括支援センターを主としていますが、直接、電話での依頼もあります。電話での依頼は近くという理由がほとんどです。

介護保険を初めて申請した方は、介護保険サービスに戸惑いもあり、サービスに繋がるまでの時間を多く要しています。

急性期病院からの退院利用者は医療依存度が高いケースもあり、訪問診療機関・訪問看護との連携を図って支援していますが、短期間での終了がほとんどです。

回復期リハビリ病院からの紹介においては、住宅改修、福祉用具貸与の利用が必要な方が、ほとんどで理学療法士と連携を図り退院に向けての支援をしています。

尚、骨折してリハビリ終了後の在宅介護となるため、介護保険更新時にはかなり回復され、自立した生活ができる方が多く認められます。

要介護3以上の方は施設入所したいという傾向は変わりません。(体調の悪化にて急性期病院に入院され、その後は療養型の病院に入所される場合と特別養護老人ホームに入所になり契約終了となる。) よって、要介護3以上の方が施設入所されるので在宅で過ごされる方は要介護1～2の方が殆どで全体の約80%強となっております。

要介護1～2の方で認知症の進行によりグループホーム入所の方は8名でした。

要介護3～5の方の在宅生活継続がなかなか難しいのが現状です。

ひなたへの移行は今年度7名でした。

今年度、死去され終了となった方は31名です。

特別養護老人ホームに入所された方は5名です。(紫雲の園3名)

地域との連携・職員資質向上に向けての取り組み

※地域内にある事業所と連携を図り、利用者の支援につなげています。

また、処遇困難なケースでは地域包括支援センターの主任ケアマネに相談し地域ケア会議の開催を行い、地域包括ケアができるようにしています。

(認知高齢者の方、虐待ケース等)

※職員資質向上にむけては、随時、必要な研修には参加ができております。

研修に参加していない職員には、資料等回覧し全員周知できるようにしております。

研修内容として、静岡県介護支援専門員会の研修、静岡県看護協会研修、リーダー育成研修、袋井市スーパービジョン、介護保険研究会研修等に参加しました。

年度当初、各自研修目標をたて、質の向上に努めてきました。

毎週金曜日に会議を開催し、処遇困難事例等を全員で協議して、適切な支援ができるように努めています。

令和1年度研修計画目標達成について

森田 文江・・・目標 事例について適切な指導・支援における関わり方を学ぶ

自己評価：令和1年度静岡県介護支援専門員リーダー養成研修に10回参加、法定研修参加し主任介護支援専門員の在り方を学んだが、対人援助技術を鍛える必要があるので継続追求する。

村主 明光・・・目標 地域課題の整理の実施ができるよう地域援助技術を学ぶ

自己評価：事例検討会等を通じて地域課題が見えてくるものもあったがまだまだ課題の抽出ができないので継続追求したい

溝口 利加子・・・目標 医療・福祉との連携と活用の仕方を他の介護支援専門員に指導できる力を身につける。

自己評価：自分自身連携に戸惑う場面もあり、主任ケアマネとして指導する力を身につけようと研修に取り組みました。
助言はできるが、指導にはもう少し時間を要する。

前川 すみ子・・・目標 ケアマネジメントの実践力を身につける

自己評価：法定研修に参加しケアマネジメントの振り返りができた
実践力も段々身につけてはいるが、まだまだだと思うので継続していく。

柞木 晃・・・目標 医療・看護の知識を深め医療との連携を学ぶ。

自己評価：法定研修に参加し知識を深められたが、連携のタイミング等をもう少し学習すべきだと感じた。

(1) 居宅介護支援実績

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護度1・2	132	132	128	126	128	126	122	124	122	124	128	121	1,513
要介護度3・4・5	38	36	39	42	38	38	39	38	40	36	29	29	442
実績件数	170	168	167	168	166	164	161	162	162	160	157	150	1,955
初回加算	11	3	4	1	6	4	5	5	5	8	4	6	62
医療連携加算(Ⅰ・Ⅱ)	3	1	3	3	1	3	2	2	3	4	7	4	36
退院加算	2	1	3	3	1	1			1		1	1	14
小規模多機能加算		1	2		2	1			1				7
運営基準減算													0

(2) 月別新規申し込みと契約終了者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規	新規相談者	4	4	2	7	8	9	3	9	2	7	7	66
	新規委託(予防)	2	2			2	2	1	1	3		1	14
	包括支援から転入	1		2		2		1	1	5	1	1	14
契約終了(入院入所※含小規模)		1	1	2	3	6	2	1	2	2	4	3	27
契約終了(死亡)	3	1	3	1	3	1	1	2	4	4	5	3	31
契約終了(委託)		2		1	1			4	2	4	1	3	18
契約終了(居宅事業所変更)													0
契約終了(要支援)				2				1		1	2		6
契約終了(自立)													0
契約終了 合計	3	4	4	6	7	7	3	8	8	11	12	9	82

(3) 要介護度別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	103	102	99	100	103	99	94	94	94	94	97	94	1,173
要介護2	29	30	29	26	25	27	28	30	28	30	31	27	340
要介護3	22	20	20	21	17	17	19	17	17	15	11	12	208
要介護4	12	12	15	18	17	17	16	15	14	14	13	12	175
要介護5	4	4	4	3	4	4	4	6	9	7	5	5	59
合計	170	168	167	168	166	164	161	162	162	160	157	150	1,955
要介護3. 4. 5(再掲)	38	36	39	42	38	38	39	38	40	36	29	29	442
割合	22%	21%	23%	25%	22%	23%	24%	23%	24%	22%	18%	19%	22%

(4) 要支援別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	8	8	9	10	11	11	14	14	15	11	10	10	131
要支援2	13	13	14	14	15	16	17	17	18	16	14	15	182
合計	21	21	23	24	26	27	31	31	33	27	24	25	313

(5) サービス事業者別計画作成件数

1. 通所介護(複数事業所利用も含む)

事業所名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
浅羽デイサービスセンター	70	70	67	65	67	64	65	66	69	67	68	68	806	55.4%
デイトレーニングセンター和の湯	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	192	13.2%
い～な浅羽	11	11	10	9	9	9	9	10	11	11	11	11	122	8.4%
こころふくろい	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	51	3.5%
レッツリハビリ福田	5												5	0.3%
ツクイ袋井	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	5	59	4.1%
ラクラス福田	4	4	3	3	3	2	2	1	1	2	2	1	28	1.9%
きらり	3	3	3	3	2	2	2	2	1	2	2	2	27	1.9%
プラチナ	3	3	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	23	1.6%
ケアステーションあさひ	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	1.6%
デイサービス歩み	2	2	3	3	3	3	1	1	1	1	1	1	22	1.5%
デイサービスみどり	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	0.8%
いこいの里大原	1	1	1	1	1	1	1						7	0.5%
SIN太田デイサービス	1	1	1	1									4	0.3%
紅紫萩	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	13	0.9%
リハケアーズ磐田		1	1	1	1	1	1						6	0.4%
からす森										1	1	1	3	0.2%
レッツリハビリ袋井	1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	34	2.3%
ウエルビ福田	1	1	1	1	1								5	0.3%
ディアコニア	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13	0.9%
事業所合計	133	132	126	122	122	117	117	115	118	118	118	118	1,456	

2. 地域密着型通所介護

事業所名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
はまかぜデイサービス	5	6	6	7	6	5	6	7	5	5	6	6	70	39.1%
あかり	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	2	46	25.7%
サポートハウスこころ	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2	2	36	20.1%
なのはな	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	15	8.4%
グリーン	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	6.7%
事業所合計	14	15	15	15	15	13	14	15	13	13	14	12	179	

3. 短期入所生活介護

事業所名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
紫雲の園	6	8	5	10	8	12	10	10	10	9	8	9	105	43.4%
西之島の郷	4	4	4	3	2	3	2	2	3	3	2	1	33	13.6%
ディアコニア	3	4	4	1	1	2	1	1	1	2	4	2	26	10.7%
おおすか苑	2	3	1	1	3	1	3	4	1	1	1	1	22	9.1%
ラクラス見付	2	3	3	3	3	2	2	2	2	1	1		24	9.9%
福寿荘	1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	11	4.5%
袋井ゆうあいの里	1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	11	4.5%
萩の花					1	1		2	1	1	1	1	8	3.3%
あずみ苑				1	1								2	0.8%
事業者合計	19	24	17	21	21	23	20	23	20	19	19	16	242	

4. 介護予防通所介護(複数事業所利用も含む)

事業所名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
デイトレーニングセンター和の湯	3	3	3	3	5	6	6	6	8	8	8	8	67	43.5%
浅羽デイサービス	4	5	5	5	5	5	5	6	6	4	3	4	57	37.0%
あかり	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	7.8%
ディアコニア			1	1	1	1	1	1	1				7	4.5%
い～な浅羽					1	1	2	1	1				6	3.9%
サポートハウスこころ			1	1	1								3	2%
レッツリハビリ福田	2												2	1%
事業者合計	10	9	11	11	14	14	15	15	17	13	12	13	154	

令和元年度 浅羽地域包括支援センター 事業実績報告

体制

住民の皆さんが、住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、各関係機関と連携をとり、必要なサービス提供や、解決に努めました。今年度、市から示された重点取組事項をもとに各項目に沿って、職員6名にて取り組みました。

<重点項目>

1. 介護予防・日常生活支援総合事業の推進

助け合い・支えあいの大切さを広く理解していただくために、第2層協議体のメンバーと住民対象のフォーラムを2回開催しました。(浅羽東地区・浅羽北地区)多くの住民に、「今から自分としてできること」を考えていただくきっかけとなったと感じます。次年度は(浅羽西地区・浅羽南地区)の開催を予定しています。

又、「でん伝体操」終了後に居場所の開催を浅羽西地区におきまして全会場にて取り組む準備が出来てきました。

2. 在宅医療・介護連携の推進

個々のケースにおいて開業医の医師との連携は取り組みやすくなりました。又、圏域内の薬局・郵便局等との連携において、認知症の早期発見につながるケースが数件ありました。今後においては、当初の計画の中の担当者会議への出席が実現できるよう取り組みます。

3. 地域ケア会議の推進

個別課題から、地域課題解決に向けコア会議を含め14回開催できました。

困難事例から地域の助け合い、支えあいを考えていただくきっかけとなったと感じます。

4. 認知症施策の推進

現在2会場の認知症カフェ(オレンジカフェ)の開催は定着してきたと感じます。しかし、当初計画していました、他地区での開催が足踏み状態になっています。次年度においては他地区での開催に取り組みます。認知症サポーター養成研修につきましては、開催されていない自治会等に開催要請をしていきます。又、認知症の相談はかなり多くなりました。在宅生活には限界があります。認知症になっても、自分らしく生活できる環境が必要と感じます。

令和元年度におきましては、2月末から新型コロナウイルス感染予防対策として、「でん伝体操」・居場所等の開催が休止され、閉じこもり対策として、家でできる体操・感染予防対策を紙面にて配布し、各自で取り組んでいただけるよう取り組みました。

1. 予防給付ケアプラン関係

区分	ケアプラン作成（延べ人数）			ケアプラン作成 したが未利用 （委託分も含む）	新規作成及び プラン再作成 （委託分も含む）	3月末現在 ケアプラン 委託事業所数
	当センター 作成数	他事業所 委託数	合 計			
要支援 1	616	344	960	38	69	14 事業所
要支援 2	595	438	1027	39	77	
事業対象	182	0	182	16	25	
合計	1393	776	2169	93	171	
<ケアプラン作成したが未利用者の理由> 〈委託事業所〉 *体調不良によりサービス休む 浅羽ケアマネージメント・村松居宅・ディアコニア居宅・ *入 院 い〜な見付・トータルケアひかり・ケアプラン袋井・こころ *死 亡 社協居宅事業所・ケアハウスくるみ・紅紫萩居宅・和の湯 おおふじ五幸居宅・西ノ島の郷・ウエルビー居宅支援						

2. ケアプラン作成のための対応報告

対象者	延人数	延べ回数			
		訪問	来所	電話	その他
要支援・事業対象(延べ)	1393	919	121	1032	6

*包括ケアプラン作成は、前年比7件減でした。

3. 介護サービ別の利用者数 延べ人数

介護サービス別	通所介護(リハ含む)	訪問介護	訪問入浴	短期入所
利用者数	979	159	0	31
併設施設利用者数	357	0	0	12

*通所A型含め、浅羽デイサービス利用者は28名増でした。

4. 介護予防支援介護給付費報告

	件数	金額(円)	前年度件数	前年度金額	件数増減	金額増減
国保連請求	2169	9,836,377	2057	9,269,164	△112	△567,213
包括支援センター	1393	6,281,676	1400	6,283,835	▼7	▼2,179
他事業所委託	776	3,399,501	657	2,853,909	△119	△545,592
委託手数料	776	155,200	657	131,400	△119	△23,800

*委託が多くなりました。介護度が介護から支援に変更してもケアマネの継続を希望されるため。

5. 相談事業報告書

区分	一般	要支援者 事業対象	介護認定者	合計	
延べ人数	602	1035	316	1953	
相談方法 (延べ人数)	訪問	145	406	84	635
	来所	73	104	20	197
	電話	366	511	209	1086
	その他	18	14	3	35

相談内容 (複数記入)	制度説明	78	203	34	315
	介護方法	39	57	35	131
	権利擁護	23	26	34	83
	高齢者虐待	9	2	8	19
	サービス利用について	193	370	107	670
	健康について	219	434	121	774
	認知症について	117	119	69	305
	ケアマネについて	41	16	26	83
	生活の事	62	74	56	192
	経済的なこと	59	47	69	175
	家族間の事	62	57	45	164
	その他	0	0	0	0
対応 (複数記入)	情報提供	312	395	122	829
	他機関との調整	220	336	123	679
	申請代行	25	110	0	135
	状況把握	326	471	196	993
	その他	0	2	0	2

* 民生委員や病院からの相談が多くなっています。

* 相談内容は、今後のサービス利用について、健康について、特に認知症についての相談が多いです。

* 複数の問題を抱えた家族支援は、他機関との連携や継続的に関わる必要のあるケースが目立ちます。

6. ケアマネ支援

延べ人数	38名	困難ケース	24回
相談回数(延べ回数)	131回	ケアマネ同行回数	65回

* 問題が複雑化しケアマネの後方支援で関わるケースが増加しました。

7. 処遇困難ケースの支援

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
対象人数(実)	3	3	4	3	4	6	5
対応回数	12	30	22	16	14	14	19
月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
対象人数(実)	3	4	3	2	4	44	
支援回数	23	21	18	13	32	234	

* 行政及び他機関との連携が必要と感じます。また、解決までにはかなりの日数を要します。

* H31年4月～R2年3月

虐待(介護放棄含む) 対応件数	8件
虐待と認定された件数	0件
内訳：措置	0件
契約入所	2件
入院	1件
その他(在宅等)	5件

《把握経路》

- ・ 民生委員
- ・ 地域住民
- ・ 行政

《内容》

- ・ 経済困窮
- ・ 家族関係
- ・ 地域とのトラブル
- ・ 健康について

8. PR活動・市の事業参加・講師等

	PR活動		市の事業参加		講師・その他	
	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数
市民フォーラム			3	103		
老人会					2	71
民生委員	1	40			1	43
自治会見守りネット連絡会					10	133
いきいきサロン					32	521
地域福祉を考える会					3	64
自治会活動支援					4	73
地域支えあいネット連絡会					5	47
傾聴ボラ・介護支援ボラ活動支援					39	96
地区福祉推進会議					12	308
コミュニティーセンター協力					1	35
地域密着推進会議					14	98
認知症サポーター養成研修			2	56	9	342
地域ケア会議(コア会議)					14	74
でん伝体操普及活動支援					232	3026
ケアマネ対象事例検討会					1	13
認知症カフェ(一歩・いつ福)					74	482
他機関への支援	1	220	4	68	4	64
第2層協議体					7	63
支援ボラ研修			2	32		
はいかいSOS地域連携			7	88		
地域包括運営協議会					1	15
認知症にやさしい地域づくり					14	287
生活支援体制準備会					11	222
合計	2	260	18	347	490	6077

*地域支援体制づくりを目的に「でん伝」体操の普及に向けて取り組みました。「でん伝」体操から居場所につながるよう、今後も参加者と一緒に取り組みます。

9. 研修会参加状況

月	日	研修会名	参加者
5月	22日	包括・在介 県総会	岡本
	26日	作業療法士連絡会	山崎
6月	23日	静岡県相談援助リーダー研修	阿部・岡本・水間
7月	5日	成年後見市長申立て研修	竹原
	13日	静岡県主任ケアマネ指導者研修	阿部
	18～19日	生活支援コーディネーター研修	山崎
	21日	静岡県相談援助者リーダー研修	阿部・岡本・水間
8月	17日	〃	阿部・岡本・水間
	27日	静岡県主任ケアマネ演習指導者研修	阿部

9月	9～10日	助け合いサミット in 大阪（パネル展示）	山崎
	15日	静岡県相談援助者リーダー研修	阿部・岡本・水間
	17日	地域づくりの視点研修	山崎
	20～21日	ケアマネ在宅医療連携研修	水間
	25日	静岡県主任ケアマネ演習指導	阿部
	27日	ケアマネ専門Ⅱ研修	水間
10月	4日	静岡県主任ケアマネ演習指導	阿部
	10日	〃	〃
	18日	〃	〃
	7日	ケアマネ専門Ⅱ研修	水間
	16日	〃	〃
	20日	静岡県相談援助者リーダー研修	阿部・岡本・水間
	23～24日	ケアマネ専門Ⅱ研修	水間
	24日	地域ケア会議推進研修	竹原・山崎
	25日	助け合い推進研修	山崎
	31日	ケアマネ専門Ⅱ研修	水間
11月	1日	〃	〃
	5日	磐田市ケアプランチェック指導	阿部
	16日	静岡県相談援助者リーダー研修	阿部・岡本・水間
	27日	県リーダーフォローアップ研修	阿部・岡本
12月	2～3日	地域包括ケア研究大会	山崎
	3日	地域包括ケアシンポジウム	水間
	15日	地域支援コーディネーター研修	山崎
	15日	静岡県相談援助者リーダー研修	阿部・岡本・水間
	19～20日	予防プラン現任者研修	長谷川
	21日	地域リハ職連携研修	山崎
	25日	認知症推進員現任研修	水間
1月	11日	地域リハ職連携研修	山崎
	15日	静岡県SC連絡会	山崎
	19日	静岡県相談援助者リーダー研修	阿部・水間
2月	16日	〃	阿部・岡本・水間
	20日	業務評価研修	岡本・水間

令和2年度の取り組み課題

今年度は、年度末において、新型コロナウイルス感染予防対策として、多くの活動が休止となり、やり残した感が強くあります。次に繋げるために必要なことは、年をまたいででも計画して実施していきたいと思えます。また、令和元年12月には、地域の担い手としての民生委員の交代がありました。今年度においては、民生委員との連携構築に取り組みます。市から示された重点項目について、目標達成に向けて取り組みます。

10. 職員体制報告

主任介護支援専門員	阿部光子
保健師	岡本雅代
社会福祉士	竹原亜美
生活支援コーディネーター	山崎竜弥
認知症地域支援推進員	水間貴子
介護支援専門員	長谷川咲子

令和元年度認知症地域支援推進事業報告

1. 年間を通しての成果・課題など

○認知症サポーターキャラバン・メイトの活動及び認知症サポーター養成講座の積極的開催推進
成果(別紙参照)

- ・10回開催し、延べ323名が受講しました。
- ・長溝自治会では、健康づくり推進員の方の企画で講座を開催しました。地域の若い方も参加し、熱心に耳を傾けて
- ・小学校を対象に福祉教育としてキッズサポーターの講座を開催しました。

課題

- ・昨年度同様、高齢者だけでなく、幅広い年齢層の方に受講していただけるよう、自治会への働きかけや健康づくり推進員の協力、夏休みなどの長期休暇を利用し、親子で参加できるような講座の開催、サービス事業所、はいかいSOS協力事業所の職員を対象にした講座など積極的に開催していきたいと考えています。
- ・キャラバンメイトの方が活動しやすいよう、計画的に開催できるようにすすめていけたらと思います。

○認知症カフェの立ち上げ・運営及びその支援

成果(別紙参照)

オレンジカフェー歩

- ・毎週火曜日に開催し、毎回10名前後の方が参加されています。協力スタッフは2~3名、包括職員が1名参加しています。年間を通して44回開催し、延べ398名(スタッフを含む)が参加しました。昨年度に比べ、参加者は約1.5倍に増えました。3月は、コロナウイルス感染拡大防止のため、中止としました。

オレンジカフェいっ福

- ・毎週木曜日の午後、開催していましたが、令和2年1月16日から、木曜日の午前に行っているでん伝体操のあとに開催するようになりました。ビデオを見ながら指体操を一緒に行うなど、介護予防にも努めています。毎回、5~8名ほ

課題

- ・今まで、定期的に参加している方には、継続して参加できるように働きかけをしていきます。参加者が固定している傾向があるため、地域住民に周知し、より多くの方が気軽に参加できるように努めます。
- ・今年度は、新たな場所で開催したいと考えていましたが、開催には至りませんでした。令和2年度は、幸浦コミュニティセンターでの開催を計画していきます。

○多職種協働による研修会の企画・実施

成果

・「認知症にやさしい地域を創る会」の活動について

7月、サービス事業所職員を対象溝口ファミリークリニック・溝口哲弘院長の研修会を開催しました。平日の日常業務終了後の研修会でしたが、56名の方が参加しました。

11月、メロープラザで地域セミナーを開催しました。スタッフを含め、126名が参加しました。内訳は、浅羽・笠原地区の方が半数、それ以外の方が約半数でした。アンケートでは、「とてもよい企画をしてくれたので、もっと多くの人に聞いてほしかった。」という感想をいただきました。

課題

- ・より多くの方に、地域セミナーに参加していただくために、どのような方法で案内をしていったらよいかを工夫する必要がありますと感じました。セミナー参加者の多くは60代以上の方だったので、若い世代の方にも参加していただき、認知症についての理解を深めるための地域づくりを考えるきっかけになればいいと思います。

○認知症の人やその家族からの相談支援

成果

- ・今年度は、相談件数が約200件でした。昨年約1.3倍の相談件数に対応しました。年々、相談が増えてきています。

課題

- ・相談後の継続的な支援が不十分だと感じています。昨年度の反省を踏まえ、今後は、継続的な支援ができるよう取り組みます。
- ・相談に対して、柔軟な対応ができるよう認知症地域支援推進としての質の向上を図るため、日々の研鑽が必要であると思いま

○その他

成果

- ・担当地域にある薬局薬剤師の方が、ご本人の同意を得て、包括に情報提供していただくことが多くなりました。情報をもとに自宅訪問し、ご本人やご家族とお話しながら、介護保険についてお伝えすることができました。こちらから、訪問時の様子を薬剤師の方に報告し、連携を図ることができるようになってきたと感じています。

課題

- ・今まで以上に、開業医の先生や薬局との連携が図ることが必要であると感じています。
- ・初回訪問後の状況の確認が十分でないため、継続的な関わりや支援をしっかりと行うことが必要だと感じています。

2. 課題に対する活動計画

○認知症サポーターキャラバン・メイトの活動及び認知症サポーター養成講座の積極的開催推進

- ・今までの実績をもとに、まだ開催していない地域やしばらく開催していない地域、通学合宿での開催など、関係者の方と相談しながら、開催するように進めていきます。
- ・サービス事業所やはいかいSOS協力事業所などの職員を対象とした講座を開催したいと考えています。
- ・講座開催の案内を積極的に行い、多くの年齢層の方に受講していただけるように努めます。

○認知症カフェの開催について

- ・参加者が固定化されているため、より多くの方に参加していただけるように周知していきます。
- ・カフェを開催していない地区(浅羽西地区、浅羽東地区、浅羽南地区)での開催やデイサービスなどをお借りして、定期的に開催できるよう協力をお願いしていきます。
- ・介護支援ボランティア研修を受講した方のご協力をいただきながら、カフェが開催できるようにすすめていきます。

○多職種連携による研修会の企画・実施について

- ・認知症にやさしい地域を創る会を中心に、年間計画を立て、研修会が開催できるようにします。

○その他

- ・開業医の先生や薬局との連携が図れるようにしていけたらと思います。
- ・認知症高齢者の方だけでなく、若年性認知症の方を支援するための地域づくりについて考えていけたらと思います。

令和元年度認知症サポーター養成講座実績

	開催日	開催場所	受講団体・グループ名	受講者数	メイト	延べ人数
1	令和元年5月15日(水)	イズモホール袋井	イズモセミナー参加者	39名	山崎・水間	39名
2	令和元年6月20日(木)	浅羽東小学校	浅羽東小学校4年生	児童69人 先生2名	岡本・水間 他5名	110名
3	令和元年6月26日(水)	はーとふるプラザ	相談窓口職員	38名	水間	148名
4	令和元年8月9日	袋井警察署	袋井警察署員	13名	水間他2名	161名
5	令和元年9月13日(金)	浅岡公会堂	浅岡サロン	43名	山崎・水間	204名
6	令和元年10月19日(土)	山の手公会堂	山の手サロン	22名	竹原・水間	226名
7	令和元年11月5日(火)	笠原小学校	笠原小学校4年生	児童22名 先生2名	水間他6名	250名
8	令和元年11月15日(金)	袋井市浅羽支所	袋井市社会福祉協議会訪問 介護事業所	22名	岡本・水間	272名
9	令和元年11月28日(木)	三川小学校	三川小学校4年生	28名	水間他7名	300名
10	令和2年2月9日(日)	長溝公会堂	長溝自治会	23名	岡本・水間	323名

令和元年度オレンジカフェ歩報告書

上半期	開催日・回数	参加者(名)	協カスタッフ(名)	包括職員(名)	合計(名)
	4. 2(火)	4	3	1	8
	4. 9(火)	3	3	1	7
	4. 16(火)	5	3	1	9
	4. 23(火)	4	3	2	9
	4. 30(火)	お休み(ゴールデンウィークのため)			
	4月 4回	16	12	5	33
	5. 7(火)	3	3	1	7
	5. 14(火)	3	2	1	6
	5. 21(火)	中止(大雨警報発令)			
	5. 28(火)	3	2	1	6
	5月 3回	9	7	3	19
	6. 4(火)	5	3	1	9
	6. 11(火)	3	2	1	6
	6. 18(火)	8	3	1	12
	6. 25(火)	4	3	1	8
	6月 4回	20	11	4	35
	7. 2(火)	5	3	1	9
	7. 9(火)	5	3	1	9
	7. 16(火)	4	3	1	8
	7. 23(火)	4	3	1	8
	7. 30(火)	7	2	1	10
	7月 5回	25	14	5	44
	8. 6(火)	4	3	1	8
	8. 13(火)	お休み(お盆のため)			
	8. 20(火)	4	3	1	8
	8. 27(火)	3	3	1	7
	8月 3回	11	9	3	23
	9. 3(火)	3	3	1	7
	9. 10(火)	5	3	1	9
	9. 17(火)	5	3	1	9
	9. 24(火)	3	2	1	6
	9月 4回	16	11	4	31
	上半期計23回	97	64	24	185

下半期	開催日・回数	参加者(名)	協カスタッフ(名)	包括職員(名)	合計(名)
	10. 1(火)	3	3	1	7
	10. 8(火)	4	3	1	8
	10. 15(火)	4	3	1	8
	10. 22(火)	4	3	1	8
	10. 29(火)	4	2	1	7
	10月 5回	19	14	5	38
	11. 5(火)	9	3	1	13
	11. 12(火)	6	3	1	10
	11. 19(火)	4	3	1	8
	11. 26(火)	10	3	1	14
	11月 4回	29	12	4	45
	12. 3(火)	5	3	1	9
	12. 10(火)	4	2	1	7
	12. 17(火)	9	3	2	14
	12. 24(火)	8	3	1	12
	12月 4回	26	11	5	42
	1. 7(火)	6	3	1	10
	1. 14(火)	8	3	1	12
	1. 21(火)	8	3	1	12
	1. 28(火)	4	2	1	7
	1月 4回	26	11	4	41
	2. 4(火)	9	3	1	13
	2. 11(火)	7	2	1	10
	2. 18(火)	8	3	1	12
	2. 25(火)	8	3	1	12
	2月 4回	32	11	4	47
	3. 3(火)				
	3. 10(火)				
	3. 17(火)	コロナウイルス感染拡大防止のため、開催中止			
	3. 24(火)				
	3. 31(火)				
	3月 0回				
	下半期計21回	132	59	22	213
	年間合計44回	229	123	46	398

令和元年度 オレンジカフェいっ福報告書

上半期

開催日・回数	参加者(名)	協カスタッフ(名)	職員(名)	合計(名)	
4. 4(木)	2	3	1	6	
4. 11(木)	1	0	1	2	
4. 18(木)	1	1	1	3	
4. 25(木)	1	0	1	2	
4月	4回	5	4	4	13
5. 2(木)	ゴールデンウィークのためお休み				
5. 9(木)	1	0	1	2	
5. 16(木)	1	0	1	2	
5. 23(木)	1	0	1	2	
5. 30(木)	2	2	1	5	
5月	4回	5	2	4	11
6. 6(木)	1	0	1	2	
6. 13(木)	1	0	1	2	
6. 20(木)	1	1	1	3	
6. 27(木)	1	1	1	3	
6月	4回	4	2	4	10
7. 4(木)	1	1	1	3	
7. 11(木)	1	1	1	3	
7. 18(木)	1	0	1	2	
7. 25(木)	1	2	1	4	
7月	4回	4	4	4	12
8. 1(木)	1	1	1	3	
8. 8(木)	1	1	1	3	
8. 15(木)	お盆休み				
8. 22(木)	1	0	1	2	
8. 29(木)	1	1	1	3	
8月	4回	4	3	4	11
9. 5(木)	1	0	1	2	
9. 12(木)	都合によりお休み				
9. 19(木)	1	0	1	2	
9. 26(木)	1	1	1	3	
9月	3回	3	1	3	7
上半期合計23回	25	16	23	64	

下半期

開催日・回数	参加者(名)	協カスタッフ(名)	職員(名)	合計(名)	
10. 3(木)	3	0	2	5	
10. 10(木)	1	0	2	3	
10. 17(木)	1	0	1	2	
10. 24(木)	1	0	1	2	
10. 31(木)	0	0	1	1	
10月	5回	6	0	7	13
11. 7(木)	0	0	1	1	
11. 14(木)	1	0	1	2	
11. 21(木)	1	0	1	2	
11. 28(木)	1	1	1	3	
11月	4回	3	1	4	8
12. 5(木)	1	0	1	2	
12. 12(木)	1	0	1	2	
12. 19(木)	1	0	1	2	
12. 26(木)	年末のため、お休み				
12月	4回	3	0	3	6
1. 9(木)	1	0	1	2	
1. 16(木)	4	0	1	5	
1. 23(木)	5	0	1	6	
1. 30(木)	3	0	1	4	
1月	4回	13	0	4	17
2. 6(木)	4	0	1	5	
2. 13(木)	5	0	1	6	
2. 20(木)	5	0	1	6	
2. 27(木)	7	1	1	9	
2月	4回	21	1	4	26
3. 5(木)					
3. 12(木)	コロナウイルス感染拡大防止のため、開催中止				
3. 19(木)					
3. 26(木)					
3月	0回	0	0	0	0
下半期計17回	46	2	22	70	
年間計40回	71	18	45	134	

令和元年度 生活支援体制整備事業報告

1. 1年間の成果

【成果】

- ・でん伝体操 立ち上げ支援:6会場(松原、梅山、初越、上区、湊中、太郎助、湊東)、継続支援:33会場
- ・浅羽西地区のでん伝体操サポーターと共に居場所立ち上げに向けた話し合いを行うグループを作り、3回話し合いを行った。その結果、中富、中の2会場で居場所開催に至った。
- ・居場所 茶ちゃ処(笠原地区)の継続支援:コミセン職員・行政・1層協議体構成委員とも連携しながら助成金獲得支援・広報を行った。その結果、みずほ福祉助成財団・静岡県社協の助成金獲得に至った。
- ・浅羽・笠原地区生活支援運営委員会や袋井市南部地区連合会長・コミセン館長合同会議に出席し、“住民同士の助け合いでの生活支援”について関係者と協議をした。また、住民向け広報紙を作成し、“住民同士の助け合いでの生活支援”について啓発を行った。
- ・生きがい・助け合いサミットin大阪に参加し、浅羽包括圏域の取り組みについてポスター発表を行った。
- ・生活支援推進フォーラム開催:2会場(浅羽東コミセン、浅羽北コミセン)

2. 上半期(4~9月)の活動計画

- ・生活支援推進フォーラムの開催(浅羽西コミセン、幸浦コミセン)
- ・令和2年度 浅羽・笠原地区 第2層協議体定例会の開催:3回/年予定
- ・でん伝体操サポーター交流会の開催
- ・浅羽・笠原地区 生活支援ネットワークの取り組みに関して、運営委員会へ参加し圏域内へ普及する(専門職、住民など)。
- ・でん伝体操の新規立ち上げ:2会場(湊東、太郎助)
- ・浅羽北地区:自治会単位での見守りネットワーク立ち上げ
- ・浅羽西地区:生活支援推進フォーラム開催
- ・浅羽東地区:でん伝体操 住民交流会開催
- ・幸 浦地区:生活支援推進フォーラム開催
- ・笠 原地区:防災対策について意見交換(アンケートをもとに、社会福祉法人による地域貢献とも関係性を持たせ行う)

令和元年度でん伝体操実績(延べ)

開催場所	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
浅羽北 コミュニティセン ター	回数	4	4	4	3	5	3	4	5	3	3	4	0	42	
	人員	38	40	44	37	47	34	37	42	39	29	43	0	430	
浅羽西 コミュニティセン ター	回数	4	3	3	5	3	3	5	4	4	4	4	1	43	
	人員	20	18	16	30	18	18	37	28	31	30	34	6	286	
浅羽東 コミュニティセン ター	回数	4	4	4	4	4	4	5	4	4	4	4	0	45	
	人員	91	86	79	84	79	84	109	102	96	105	100	0	1015	
幸浦 コミュニティセン ター	回数	4	4	4	4	2	2	4	4	4	3	3	0	38	
	人員	71	63	69	77	32	34	54	70	71	53	49	0	643	
笠原 コミュニティセン ター	回数											3	4	1	8
	人員											13	22	6	41
諸井公会堂	回数	4	5	4	2	4	4	4	4	4	3	4	0	42	
	人員	71	70	58	34	55	56	59	71	82	53	81	0	690	
山の手公会堂	回数	4	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	1	46	
	人員	61	78	64	58	59	61	59	63	63	67	61	14	708	
浅羽防災センター	回数	5	4	4	5	4	5	3	4	4	4	4	1	47	
	人員	113	79	78	108	82	105	81	85	118	94	105	19	1067	
馬場集会場	回数	9	9	8	9	8	8	8	8	8	7	8	3	93	
	人員	81	92	82	91	70	78	70	80	89	89	89	34	945	
浅羽南集会場	回数	4	5	4	5	4	4	5	4	4	4	4	0	47	
	人員	46	54	44	43	32	42	54	40	40	42	44	0	481	
弥太井集会場	回数	4	5	4	3	4	3	3	4	4	4	4	0	42	
	人員	26	32	23	17	21	24	21	28	24	28	26	0	270	
浅名研修センター	回数	9	9	8	9	8	9	6	9	7	7	7	0	88	
	人員	150	157	130	142	109	122	99	160	130	142	138	0	1479	
豊住公会堂	回数	4	4	5	3	5	3	3	5	3	3	5	0	43	
	人員	65	63	86	42	73	59	47	84	39	51	81	0	690	
長溝公会堂	回数	5	4	4	5	4	5	4	4	5	4	4	1	49	
	人員	112	109	102	131	87	113	94	92	112	101	101	22	1176	
一色公会堂	回数	5	3	4	5		4	2	3	3	4	4	3	40	
	人員	35	16	22	27		24	11	13	11	16	23	14	212	
中公民館	回数	4	4	4	4	5	4	2	3	4	3	4	4	45	
	人員	48	43	45	44	47	41	22	30	43	38	54	50	505	
富里中公民館	回数	5	4	4	5	3	4	5	4	4	4	3	2	47	
	人員	70	48	47	48	26	33	58	43	48	46	36	18	521	
下富公会堂	回数	4	4	4	4	5	4	5	4	4	4	4		46	
	人員	56	59	54	52	66	55	64	55	57	55	57		630	
西ヶ崎公会堂	回数	4	3	4	5	3	4	5	4	4	4	4	5	49	
	人員	33	27	27	29	12	22	24	26	33	30	30	26	319	
新堀公会堂	回数	4	5	4	3	4	4	4	4	4	4	3	0	43	
	人員	67	81	72	48	64	59	56	52	61	59	47	0	666	
梅山研修センター	回数												4	4	
	人員												92	92	
松原研修センター	回数									1	3	3	5	1	
	人員									20	57	56	104	16	
東同笠公会堂	回数	4	4	4	5	3	4	5	4	4	4	4	0	45	
	人員	64	53	57	70	50	52	64	57	52	56	58	0	633	
湊西公会堂	回数	4	5	4	5	4	4	5	4	4	4	0	0	43	
	人員	32	40	32	40	32	32	40	32	32	32	0	0	344	
大野研修センター	回数	5	4	4	5	4	4	5	4	4	4	4	1	48	
	人員	44	33	52	71	43	53	52	51	50	55	55	15	574	
中新田公会堂	回数	2	2	2	2	1	2	2	2	2	1	2	0	20	
	人員	29	22	24	27	14	23	30	30	30	9	16	0	254	
五十岡公会堂	回数	2	2	2	2	1	2	2	2	2	1	2	0	20	
	人員												0	163	
西区公会堂	回数	4	5	4	4	4	3	3	4	3	4	4	1	43	
	人員	58	77	52	50	37	39	41	57	37	55	53	12	568	
上区公会堂	回数													0	
	人員													0	
東区公会堂	回数	4	2	5	4	0	2	1	4	2				24	
	人員	22	12	26	18	0	9	4	20	8				119	
下区公会堂	回数	3	2	3	2	3	2	2	3	2	3	3	3	31	
	人員	26	11	18	17	25	15	15	23	14	22	25	25	236	
笠原老人福祉 センター	回数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	0	33	
	人員	41	48	39	37	37	33	36	44	42	41	48	0	446	
三輪公会堂	回数	4	4	4	5	3	4	5	4	4	4	4	2	47	
	人員	39	46	53	63	37	41	62	55	63	49	63	31	602	
合計	回数	125	121	119	124	105	111	114	120	114	111	120	30	1,257	
	人員	1,609	1,557	1,495	1,535	1,254	1,361	1,400	1,553	1,572	1,516	1,735	308	16,296	

ひなた 令和元年度 事業報告

総括

昨年度の大きな赤字収支から「最低でも黒字の収支報告」を目標に取り組んだ今年度。波はあったものの、1月には3年ぶりに月の売り上げが600万円を超えるなど、少しずつ売り上げも伸び、年間でプラスの5万4000円と何とか目標をクリアする事が出来た。営業件数のUPや、支援1の方から利用出来る事を活かして、「今困っている方」に迅速に対応して来た点でも高評価をいただき、声を掛けていただけの事が増えたと感じる。

一方で「登録利用者数の安定」が非常に難しい事も実感した。特に入所系施設への移動のサイクルが早く、サービスを長く継続される方が少ない。絶えずの営業活動が必要と再認識している。

今年度はコミセン祭りへの参加、文化祭の開催、新しい慰問ボランティアの開拓やあゆみ園園児さんとの毎月の交流会など、外部の方との交流にも力を入れる事が出来た。来年度はさらに「利用者様個々」の満足度向上を目指し、「通い」「泊り」「訪問」各種サービスの多様化と、リハビリや個別のアクティビティー作りも充実させて行きたい。

10月には台風19号を経験し、特に水害に対しての弱さも改めて実感した。日頃からの防災への備えを充実させる他、地域や近隣施設との協力体制についても確認と強化を図って行きたい。現在の新型コロナウイルスを見ても、災害をマイナスなものとして終わらせるだけでなく、自分達に足りないものを見直す機会と捉え、マイナスをプラスに転じられるよう、マニュアル作りや意識改革に繋げて行きたい。

利用者 ・開設後の延べ実利用者数は186名(令和元年度新規25名)となった。

- ・利用者様の平均介護度 年間平均 1.94 昨年度 1.92
- ・登録定員に対する稼働率は 82.9% (昨年は78.5%)であった。
- ・短期利用は無かった。
- ・生活保護受給利用者様の利用がある。

財務 ・月の売り上げ目標 4・5月(550万円) 6月～(570万円)としたが、
月平均は564万円であった。(3月介護度未決定の方1名有り、平均は565万円程の予測)
昨年の月平均は520万円であった事を考えると、45万円程増収となった。
・月次売上 最高628万円 最低470万円 と160万円近くの差がある。
・年間の収支としては プラス5万4千円であった。

職員 ・6月に正規職員1名退職となったが、8月より正規職員1名を採用し、現在パート職員を含め
16名の体制。職員は現状として充足している。
・毎月職員会議を実施し、サービス向上や業務改善の機会としている。

事業所 ・4月にトイレ・キッチン・廊下洗面台の給湯工事を行なった。
・備品等補修を要する物が目立って来ている。

地域 ・運営推進会議を年5回開催した(3月は新型コロナウイルス感染拡大の為中止とした)
・コミセン祭り、ふれあい夢市場等地域の行事に参加、11月にはひなた文化祭を地域の方を交えて開催した。あゆみ園園児さんとの交流や、慰問グループの方の来訪も増えて来ている。
・地区の防災訓練に参加した。台風19号の際は紫雲の園へ避難し、宝寿さんとも連絡を取り合った。

ひなた 令和元年度 4月 ~ 3月 報告

1 事業所

事業所名 ひなた
 サービス種類 小規模多機能型居宅介護
 (袋井市指定 第2297300036号)
 事業所住所 袋井市浅羽84-7
 利用登録定員 29名 (通い18名/日 宿泊 9名/日)
 介護理念 「ともに笑って ともに歩んで」

2 利用者の状況

(1) 登録利用者

年・月	利用登録人員	支1	支2	介1	介2	介3	介4	介5	平均介護度	延登録実員
平成31年4月末	24	男 5			2	1	1	1	2.01	161
	-1	女 19	3	2	3	5	3	3		
令和元年5月末	23	男 6			2	1	2	1	1.88	164
	+3 -4	女 17	3	2	3	5	3	1		
6月末	26	男 7			2	1	3	1	1.92	167
	+4 -1	女 19	3	2	4	5	4	1		
7月末	24	男 6			2	1	2	1	1.92	168
	+1 -3	女 18	3	2	4	5	2	1		
8月末	23	男 6			2	1	2	1	2.00	169
	+1 -2	女 17	3	2	3	5	2	1		
9月末	21	男 6			2	1	2	1	2.08	170
	+1 -3	女 16	2	1	3	5	3	0		
10月末	26	男 6			2	1	2	1	2.07	176
	+7 -2	女 20	2	1	5	6	5	0		
11月末	23	男 6			2	1	2	1	1.90	178
	+2 -5	女 17	2	2	5	3	5	0		
12月末	24	男 8			2	2	3	1	1.97	181
	+3 -2	女 16	1	1	6	4	4	0		
令和2年1月末	25	男 8			2	2	3	1	2.02	182
	+2 -1	女 17	1	2	6	3	4	1		
2月末	21	男 5			2	1	2	0	1.73	184
	+2 -6	女 16	1	3	6	2	3	1		
3月末	19	男 5			2	1	2		1.89	186
	+2 -4	女 14	0	3	4	3	3	1		

(2) 利用者平均年齢

R2.3.31

男	70歳~90歳	80.0	82.6
女	76歳~100歳	83.6	

(3)利用者の住所地

R2.3.31

諸井	浅羽	浅名	豊住	浅羽一色	富里	浅岡	中	西ヶ崎
2/16	1/17	1/9	0/4	0/2	1/6	1/7	0/2	0/2
長溝	梅山	松原	太郎助	東同笠	大野	湊	岡崎	山崎
0/2	2/13	0/11	0/2	1/5	0/7	2/10	3/8	0/10
新屋	川井	高尾	横井	田町	下山梨	神長	広岡	栄町
0/1	0/1	0/3	0/1	0/1	0/1	0/1	0/1	0/1
清水町	久能	小川町	睦町	松袋井	青木町	新池	国本	袋井
0/1	0/1	0/1	1/1	0/1	1/1	0/1	0/1	0/1
豊沢	木原	砂本町	泉町	鷺巣	方丈			
0/2	1/1	0/1	1/1	1/1	0/1			

(4)利用者の利用開始時世帯状況

R2.3.31

	一人暮らし	老老世帯	同居				
			子	子の子	兄弟姉妹	他親戚	他人等
全利用者	49	21	110	1	2	2	0
現利用者	7	4	8	0	0	0	0

(5)利用解除の直接理由

R2.3.31

	病院入院	療養型入院	特養入所	老健入所	GH入所	その他の施設入所	他在宅サービス	サービス利用なし
本年度	12	0	7	2	5	3	1	2
全 計	90	3	43	9	27	4	10	8

	死亡	転居
本年度	0	0
全 計	13	1

3 サービスの提供状況

年・月	対象 日数	サービス回数		1日平均数		利用者1人あたりのサービス提供数		
			日中人数	日中人数	夜間人数	月	日	週
平成31年 4月	743	通	267	421	14.03	35.76	1.20	8.40
		通泊	154					
		泊	1	10.60				
		訪問	318					
令和元年 5月	756	通	282	404	13.03	31.44	1.12	7.84
		通泊	122					
		泊	1	10.39				
		訪問	322					
6月	743	通	274	402	13.4	31.40	1.14	7.98
		通泊	128					
		泊	2	10.53				
		訪問	316					
7月	806	通	306	448	14.5	34.67	1.16	8.12
		通泊	142					
		泊	0	4.58				
		訪問	346					
8月	743	通	290	405	13.06	33.36	1.12	7.84
		通泊	115					
		泊	1	10.10				
		訪問	313					
9月	648	通	247	373	12.43	30.46	1.13	7.91
		通泊	126					
		泊	1	7.7				
		訪問	231					
10月	748	通	265	431	13.90	30.71	1.15	8.05
		通泊	166					
		泊	3	8.39				
		訪問	260					
11月	764	通	290	413	13.77	29.64	1.09	7.63
		通泊	123					
		泊	2	9.73				
		訪問	292					
12月	750	通	275	394	12.71	29.12	1.01	7.07
		通泊	119					
		泊	1	7.84				
		訪問	243					
令和2年 1月	784	通	254	444	14.32	33.92	1.13	7.91
		通泊	190					
		泊	1	7.97				
		訪問	247					
2月	708	通	243	420	14.48	31.48	1.20	8.40
		通泊	177					
		泊	11	8.34				
		訪問	242					
3月	604	通	191	358	11.55	32.65	1.24	8.70
		通泊	167					
		泊	1	7.26				
		訪問	225					

4 職員の配置状況

職種	基準等	専従	兼務
管理者	・常勤専従、支障なければ兼務可 ・経験、研修修了		(常勤) 1
計画担当	・専従、支障なければ兼務可 ・研修修了	1	(常勤)
介護従事者	・常勤換算法で通いの利用者3人に対し 1人以上、訪問要員常勤換算法で2人以上 ・夜間2人以上、うち1人は宿直勤務可 ・1人以上は常勤 ・1人以上が看護、准看護師	(常勤) 6 (非常勤) 7	(常勤) 1 (非常勤)

*介護福祉士の数 8名 (別紙:介護福祉士の割合50%以上)

本年度の異動					
採用・法人内異動			退職・法人内異動		
	5/1～	法人内異動		～6/10	退職
	8/1～	常勤介護職			

5 サービスの内容(利用者の介護)

通い	利用者の身体介護(入浴、食事、おやつ、排泄、口腔清拭、静養、整容など) 余暇指導(散歩、ドライブ、ゲーム、体操、歌唱、手芸、ドリルなど) 受診介助 バイタル測定 希望時間での送迎 季節行事 個別リハビリ 行動見守り
訪問	利用者宅での室内・トイレ清掃、服薬等の確認、食事づくり、買い物、バイタル測定 受診の介助 通い準備 排泄等の介助 洗濯物整理等 着替え・整容介助 薬のセット 自宅周辺の散歩
泊まり	夜間の身体介護 行動の見守り

6 行事および地域との関係

(1) 行事および地域交流

月	日	ひなた行事	日	地域との交流・ふれあい
4	4 5 6 24	りんごグループカラオケボランティア お花見ドライブ お花見ドライブ ゆずり葉 読み聞かせボランティア	20	宝寿運営推進会議
5	10 13 14 15 20.21 27.28 30.31 24	ここみ理容 ギター弾き語り慰問 ここみ理容 磐田農高バラ園見学 A・T様100歳のお祝い 磐田農高バラ園見学 〃 〃 法人監事監査	9 18	認知症にやさしい地域を創る会 運営推進会議 あゆみ園打合せ
6	7 12 14 19 20	ハモリーナ慰問 あゆみ園園児来園 りんごグループカラオケボランティア ここみ理容 〃 ゆずり葉 読み聞かせボランティア	10 12 13 16	認知症にやさしい地域を創る会 あゆみ園園児来園 地域福祉を考える会 宝寿運営推進会議
7	5 9 10 12 27 29	法人内部研修 ギター弾き語り慰問 あゆみ園園児来園 ここみ理容 台風の為早めの帰宅 ゆずり葉 読み聞かせボランティア	10 11 20	あゆみ園園児来園 認知症にやさしい地域を創る会 運営推進会議
8	7 8 23 26	誕生会 ここみ理容 ひなた内部研修 マジックショー慰問	17 20	宝寿運営推進会議 地域支え合いネットワーク
9	1 17 18 21 22	地域防災訓練参加 敬老会 祝い善 あゆみ園交流 浅羽北コミセン祭り作品展・見学 〃	1 5 6 8 21 22	地域防災訓練参加 認知症にやさしい地域を創る会 地域福祉を考える会 コミセン祭り打合せ 浅羽北コミセン祭り作品展・見学 〃
10	9 10 12 13 18 24	あゆみ園園児来園 ギター弾き語り慰問 台風19号 紫雲の園へ避難 祭典見学 ハモリーナ慰問 りんごグループカラオケボランティア	9 13 15 19	あゆみ園園児来園 祭典見学 認知症にやさしい地域を創る会 宝寿運営推進会議

11	4 防災訓練 10 ふれあい夢市場参加 16 文化祭 20 あゆみ園園児来園 24 紅葉ドライブ(油山寺) 25 ゆずり葉読み聞かせボランティア 26 懐メロバンドボランティア	8 認知症にやさしい地域を創る会 10 ふれあい夢市場参加 16 文化祭 24 認知症にやさしい地域を創る会 26 地域支え合いネットワーク
12	1 地域防災訓練参加 4.5.6 紅葉ドライブ(油山寺) 14 ギター弾き語りボラ 16 カラオケ慰問 23.24 クリスマス会 27 誕生会	1 地域防災訓練 6 プランター花の入れ替え(支援ボラ) 21 宝寿運営推進会議
1	2 初詣外出 8 あゆみ園園児来所 14 カラオケ慰問 27 マジックショー慰問 29 ギター弾き語りボラ 30 ゆずり葉読み聞かせボランティア	8 あゆみ園園児来所
2	3 誕生会 12 袋井商工会 お雛様展示 12 あゆみ園園児来所 13 誕生会 17・19 ここみ理容 17 ゆずり葉読み聞かせボランティア 18 カラオケ慰問	12 袋井商工会 お雛様レンタル展示 12 あゆみ園園児来所 15 宝寿運営推進会議
3	10 ここみ理容 18 防災点検 ※ 新型コロナウイルスの為慰問等なし	※ 新型コロナウイルスの為交流なし 運営推進会議も中止

(2) ボランティア、面会等の受け入れ交流

利用者ご家族の面会、利用者知人の面会、慰問活動の受け入れ(ご家族、慰問団体、個人)
袋井市介護支援ボランティア、芝刈りボランティア、花苗植え替えボランティア

(3) 運営推進会議の開催

回	通算	開催日	参加人数	内容
1	49	令和1年5月18日	8	ひなたの状況報告・意見交換
2	50	令和1年7月20日	9	ひなたの状況報告・意見交換
3	51	令和1年9月21日	7	ひなたの状況報告・意見交換
4	52	令和1年11月23日	8	ひなたの状況報告・意見交換
5	53	令和2年1月18日	8	ひなたの状況報告・意見交換
6	※	令和2年3月21日	新型コロナウイルスの為中止	

*グループホーム宝寿さんの推進会議にも出席。

7 防災

月1度の防災点検、防災意識を高めるための防災訓練は年2回実施。

訓練のほかに設備・備品を整える必要が大きい。

* 防災設備点検: 業者による防災設備の点検

* 防災点検: 事業所での自主点検(月1回)

* 防災訓練: 事業所での防災訓練・避難訓練(年2回)

令和1年11月4日

令和1年12月1日

8 事例・事故報告・苦情対応

事例報告書 67件:

転倒 18 不履行 内服不十分 8 私物・持ち物 ずり落ち 1 業務不注意 1

業務確認・点検不足 19 運転事故 3 介護中外傷発生 12 個人情報

利用者の認知症行動 1 エスケープ 利用者間トラブル 破損・故障 1 備品紛失

食形態間違い 送迎忘れ・間違い 3 個人備品紛失・破損 3

苦情対応 3件: 事故報告 1件:

ヒヤリ・ハット 117件: ニコリ・ホット 61件:

苦情報告 3件 ・残薬についてのご家族への申し送り不足 薬情報のFAX忘れ

・職員からの声掛け 侮辱を受けるような印象

・利用中に連続して歯が取れる ケアの方法に疑問

9 身体拘束廃止

静岡県に「身体拘束ゼロ宣言」を届け出ている(平成24年6月)、その後「再宣言」の指導があり、平成28年8月に再宣言している。

現在は拘束の事例は無し。

10 事業所内の清潔保持

毎日の清掃、消毒を心掛けて事業所内、対象物の取り扱いに清潔保持に努めている。

利用者において感染症の発生はなかった。

職員の検便(4回/年), 浴槽水の水質検査を(1回/年)を行なっている。

11 自己評価・外部評価

事業所の自己評価に全職員で取り組み、運営推進会議で報告・意見をいただき公表に結びつける。

利用者のご家族から「利用後のアンケート」に答えてもらっている。

12 事業所整備

トイレ・キッチン・廊下洗面台 給湯工事

網戸交換工事

13 内部研修・研修の機会

内部研修： 小規模多機能の訪問 アンダーマネジメント 承認マネジメント
認知症の理解 感染症対策 機能訓練・リハビリ

外部研修： 防災についての心構え 承認マネジメント研修
関東ブロック老人福祉施設研究会 看護職員研修会

14 介護保険・報酬 (保険給付外のサービスについての単価は変動なし)

平成27年4月の改定に伴なった算定を行なっている。

令和元年10月より 特別処遇改善加算が追加となった

- ・サービス提供体制加算 I イ
- ・総合ケアマネジメント加算
- ・訪問体制強化加算
- ・認知症加算、初期加算
- ・処遇改善加算 I (所定単位に10.12%を乗じた単位数)
- ・特別処遇改善加算 (所定単位に1.5%を乗じた単位数)
- ・地区別単価(1単位10.17円) を算定している。

ひなた 令和元年度 介護保険利用料等集計

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
介護保険給付 (単位)	要支①	9,606	10,166	10,209	10,209	10,209	6,806	6,836	6,836	3,866	3,418	3,418	784		
	②	13,754	13,754	13,754	13,754	13,754	6,877	6,908	7,816	6,908	11,902	18,129	20,724		
	要介1	61,092	57,363	52,617	61,920	55,857	41,280	76,847	75,483	85,847	82,912	72,414	62,525		
	2	91,002	91,002	91,002	91,002	91,002	91,002	92,394	83,473	73,057	76,160	88,184	60,928		
	3	88,248	112,206	134,994	132,816	88,248	88,248	126,536	155,099	174,782	151,896	137,758	104,666		
	4	97,400	80,740	61,516	48,700	38,768	0	0	0	0	42,946	24,454	24,454		
	5				26,849	53,698	53,698	53,928	49,139	26,964	26,964	15,966	0		
	加算	初期	840	2,250	1,920	960	1,290	510	2,790	2,850	3,240	2,010	1,440	630	
		認知Ⅰ	6,400	7,200	7,200	7,200	7,200	6,400	8,000	8,000	8,800	9,600	8,800	5,600	
		認知Ⅱ	1,500	1,500	1,000	1,000	1,000	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	2,000	1,500	
		訪問	20,000	22,000	22,000	22,000	20,000	20,000	25,000	24,000	24,000	23,000	23,000	18,000	
		総合ケア	25,000	27,000	27,000	27,000	25,000	24,000	28,000	28,000	26,000	26,000	27,000	22,000	
		サ提Ⅰイ	16,000	17,280	17,280	17,280	16,000	15,360	17,920	17,920	16,640	16,640	17,280	14,080	
改善Ⅰ		43,947	45,133	44,930	46,991	43,046	40,248	45,557	46,930	46,062	48,442	62,287	34,259		
特定処遇							6,703	6,923	6,776	7,124	6,600	5,038			
短期入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
(円)	地域区分	(×10.17)													
	小計(1)	474,789	487,594	485,422	507,681	465,072	434,842	498,924	513,969	504,442	530,514	491,303	375,668	5,770,220	
保険給付外 (円)	日用	12,450	13,050	12,800	14,250	14,350	12,700	13,050	12,950	13,000	14,000	13,150	11,600		
	食事	朝	44,400	36,900	37,500	44,100	33,600	37,800	25,700	39,060	37,200	58,590	57,660	51,770	
		昼	251,400	239,400	238,800	266,400	242,400	226,200	278,160	267,790	246,440	268,400	255,590	215,940	
		おやつ	18,800	18,650	19,150	20,900	19,250	17,700	19,850	17,600	18,850	21,800	20,700	17,750	
		夕	119,000	98,000	92,000	107,000	92,000	87,000	110,160	79,050	65,280	97,920	98,940	88,740	
	宿泊	356,500	282,900	301,300	326,600	266,800	289,800	388,700	285,200	276,000	439,300	434,700	384,100		
	交通							600		400					
	他実費														
	小計(2)	802,550	688,900	701,550	779,250	668,400	671,200	863,220	701,650	657,170	900,010	880,740	769,900	9,084,540	
合計(1)(2)		5,631,138	5,647,714	5,638,274	5,942,347	5,398,166	5,093,527	5,937,214	5,928,497	5,787,332	6,287,497	5,877,277	4,585,551	67,754,534	
お試し利用等															
法人減免額(計)		0	0	0	0	0								0	
含む(公費負担分)		0	0	0	0	0								0	

※3月介護度未確定者1名有り 470万程の予定

令和元年度 ルンビニ保育園 実績報告書

1. 所在地 静岡県袋井市諸井1056番地の2

2. 各月初日現在年齢別措置児童数 (定員 90名)

年齢 / 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
0 歳 児	6	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	94
1 歳 児	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
2 歳 児	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	204
3 歳 児	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	228
4 歳 児	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	228
5 歳 児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
合 計	94	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	1,150

各月初日平均年齢別措置児童数 96人 対定員充足率 107%

3. 保育内容

保育目標でもある「健やかな心を育てる」ため、年間を4期に分けて年齢別に年間の保育計画を園長と主任保育士が協議して定め、月間計画、週案は年間保育計画に基づいて各担任保育士が定め、計画に従って日々の保育を実践したが特に次のことに重点を置いた。

* 自然観察・・・自然に対するやさしい心を養い、成長の過程を理解させる為に、朝顔の種まき、夏野菜の栽培、チューリップの球根植えをし、一人一鉢育てた。

花の咲く様子を観察したり、色水あそびをして楽しむ事ができた。プランターでの夏野菜の栽培も行なった。又、園外散歩では道端の草花やそこに住む虫を見つけ、季節の移り変わりを感じられるように活動した。

* お年寄りとの交流・・・「紫雲の園」の誕生会に、毎月数名ずつ慰問をした。

3才児～5才児が参加できた。

12月のクリスマス会には5歳児が保育園で行われたお遊戯を6曲披露した。

子ども達の心に温かさやさしさを育む絶好の体験となった。七夕まつりや運動会、もちつき会では、地域のお年寄りや保護者のおじいちゃん、おばあちゃんとも交流できた。

- * 鼓隊活動・・・幼児期において正しいリズム感を養う為、4、5歳児で鼓隊を編成して日常の保育活動に取り入れ互いに協力・連帯する心を養うようにした。10月の運動会では成長した子ども達の姿を見る事ができた。
- * 体育指導・・・幼児期におけるバランスのとれた体力の向上と敏捷性を養うため体育指導を実施した。年間計画のもとに、マット、跳び箱、鉄棒、水泳、なわとび、サッカー、ドッチボール等に挑戦。夏は磐田カルチャープールに、年長・年中が出かけた。
- * 茶道指導・・・日本古来の伝統を知り体験する為、茶道指導を実施した。
4歳、5歳と2年間の成果が出て、3月の最後の指導では保護者を招いての立派なお茶会となった。
- * 英語で遊ぼう・・・月、1回英単語で遊ぶ時間を作った。簡単なあいさつや歌遊び、色や物の名前の絵カードを使ってゲーム遊びを通して英語に親しんだ。
- * 園外散歩・・・車社会の現代にあって、歩く力を付けること、町内を知ること、交通ルールを身に付ける事を目的として、各年齢に応じた距離で山登り、公園、神社巡りを計画し、実行した。今年も里山公園に度々行き、園児達の定着した遊び場として利用させて頂いた。
- * 食育・・・一年間を通して「4つのおさら」のランチオンマットを使用して身体への働きを知るきっかけを作る。食前には「食前のことば」を唱和し、「感謝のこころ」を育てていった。
月曜の朝礼時に「心育て」と共に「食育」関連の紙芝居を取り入れて指導した。
また、5歳児はとうもろこしやゆで卵の皮むき体験や、野菜を使ったクッキングを楽しんだ。

(1) 保育時間

通常保育	8時30分～16時30分
延長保育	7時00分～19時00分
土曜保育	7時30分～17時30分

上記を保育時間としたが、保護者の勤務の都合等から更に長時間の保育を要する者も有り、その場合は、遅番保育士が対応した。

(2) 行 事

児童にとってより楽しい園生活とし、又保護者の参加を求めることにより保育の内容を理解してもらう場とするため、計画に基づいて次の行事を実施した。

4 月	*入園式・進級式 釈尊花まつり ・春期健康診断 ・こどもの日の祝い
5 月	*春の遠足、保護者の会総会 ・検尿検査 ・お話し馬拉ソン ・よろこそ図書館へ ・朝顔の種まき、野菜の苗植え ・不審者対応避難訓練
6 月	・磐田カルチャープール（ニコニコ水泳教室） ・水遊び ・歯科検診 ・交通安全教室 ・花火教室 *保育・給食参加会
7 月	*納涼祭 ・七夕まつり、スイカ割り、流しそうめん ・園外保育（年長）
8 月	・お泊り保育 *総合防災訓練
9 月	・お月見会 ・敬老会（年長）
10月	*運動会 ・おつきみ会 ・秋期健康診断 ・チューリップの球根植え ・茶ピアどんぐり拾い *秋の遠足 *保育・給食参加会
11月	・七・五・三の祝い *おゆうぎ会
12月	・釈尊成道会 ・おもちつき ・クリスマス会 ・観劇 ・園外保育（年長） ・不審者対応避難訓練
1 月	・新年おしるこ会 *雪見遠足 ・北公民館豆まき会
2 月	*作品展 ・豆まき会 ・涅槃会 ・入園説明会 ・SL遠足（年長） ・テーブルマナー食事会（年長）
3 月	・ひなまつり ・お茶会 ・お別れ会 ・修了式 *保育証書授与式

◎ *印 = 親子参加行事

◎ 毎月・・・避難訓練、身体測定、紫雲の園誕生会慰問（5歳児から）

月2回・・・体育指導（5、4、3、歳児）

月1回・・・英語指導（5、4歳児）茶道指導（5、4歳児 11月より）

(3) 日 課

日課は年間を四期に分け年齢別に発達段階に応じて園長と保育士が協議して定めたが、次のものを基本とした。

7:00	登園	10:30	課題保育	14:00	
7:30		11:00	給食準備	14:30	
8:00	自由遊び	11:30	給食	15:00	午睡片付け おやつ
8:30		12:00		15:30	帰りの会
9:00	朝の体操 戸外活動	12:30	給食片付け 午睡準備	16:00	自由遊び
9:30	朝の会	13:00	午睡	16:30	降園
10:00	3才未満児 おやつ	13:30			
				19:00	

(4) 給食

育ち盛りの幼児にとって必要な栄養量を摂取させることは大切な事であるから、献立の作成にあたってはその点に十分留意しながら栄養のバランスを考慮し、朝・夕との関連もあるので献立表の家庭への配布や必要に応じて栄養指導を実施した。又、食物アレルギーの体質の園児に対しては、医師の診断書を提出してもらい、除去食、代替食に努めた。

楽しく食事ができるように味付け、彩り等を工夫し、正しく食事する事は生活習慣の重要な部分を占め、園の目標である「感謝の心」を育てるよい機会であるから、食事をいただけることに感謝しながら正しく食事する態度を身につけさせるよう努めた。

保育園給食で人気のあった献立レシピを玄関に常備、自由に持ち帰るようにし、活用されている。又、食事年間指導計画作って、夏野菜（トマト、ピーマン、きゅうり、なす 等）の栽培、収穫をして給食室やクラスで調理して食べた。

調理員は給食管理研修会、県保育士会主催研修会に参加し研修した。

* 年4回、各1週間づつ、歳児別嗜好調査を実施。こども達の嗜好を園全体の職員で把握するよう努めた。

《 一日当たり平均栄養価摂取量 》 令和元年度

	3歳未満児		3歳以上児	
	熱量	蛋白質	熱量	蛋白質
基準	480 kcal	18.0 g	590 kcal	22.1 g
摂取量	493 kcal	19.1 g	570 kcal	21.1 g

《 一日当たり平均給食費 》 令和元年度

3歳未満児	252円	3歳以上児	275円
-------	------	-------	------

(5) 健康管理

袋井市諸井所在の岩本医師を嘱託医とし、定められた入所時健康診断 前期・後期健康診断を実施し、又、まきの歯科クリニックによる歯科検診を年1回行った。その他、例年同様尿検査を実施した。身長、体重の測定は毎月実施し、成長の記録とすると共に指導上の資料とした。

乳歯から永久歯に変わる3歳児から6歳児のフッ素洗口を毎日実施している。

- * 前期健康診断 4月16日 * 後期健康診断 10月 9日
- * 歯科検診 6月13日
- * 尿検査 5月22日 異常者 なし

(6) 非常災害対策

- * 交通安全指導(指導員) 6月 4日 * 普通救命講習会
- * 防火指導(消防署署員) 6月25日 6月22日、11月16日、1月18日

災害発生時の被害ゼロを目指し毎月一回火災・地震等想定して防災訓練を実施し特に8月31日には総合防災訓練を実施し、保護者の参加協力を依頼した。

又、園内事故を防止する為に毎朝職員が遊具の点検を行い、遊具の特に注意する箇所に負荷をかけたり、電気及びガス等の危険物設備は毎月一回安全点検表により点検を行う。消防設備については業者に委託して点検を実施した。

予想される東海沖地震に対応して園内のすべての家具等の転倒防止対策をしている。

非常時用備蓄食品の在庫ノートと3日間分の食事の献立の作成。

(7) 保育担当者

各年齢別にクラスを編成し、それぞれに担任保育士を定めて保育を行なう。

* 3月末保育園児数と保育士

歳 児 別	ク ラ ス	園 児 数	保 育 士 数
0 歳 児	ひよこ組	8 名	3 名
1 歳 児	りす組	15 名	3 名
2 歳 児	うさぎ組	17 名	3 名
3 歳 児	きりん組	19 名	2 名
4 歳 児	ぱんだ組	19 名	2 名
5 歳 児	ぞう組	18 名	2 名
給食室	調理師		2 名
	栄養士		1 名
以上児、未満児クラス	副主任	(未満児主任0歳児担任兼務)	2 名
事務室	園長・主任		2 名
育休			1 名
計		96 名	22 名

4. 中学生の職業体験、高校生のインターンシップ、単位実習及び自主実習で 46名の受け入れをした。

* 6 / 2 1		常葉大学 4 年	1 名
* 7 / 9	~ 7 / 1 1	職業体験・袋井中学校 2 年	3 名
* 7 / 1 2		保育実習・静岡こども福祉専門学校 2 年	1 名
* 8 / 1 9		保育実習・静岡こども福祉専門学校 2 年	1 名
* 1 0 / 5		運動会ボランティア	4 名
* 1 0 / 9	~ 1 0 / 1 1	職業体験・浅羽中学校 2 年	2 名
* 1 1 / 2 9		ふれあい交流学習（よみきかせ体験）・浅羽中学校 2 年	3 0 名
* 2 / 4	~ 2 / 6	インターンシップ・横須賀高等学校 2 年	3 名
2 / 1 0	~ 2 / 2 5	聖隷クリストファー大学 3 年	1 名
			4 6 名

5. その他

(1) 職員研修

県社協、県保育士会、県保連、保安協、が主催した研修会には積極的に参加し研修会参加者は参加報告書を提出すると共に、職員会議の場で伝達研修を行なった。

職員1名がいわた保育士会「保護者支援研究部会」に参加し、保護者と子どものかかわりを勉強した。

市主催の「子どもの支援研修会」「子どもの健康と食を考える会」の研修に年間通して参加した。

また自らスキルを高めるため「リトミック指導者養成」「マーチング研修」などの研修講習などに参加した。

(2) 職員会議

保育計画、行事の検討と連絡調整、問題事項の検討を行う他、園内研修の場として事例研究、園外研修の伝達研修を行なった。

(3) 保護者との連携及び連絡

乳児の健全な育成のためには、家族との連携は欠くことが出来ない。保護者との連携を密にし、日常の連絡には担任保育士と家庭との間に連絡ノートを作って園での子どもの様子や問題点を連絡し、家庭での様子や園に対する要望を聞くようにつとめた。

大きな行事は土曜日、日曜日に計画して参加協力してもらい、保育内容を理解してもらおう努めた。

園の様子や、行事での子どもの姿を保護者に知らせるため、写真入りのおたよりを作成したり、こどものエピソードや楽しい会話の中でのつぶやきを書きとめおたよりにして配布した。

(4) 実習生の受け入れ

実習生の受け入れを行なった。 年間4名の実習生の受け入れを行なった。

卒業後に保育士として役立つ人材となるよう指導。

6. 感染症の動向

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
水痘													
伝染性膿痂疹 (とびひ)													
手足口病			1	27	1	2							31
突発性発疹		1		1							1		3
伝染性軟属腫 (水いぼ)													
伝染性紅班 (リンゴ病)	1	16	1							1		1	20
感染性胃腸炎							2	1		2			5
ウイルス性胃腸炎													
アデノウイルス 感染症			1						1	2			4
ロタウイルス 感染症													
マイコプラズマ 肺炎													
RSウイルス			1	1									2
ヘルパンギーナ			1	2	3	1							7
咽頭結膜熱 (プール熱)													
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)					1								1
溶連菌感染症		1		1		5	4	2	1		1		15
インフルエンザ (A)										5	1		6
インフルエンザ (B)													
ヒトメタニューモウイルス						1							1
川崎病													
合計	1	18	5	32	5	9	6	3	2	10	3	1	95

7. 【ヒヤリ・ハッと】報告

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
子どもの 危険行為		3	2	2	4	9	1		2				23
環境不備		1											1
保育者の対応													
不審者													
合計	0	4	2	2	4	9	1		2				24

8. 【事故報告】

(89件 内1回通院)

* 他 かみつぎ12件

○ 主な内容

- 1 1歳 バランスを崩しロッカーに、おでことこめかみの2カ所をぶつけた。
- 2 3歳 トイレのドアを開け閉めしていて、左手小指を扉ではさんだ。
- 3 2歳 給食の際、椅子に座ろうとしてあやまって転倒。近くにあった椅子の角に後頭部をぶつけた。
- 4 0歳 年長児が0歳児をひざに抱いていてくれたが、転倒し右側の頭部をブロックにぶつけ赤く打撲した。
- 5 4歳 転んだ際、砂場でおでこをぶつけて、たんこぶができた。
- 6 5歳 園庭での鬼ごっこの際、前方をよく見ていなかったの、滑り台におでこをぶつけた。
- 7 4歳 園庭に出る際、階段を踏みはずし転倒し、おでこを撲った。
- 8 1歳 泣いて左手をひどく痛がるので病院に行った。レントゲンを撮ったが異常は見られなかった。様子を見る。次の日には痛がらず左手を使っていた。(岩本外科)
- 9 5歳 粘土あそびの際、喧嘩になり粘土ベラで右腕を突いた。
- 10 4歳 トイレで場所の取り合いで喧嘩になり、顔や鎖骨のあたりを引っかいた。
- 11 0歳 ハイハイの状態ですぐ近くにあって玩具を取ろうとした際、手が滑った。その時に目の前にあった玩具に右目横をぶつけ赤くなった。
- 12 3歳 椅子取りゲームをしていて、友だちとぶつかり右目下を打撲する。
- 13 1歳 保育室の窓の近くでバランスを崩し、窓枠に左側頭部をぶつけた。
- 14 2歳 散歩の際、木の幹につまづき転倒。突き出ている木の枝で唇を切り出血。
- 15 1歳 おたより帳の入れ間違い。
- 16 0歳 薬の連絡票がないのに薬を受け取ってしまった。
- 17 0歳 公園のすべり台で、顔から滑ってしまい地面で右頬をすりむいた。
- 18 3歳 薬を飲ませ忘れた。
- 19 2歳 里山公園で顔に木の枝があたり、切り傷ができた。
- 20 1歳 便座から立ち上がった際、バランスを崩し転倒。トイレの水タンクに額をぶつける。
- 21 2歳 塗り薬を預かっていたが、返し忘れてしまった
- 22 5歳 給食の配膳中、接触。おでこにスープがかかってしまった。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園内処置	7	2	10	5	3	7	6	6	12	6	14	10	88
岩本外科			1										1
眼科													
東遠総合医療センター													
合計	7	2	11	5	3	7	6	6	12	6	14	10	89

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
件数	20	18	21	11	8	11	89

かみつぎ	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳												1	1
1歳			2										2
2歳		2	2					1					5
3歳	3												3
4歳													0
5歳	1												1
合計	4	2	4					1				1	12

令和元年度研修会参加計画と実績

【県保育士会】

月 日	項目	実施内容	参加職員
5・28 (火)	保育士会総会 及び研修会	平成31年度事業計画案、予算案 平成31年度事業計画案、予算案 講演:「これからの保育に求められるもの」 講師:無藤隆氏	主任保育士
6・14 (金)	保育士保育教諭 研修会	講演:「乳児保育の発達と保育」 講師:城北よつば保育園 園長 瀧薫氏	一般保育士
7・12 (金)	リーダーセミナー (保護者支援)	講演:「子どもの育ちを支える保護者支援」 講師:武庫川女子大学 教授 倉石哲也氏	副主任保育士
10・30(水) 31(木)	主任保育士 主幹保育教諭 研修会	講演:「子どもの育ちを保障するために」 講師:大阪総合保育大学大学院 教授 大方美香氏 講演:「主任保育士・主幹保育教諭の役割と責務」 講師:神戸松蔭女子学院大学 教授 寺見陽子氏	主任保育士
11・27 (金)	保育士保育教諭研修会 (配慮を必要とする子のいる保育)	講演:「気になる子どもたちの理解と対応」 講師:静岡大学教育学部 特別支援教育 香野毅氏	一般保育士
2・6 (木)	保育士保育教諭 研修会(食育)	講演:「子どもの発達と食育」 講師:相模女子大学栄養学部 教授 堤ちはる氏	栄養士

【いわた保育士会 研修】

月 日		実施内容	参加職員
4・20 (土)	総会 研究部会発会式	平成30年度事業・決算報告 令和元年度事業・予算案 アトラクション みんなで楽しくパーカッション	一般保育士 3名 副主任保育士
6・15 (土)	第1回職員 研修会	講演:「明日からすぐに使えるあそび」 講師:あそび作家 ふくろうず	一般保育士
8・31 (土)	第2回職員 研修会	講演:「子どもとの毎日」 講師:心の発達アテンダント認定講師 石森恵美氏	一般保育士
10・29 (火)	視察研修	ルンビニアゆみ園	一般保育士
12・7 (土)	研究部会報告会 及び講演	研究部会報告会 講評・講演・講師 寺澤達也氏	一般保育士 4名

【いわた保育士会 (食育部会)】

月 日		実施内容	参加職員
4・20 (土)	研究部会 発会式	部会の予定や会場について話し合う	栄養士
月一回	いわた保育士会 食育部会	食育の絵本 栄養素表を作る 今までの取り組み資料まとめ 発表資料作り パワーポイント確認 等	栄養士

【県保育連合会】

月 日	項目	実施内容	参加職員
4・26 (金)	所長研修会	講演:「保育の価値とリスク」 講師:NPO法人 保育の安全研究・教育センター代表理事 掛礼逸美氏	園長
5・10 (金)	第60回静岡県 保育研究大会	静岡県保育研究大会 分科会 テーマ「すべての人が子どもと子育てに関わりを持つ社会の実現をめざして」	一般保育士
10・24(木) 25(金)	民間園長研修会	講演:「保育行政の動向について」 講師:静岡県子ども未来課長 山本智ひろ氏 講演:「質の高い保育・幼児教育に向けての現状と課題」 講師:おおわだ保育園理事長 馬場耕一郎氏 講演:「子どもの最善の利益とは何か」 講師:日本保育者支援協会 スーパーバイザー 新保庄三氏	園長
11・11 (火)	育児相談研修会	講演・実技:「親への対応～話の聞き方、伝え方、話の引き出し方」 講師:ひととき保育高井戸施設長 磯田節子氏	一般保育士
1・30 (木)	施設長研修会	講演:「もうひとつに空気をどう創るか」 講師:おおぞら教育研究所 代表 木村歩美氏 講演:「保育情勢報告」 講師:静岡県保育連合会 会長 土方雅之氏 講演:「関わりの質を高めるリーダーの役割」 講師:東洋大学 教授 高山静子氏	園長
2・19(水) ～21(金)	新規採用予定 職員研修会	講演:「保育者としての自覚と責務」 講師:静岡県保育士会副会長 岡本真理子氏 講演:「子どもと絵本をひらくとき」 講師:浜松こどものとも社 代表取締役 安田友昭氏 講演:「保育園・認定こども園の使命と役割」 講師:静岡県保育連合会副会長・西部支部長 岡田泰稔氏	園長 保育士内定者

【県保育連合会西部支部】

月 日	項目	実施内容	参加職員
5・13 (月)	施設長研修会	講演:「働きやすい職場と人材育成」 講師:社会福祉法人小湊会 理事長 武居敏氏	園長
7・19 (金)	男性職員交流 研修会	講演:「より良い教育・保育現場を実現させるために」 講師:E-ComWorks株式会社 代表取締役 山本衣奈子氏	園長 一般保育士
9・12 (木)	初任職員研修会	講演:「積み木と保育」 講師:日吉の森保育園 施設長 脇淵爾良氏	園長 一般保育士
10・30 (水)	小児医療研修会	講演:「保育施設における食物アレルギー対応」 講師:かわだ小児科アレルギークリニック 管理栄養士 久保愛氏	調理師

【静岡県】

月 日	項目	実施内容	参加職員
6・25(火) ～27(木)	食育アレルギー対応 キャリアアップ研修	講演:「保育所における食事のガイドライン」他 講師:浜松市管理栄養士 乙部智恵美氏 他	栄養士
9・5(木) ～7(土)	保護者・子育て支援 キャリアアップ研修	講演:「保護者に対する相談援助、虐待防止、地域における子育て支援」他 講師:大正大学臨床心理学科教授 教授 玉井邦夫氏	一般保育士
9・22(日) ～24(火)	乳児保育 キャリアアップ研修	講演:「乳児への適切な関わり、保育内容、指導計画、記録及び評価」他 講師:静岡産業大学 教授 漁田俊子氏	副主任保育士
9・24(火) ～26(木)	幼児保育 キャリアアップ研修	講演:「指導計画、記録及び評価、小学校との連携」 講師:静岡県立大学 教授 永倉みゆき氏	副主任保育士
10・16(水) ～18(金)	障害児保育 キャリアアップ研修	講演:「障害の理解、障害児保育の環境」 講師:静岡大学教育学部教授 香野毅氏	一般保育士
11・5(火) 11・25～26	マネジメント キャリアアップ研修	講演:「マネジメントの理解、リーダーシップ組織目標の人材育成」他 講師:ウメハナリレーションズ 代表 松原美里氏	副主任保育士
12・3(火) ～5(木)	保健衛生・安全対策 キャリアアップ研修	講演:「保健計画の作成と活用、事故防止及び健康安全管理」他 講師:全国保育園保育士看護士連絡会 並木由美江氏	一般保育士
2・25(火) ～27(木)	保護者・子育て支援 キャリアアップ研修	講演:「保護者支援・子育て支援の意義」他 講師:日本社会事業大学教授 金子恵美氏	副主任保育士

【袋井市】

月 日	項目	実施内容	参加職員
6・12 (水)	浅羽学園合同研修会	授業参観、全体会①これまでの交流活動の状況 ②今年度の交流活動のあり方③今後の展開	副主任保育士
8・2 (金)	浅羽学園合同研修会	講演:「これからの教育と小中一貫教育」 講師:静岡県立大学 特任教授 吉澤勝治氏	副主任保育士
11・6 (水)	浅羽学園合同研修会	教科等カリキュラムについての話し合い	副主任保育士

月 日	項目	実施内容	参加職員
7・24 (水)	子ども支援研修会	「発達特性をもつ子どもがいるクラスづくり」 講師:長野県自立支援協議会会長 福岡寿氏	一般保育士
11・1 (金)	子ども支援研修会	「注意の働きに偏りがある子への配慮と指導について」 講師:名古屋学芸大学 准教授 今井正司氏	一般保育士

月 日	項目	実施内容	参加職員
4・8 (月)	就学指導担当者会	年間計画について・就学指導の基本方針について 専門調査の実施方法について・提出書類について	副主任保育士 一般保育士

月 日	項目	実施内容	参加職員
6・24 (月)	子どもの健康と食を考える会	袋井市の食育の取り組み紹介	調理師
2・14 (金)	子どもの健康と食を考える会	子どもの食べる機能の発達	調理師

【保安全管理協会】

月 日	項目	実施内容	参加職員
6・22 (土)	普通救命講習会	AEDの使い方 心肺蘇生の手順… 他	一般保育士
11・16 (土)	普通救命講習会	AEDの使い方 心肺蘇生の手順… 他	一般保育士
1・18 (土)	普通救命講習会	AEDの使い方 心肺蘇生の手順… 他	一般保育士

【心療対話士協会】

月 日	項目	実施内容	参加職員
4・21 (日)	心療カウンセラー資格取得講座	メンタルケアの社会的実情、自殺者の現状分析 メンタルケアの基本、悩みの聴き方、人の心の仕組み	副主任保育士
5・5 (日)	心療カウンセラー資格取得講座	ことばのエネルギー、アスペルガー・自閉症・統合失調症 不安症、メンタルケア、ストレスについて	副主任保育士
6・2 (日)	心療カウンセラー資格取得講座	病人・高齢者に対するメンタルケア、認知症について うつ病について、新型うつについて、ロールプレイ	副主任保育士
7・21 (日)	心療カウンセラー資格取得講座	生活環境からの影響、自立神経・免疫力 ロールプレイ、メンタルケアの限界	副主任保育士
8・4 (日)	心療カウンセラー資格取得講座	職場における人間関係・メンタルケア、労働契約法と 心の健康管理、職場でのうつ病対策、ロールプレイ	副主任保育士
8・25 (日)	心療カウンセラー資格取得講座	ロールプレイ、診療カウンセラーの心得 質疑応答・設問説明	副主任保育士

【その他】

月 日	項目	実施内容	参加職員
5・26 (日)	幼児音体指導者 1日講習会	マーチング 基本動作、合奏、各パートの演技&マ스ゲーム	一般保育士 2名
6・8 (土)	ダンス講習会	楽しく踊ろう！運動会！	一般保育士 2名
7・6 (土)	基礎講座	事例検討会ー保護者とともに子どもに寄り添うー	一般保育士 2名
7・24(水) 25(木)	甲種防火管理 新規講習	防火管理の意義と制度の概要 危険物等の安全管理 防火管理野進め方と消防計画 他	副主任保育士
8・5(月) ～10(土)	免許法認定講習 (特別支援教育)	特別支援教育基礎理論、肢体不自由教育総論 知的障害教育総論、	一般保育士
8・12(月) ～17(土)	免許法認定講習 (特別支援教育)	重複障害・LD等教育総論、病弱教育総論 知覚・聴覚障害教育総論	一般保育士
12・20 (金)	絵本の研修	絵本の紹介 対談 講師:浜松こどものとも社 安田友昭氏 絵本作家 及川賢治氏	副主任保育士 一般保育士
2・6 (木)	実習連絡会議 (浜松学院大学)	より良い新卒採用者を共に育てるためには ～実習を通して学生に身につけてほしい資質とは～	副主任保育士
2・7 (金)	保育士・給食関係者 研修会	講演:「保育所におけるアレルギー対応について」 講師:昭和大学医学部小児科学講座 教授 今井孝成氏	調理師

令和元年度 ルンビニ第二保育園 実績報告書

三宝会法人理念 『大慈愛心』

私たちは親が子に抱くような慈しみ愛する心、大きな慈愛の心をもって皆様と向かい合います。

1. 所在地 静岡県袋井市浅羽1248番地

2. 各月初日現在年齢別措置児童数 (定員 90名)

年齢 / 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
0歳児	6	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	105
1歳児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
2歳児	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	215
3歳児	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	264
4歳児	20	20	20	20	20	20	19	19	19	19	19	19	234
5歳児	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
合計	103	107	107	107	107	107	106	106	106	106	106	106	1274

各月初日平均年齢別措置児童数 106 人 対定員充足率 117.9%

3. 保育内容

「健やかな心と身体」を育てる為に、お釈迦様の教え【仏教】を基本理念として保育しています。

- * 保育目標は、
 - (1) めぐみの心を持ち、命を尊重する子
 - (2) 善悪をみきわめ、絶えず正しい方に進む子
 - (3) 自分の立場を考え、他と強調できる子

を三本柱とし、「感謝」の心を育て、「ありがとう」が言える子に育てていく為、保育過程を園長、年間計画を園長、主任保育士、主任補佐が協議して定め、各クラスの保育リーダーが年間の保育計画を定め、月間計画、週案は年間保育計画に基づいて各担任保育士が定め、計画に従って日々の保育を実践しました。

- * 自然観察・・・園の周辺は自然環境に恵まれ、草木や田んぼ、鳥や雲、風、など四季折々に変化していく様子を五感で感じる気付きを保育の中に取り入れています。季節によって変わる園庭の花壇の花や朝顔やチューリップを見て、お花に水をかけてあげたりする姿が見られ、大切にしているおたまじゃくしやカブトムシなどの観察の際は命の大切さも伝えていきます。散歩時に見つけた草花や、小動物や昆虫に興味を持ち、観察したり図鑑で名前を調べたりしました。園内環境も春のクローバー遊びや初夏の梅の実の収穫、開園当初植樹したクヌギやしいの実が秋に実を付けるなど楽しみにしていた子ども達です。

10月にグリーンバンクの「花育教室」に参加し年長児20名と「卒園式をおはなでかざろう」と寄せ植えを行いました。一人一鉢、お花を3種類を決め、植え、水かけ、肥料、枯れた花摘みなど毎日3月までお世話しました。今年は2回目の取り組みでしたが4か月間にわたる花育の経験はやさしい思いやりの心の土台となりました。今年もまた卒園式に子ども達のお花で飾ることが出来ました。

- * 老人との交流・・・月に一回、年長児さんから順にデイサービスのお誕生会に参加しています。歌やお遊戯を披露し、おじいちゃん、おばあちゃん達にプレゼントをしたり握手パワーをもらい子ども達の心をあたたくしてくれました。12月にはお遊戯会の遊戯を年長さんが披露しました。3月に行われていた年長さん最後の訪問は中止となりましたがお祝いにプレゼントを頂きました。10月に「おじいちゃん、おばあちゃんと遊ぼう会」を企画し、園児の祖父母(81名)が参加し、保育園での様子を見ていただいたり、一緒に遊んでいただきました。おじいちゃんおばあちゃんの来ていない子も温かく接して下さり、日本の文化を伝承してきた方々の日本人の「心」の素晴らしさをいつも感じています。帰りに年長さんが作ったクッキーをプレゼントしました。2月には浅北コミュニティーセンターの企画で「昔の遊びと豆まき会」に参加させて頂きました。ポニーのふれあい体験やたこあげの醍醐味や難しさ等とても良い遊びを体験させて頂いています。ルンビニ保育園、浅羽北幼稚園、東幼稚園の子ども達が集まる年1回の交流の場となっています。その他、地域での見守りやお声かけ、民家でみかん狩りをさせて頂いたり地域の方に支えられ子ども達の経験や感性が豊かになりました。

- * 音楽指導・・・乳幼児期からの感性豊かなこどもの育成をビジョンとしています。0歳からの音を楽しむおもちゃに始まり、生活の中での音楽的環境を豊かに歌や楽器に親しむことを保育に取り入れています。0・1・2歳児クラスの遊びの中にわらべ歌をとり入れ、ゆっくり優しく歌って遊んだり、保育士と一緒に季節の歌を歌ったり、リトミックやリズム遊びをしています。
4・5歳児クラスは外部講師による音楽指導を行いました。リトミック、鼓隊、鍵盤ハーモニカ楽器演奏の指導を受け、運動会や小さな音楽会で発表しました。今年の音楽会では打楽器アンサンブルグループ「エンパーズ」3名をお招きし演奏して頂きました。子ども達はマリンバやドラムの響きを体で感じ不思議な楽器の音色に耳を傾け、知っている曲の時は歌を口ずさむ楽しい時間となりました。英語指導で教えて頂いた日常会話の歌を4曲メドレーで行いました。子ども達は歌で会話を覚え楽しむ事ができました。
- * 鼓隊指導・・・鼓隊の取り組みが子ども達にとって負担にならないよう配慮し、年中の2月より行っています。音符の読み方から太鼓のバチの扱い、楽器の扱いと指導していきます。指導環境を整えたり、ゆとりをもって練習を重ねる事で集中力を高めていき、9月の運動会では一人一人が自信を持って皆で力を合わせて発表でき、最後までやり遂げる充実感を味わうことができました。又、今年度も保護者の協力を得て、袋井南部ふれあい芸能祭に参加することができました。メロープラザの大きな舞台で地域の皆さんに見て頂き、ひとりひとり自信となりました。
- * 体育あそび・・・園では0歳児の赤ちゃん体操から保育士がマンツーマンで関わり、触れ合いのこころよさから体を動かすことによる視野の広がり、子供の好奇心や探究心を高め、歩く、走る、跳ぶ、投げる動作を基本とした運動遊びを年齢に応じて環境設定し、実践しています。(0歳児・赤ちゃん体操・音楽に合わせて保育士との体操・寝返り・屈伸の促進・ずりばい・はいはい・一人歩きの介助や促進)(1歳児・マットの凹凸の昇り降り、段差、滑り台、ボールを転がす投げる・蹴る・トンネルをくぐる等) 2歳以上の子ども達はいろいろな体育用具(フラフープ・マット・平均台・跳び箱・ボール・鉄棒・縄跳び・パラバルーンなど)を遊び環境に取り入れながらいろいろな経験を積み重ね個々の能力に挑戦しています。日々の遊びの中で上の子を見て学ぶ縦割りの学習の芽生えが見られます。今年度も、走ることを基本とした運動あそびに重点を置いた保育を行ないました。朝マラソンは距離やコース等に変化を工夫し、げたマラソンを取り入れたり、がんばりベルトやがんばりカードを付け挑戦することを楽しんでいました。保育士や友達と遊びの楽しさを共感する中でついたバランス感覚や持久力と体力は年度末に鉄棒、縄跳び、跳び箱、マラソンと自己挑戦し、自ら遊びこむ姿となっています。鬼ごっこやドッジボール等の集団遊びを通して友達とのコミュニケーションの苦手な子もかわりを深め、年間通して2歳児から年長児までいろいろな鬼ごっこやドッジボールを楽しむことが出来ました。子ども達が「できたよカード」を自慢げに見せる一方で家庭での外遊びが少なく日々の生活や家庭環境の中で経験が少なく自己肯定感の低い子が見られ、家庭との連携の大切さを痛感しました。
- * 茶道指導・・・茶道の心得のある保育士2名による指導は子どもの成長を視野に入れ、無理のない細やかな指導が評価されます。月1回年中・年長児に抹茶お作法の体験指導が行われています。子ども達は、日本古来の伝統を知り、静の時間の中で自分を見つめ、周囲の人への気配りや思いやりの言葉や仕草を体験しています。入室の仕方、歩き方、座り方、お辞儀の仕方、お茶菓子やお茶の飲み方等の作法を知ると共に季節のお菓子やお花の名前も覚え楽しみました。5歳児は3月にはお手前を覚えました。今年も子ども達の成長を見て頂きたくてお茶会に保護者をお招きしましたが昨年の反省を踏まえ、スマホでの撮影は遠慮して頂くことにしました。又、茶法を知らない保護者も見られた為、お箸の三手取りやお茶をいただくマナーを子ども達と一緒に知らせながら経験し、日本の文化を親子で共有して楽しめるようにしました。
- * セイハ英語教室・・・「異文化を体験しよう」といった目的で外国人講師1名、日本人講師1名(外部委託)計2名による月1回のレッスンを行いました。4月の年少児は外国人講師に最初は何の子も緊張して声がでませんが日本人講師が間に入ることで模倣ができるようになります。毎回繰り返されるお天気や年齢、気分の他、身近な物の名前が月々に出てきますが基本がゲームやダンス、歌、絵本なので毎回楽しみにしている子供たちでした。後半になると聞き取る力も付き簡単な会話(先生の質問)に大きな声で答える子が増え、褒めてもらいハイタッチする姿がみられました。年長さんでは友達との会話にチャレンジしました。園内にも英語が聞こえてくる環境が整い年々活発に楽しむ子が増えています。

* 園外散歩・・・運動遊びを推進している今日では保育園生活において体力が向上していますが途中入所児においては家庭環境もありますが自ら積極的に遊びだすまでに半年ほどかかりました。交通ルールや散歩中の約束をわかりやすく伝えることや異年齢で出かけることで5月半ばには、安全に散歩先でも活動できるようになりました。ベビーカーから散歩車、誘導ロープからお友達と手を繋ぐなど発達年齢に応じた歩き方で園内散歩から始まり、園周辺、セキスイ団地公園、どんどこ牧場、西公園、中央公園、浅羽記念公園、十二支所公園と年齢や体力に合わせ距離（往復1km～3km）を伸ばしていきます。四季の変化を肌で感じながら公園や安全な田んぼ道で草花を摘んだり、地域の羊や犬などと触れ合ったり、公園で思い切り遊んだり目的をもって歩くことの楽しさを知りました。又、地域の方と会話したり、たくさん歩けたことで自分が大きくなった喜びを散歩を通して感じる事ができ自信となっていきました。異年齢児クラスと一緒に出かける事で、年長児の自覚も芽生えていきました。小さな子に寄り添う経験をし1年を通して充実した園外散歩となりました。

* 食育・・・各クラスから出された食育計画に基づき夏野菜の苗植えをしました。年長さんの初めての梅ジュース作りは香りもよく好評でした。今年も夏の畑では年長さんが草取りや水かけを頑張ってくれました。トマト、ナス、ピーマン、オクラ、きゅうり、えだまめとたくさん収穫出来て収穫の喜びを経験した子供たちでした。クッキングメニューも野菜を使ったホットケーキやピザ、クッキー、サラダ、野菜みそ炒め、夏野菜カレーと年々増え、たくさん楽しみました。野菜栽培や収穫そしてクッキングは家では食べない野菜の苦手な子もおかわりする魔法の食育となっています。又、野菜のスタンプあそびは子ども達の豊かなイメージを広げる遊びの一つとなっています。園での食育指導としては

0歳・・・はじめての食材になれる～ コップをもつ

1歳・・・手づかみからスプーンへの移行 絵本を通して食材やメニューの名前を知る

手洗いの仕方、簡単な食事マナーを知る いろいろな味に慣れる

2・3・4・5歳・・・野菜の季節を知る 野菜の水かけをする 食材の効能を知る 苦手なものも食べてみる 収穫を喜ぶ バランス良く食べる 箸を正しくもつ 周囲の人のことを考えて食事する 等のねらいを定め、実践しました。

✿ 保育時間

短時間保育	8時30分～16時30分
標準時間保育	7時30分～18時00分
延長保育	7時00分～19時00分
土曜保育	7時00分～18時00分

✿ 行事

子ども達にとってより楽しい園生活とし、又、保護者の参加を求めることにより保育の内容を理解し、共に子育てを楽しんでもらう場とする為、計画に基づいて次の行事を実施しました。

4月	*入園式・進級式 積尊降誕会 春期健康診断 子供の日の祝い*春の遠足・保護者会総会
5月	ようこそ図書館(さくら組)・アサガオの種まき・すみれ組保護者栄養講座 保護者保育参加 検尿、ぎょう虫検査 芋の苗付け 交通安全教室
6月	衣替え 保護者保育参加 不審者対応訓練 歯科検診 作法講座 子ども未来プロジェクト どろんこ遊びプールそうじ(さくら) 水遊び 虫歯予防のお話(すみれ～さくら) 花火教室
7月	泥んこ遊び 水遊び プール指導 聴力・視力検査(さくら組)*納涼祭
8月	七夕祭り(流しそうめん・すいかわり) 泥んこ遊び 水遊び・プール指導 絵本講座(つ・ちゅー)
9月	*総合防災津波・洪水対応訓練・引き渡し訓練 浅北コミセンまつり(絵画展示・歌発表) 絵本講座(ひ)*運動会
10月	不審車対応訓練 異年齢ふれあい交流あそび お月見会、浅中生体験学習 ハーモニー公演 秋の健康診断 食育クッキング講座(さくら) チューリップの球根植え おじいちゃんおばあちゃん と遊ぼう会 秋の遠足・芋ほり遠足・花育教室・ようこそ図書館(ひまわり) 就学時健診(高南)
11月	福祉施設防災訓練(焼き芋会) 支援センターフェスティバル 就学時健診(浅羽北・浅羽東・浅羽南) 浅中2年生交流会 七五三の祝い 大掃除 袋井市一貫教育説明会 みかん狩り
12月	成道会 おゆうぎ会 浅羽北小一年生と交流授業 もちつき会 ジュビロサッカー教室、 絵本講座(れんげ) デイサービス慰問(お遊戯披露) クリスマス会 小掃除
1月	七草 地域交流(イズモホールふれあい祭り) 小さな音楽会 浅北コミセン地域交流節分会 お茶会(さくら、ひまわり) 入学説明会(袋井北、笠原)

2月	豆まき会 入園説明会(浅羽南・北・東・高南・袋井北・磐田南)ミニ作品展 涅槃会 さくら組お茶会参観 袋井市南部ふれあい芸能祭 レストランお食事会(さくら) 大掃除
3月	ひな祭り会 *修了・卒園式 お別れ遠足(さくら組) お別れ会

- ◎ * =親子参加行事
- ◎ 毎月・・・お誕生会、避難訓練、浅羽ディサービス誕生会慰問
音楽リズム(リトミック・楽器・鍵盤ハーモニカ・鼓隊)・・・全クラス
体育あそび(全クラス)
セイハ英語教室(すみれ・ひまわり・さくら)
茶道(ひまわり・さくら)

☼ 日 課

日課は年間を通じて年齢別に発達段階に応じて園長、主任保育士、保育士が協議して定め、次のものを基本としています。

7:00	随時登園	10:30	課題保育	14:00	
7:30		11:00		14:30	
8:00	自由遊び	11:30	給食準備	15:00	午睡片付けおやつ
8:30		12:00	給食	15:30	
9:00	朝の体操 戸外活動	12:30	給食片付け 午睡準備	16:00	帰りの会
9:30	朝の会	13:00	午睡・休息	16:30	自由遊び
10:00	3才未満児 おやつ	13:30		19:00	随時降園

☼ 給 食

栄養士が食育の年間指導計画をたて各クラスの保育士と連携をとりながら野菜づくりをした。クッキングのお手伝いを通して食べ物の大切さを知らせ、何でも食べようとする意欲が持てるような食育指導をしました。又、保護者への子どもの生活習慣に関するアンケート調査を行い、保護者の要望や課題をとらえ離乳食・幼児食の展示・給食だより・食育だよりの配布、保育参加時における給食参観と試食等を実施し各家庭への食育を啓蒙しています。毎月の給食会議においてメニューの検討や子どもの個別対応においての情報交換を密に行っています。今年も子ども達が給食やおやつを目で見て楽しみ、食べて楽しみ、心を豊かに育てる視点で日本の行事食を取り入れた献立作成に配慮しました。子どもたちの笑顔がたくさん見られました。

《 一日当たり平均栄養価摂取量 》

平成30年度

	3歳未満児		3歳以上児	
	熱量	蛋白質	熱量	蛋白質
給与目標	474 kcal	19 g	575 kcal	23 g
摂取量	527 kcal	19.6 g	602 kcal	23.2 g

令和元年度

	3歳未満児		3歳以上児	
	熱量	蛋白質	熱量	蛋白質
給与目標	492 kcal	19.7 g	574 kcal	23 g
摂取量	523 kcal	21.2 g	598 kcal	23.3 g

※ 上記はルンビニ第二保育園園児の身体の発育状況の統計をとり給与目標は園児の人数・性別の比率身長・体重をもとに算出した目標量です。

《 一日当たり平均給食費 》

平成28年度	3歳未満児	228円	3歳以上児	228円
平成29年度	3歳未満児	222円	3歳以上児	225円
平成30年度	3歳未満児	224円	3歳以上児	227円
令和元年度	3歳未満児	222円	3歳以上児	221円

✿ 健康管理

袋井市諸井所在の岩本医師を嘱託医とし、定められた入所時健康診断（前期）・後期健康診断を実施し、又、まきの歯科クリニックによる歯科検診を年1回行いました。その他、例年のとおり尿検査、ぎょう虫検査を実施した。又、身長、体重の測定は毎月実施し、成長の記録とすると共に低身長の指導上の資料としています。

* 前期健康診断	4月24日	* 後期健康診断	10月16日
* 歯科検診	6月21日		
* 尿検査	5月22日	異常なし	
* ぎょう虫検査	5月22日	有卵者 なし	

- * 感染症…感染症の予防として園では手洗い、うがいの励行、水分補給、保育室・給食室の衛生管理を行っています。又、早期発見、早期治療を保護者に呼び掛け、感染症がでた時には保健だより・メール送信等で逸早く保護者に知らせ、協力して頂いています。今年度はインフルエンザAが1月に感染者が数名出ましたがその後は新型コロナウイルス感染症が世界的に大流行となりました。2月27日袋井市感染症対策本部からの情報を頂き、法人保育部門からその対応策を保護者あてに連絡しました。家庭で保育の可能な子は登園を自粛して頂きましたが70～80%は登園していました。その為、予防策として(全室における空気清浄・加湿器の設置・マスク・手指消毒等)で対処し37.5℃以上の発熱、鼻水、咳の出る子にはお休み又は早退をお願いし、出席停止として取り扱いました。体調の悪い子が早めにお休みしていた為、例年になく3月は感染症にかかる子がいませんでした。

* 一年間の感染症の動向

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
伝染性膿痂疹	3				1	1	1						6
インフルエンザB型	1			1									2
溶連菌感染症		1	2	1									4
突発性発疹		1	1				1		1				4
感染性胃腸炎		1	1										2
ウイルス性胃腸炎		1	5										6
手足口病			2	25	1	2		4	16				50
ヘルペス性歯肉口内炎			1										1
ヘルパンギーナ				2			3						5
咽頭結膜炎(プール熱)				1						2			3
RSウイルス感染症					1								1
インフルエンザA型										6	1		7
伝染性紅斑(りんご病)										1			1
流行性各結膜炎											2		2
													0
合計	4	4	12	30	3	3	5	4	17	9	3	0	94

- *平成27年度 感染者延べ数・・・120名 主な病気(手足口病・インフルエンザA・感染性胃腸炎)
 *平成28年度 感染者延べ数・・・110名 主な病気(手足口病・インフルエンザA・B 感染性胃腸炎)
 *平成29年度 感染者延べ数・・・59名 主な病気(手足口病・インフルエンザA・B)
 *平成30年度 感染者延べ数・・・110名 主な病気(インフルエンザA・手足口病・ヘルパンギーナ)
 *令和元年度 感染者延べ数・・・94名 主な病気(手足口病)

4. ヒヤリ・ハット

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
子どもの危険行為		1						1				1	3
環境不備		1		2		1			1				5
保育者の対応	2	2	2							2			8
保育者の行動		3	4	1			1			1		1	11
保護者の行動							1						1
栄養士・調理員の不注意				2	1								3
合計	2	7	6	5	1	1	2	1	1	3	0	2	31

【 内 容 】

- 4月 1 ・お部屋での自由遊びの時子どもが1階に行ったのに気付かなかった。
- 2 ・帰りの支度後知らない間に部屋を出て玄関で靴を履いていた。
- 5月 3 ・着替えの服を間違えて他の子に着せてしまった。
- 4 ・薬の受け取りの際印鑑の確認を忘れ、保護者に伝えるのも忘れた。
- 5 ・子どもが口に水筒かけの先のゴムの部分を入れていた。
- 6 ・乳児室前職員トイレの窓のロックがかかっていた。
- 7 ・午睡後乳児室廊下ゲート、ホールのドアが開いていて子どもが二階階段を昇っていた。
- 8 ・お汁粉のお餅2センチ角を噛まずに飲み込もうとした。
- 9 ・敗れかけた網戸の近くで遊んでいて寄りかかった拍子に突き抜けてしまった。
- 6月 10 ・早退した子どもに他の子のおたより帳を間違えて渡してしまった。
- 11 ・支援の必要な子どもが遅番の部屋への移動中、外に出てしまっていたことに気付かなかった。
- 12 ・おたよりに検温し記入中、近くにいた子供がペンで落書きをしてしまった。
- 13 ・2階のトイレの窓が閉め忘れていた。
- 14 ・子どもの噛みつきを母親に謝罪することを忘れ上司への報告を忘れた。
- 15 ・おたより帳を間違えて他の子に渡してしまった。
- 7月 16 ・シラスの中にビニール片がはいつていた。
- 17 ・職員の給食に髪の毛がついていた。
- 18 ・納涼祭翌日ゲームのチケットを止めたと思われるホッチキスの針が保育室に落ちていた。
- 19 ・乳児園庭で水遊びをしていた時スロープ用板（避難時用）が倒れてきた。
- 20 ・チーズの包みをほぼ開けた状態で渡したが包み紙も口に入れていたことに気付かなかった。
- 8月 21 ・アレルギーの子の専用トレイの手順の不備に保育士が気づいた。
- 9月 22 ・廊下の掲示物の下にホッチキスの針が落ちていた。
- 10月 23 ・子どもの服から落ちたボタン電池をかばんのポケットに入れたが保護者に伝え忘れ、次の日保育室に落ちていた。
- 24 ・子どもの着替えバックからたばこの吸い殻が出てきた。
- 11月 25 ・登園時、園庭で遊んでいた子が駐車場に出ってしまったサッカーボールを追いかけて門から飛び出した
- 12月 26 ・テーブル付き椅子に座っていた時、床を足でけり椅子の足で挟んでしまう為足置きで対策をしていたがサイズが小さかった為、同じようなことが起こってしまった。
- 1月 27 ・おたより帳が入れ違っていたと保護者から報告があった。
- 28 ・年長児が乳児の部屋にお手伝いに入り兄弟の油断からお兄さんのわらびもちを妹が食べてしまった。
- 29 ・おやつに出たフランクフルトの棒のとげが刺さった。
- 3月 30 ・午睡の時自分の髪ゴムで遊んでいて指にきつくからませて取れなくなってうっ血していた。
- 31 ・欠席していた兄弟を受け入れた際、飲み薬を弟のものと思い込んでクラス担任に渡したがお薬連絡票は兄の名前だった。

5. 事故報告

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園内処置	6	5	6	8	5	11	2	6	1	3	6	2	61
岩本外科													
まきの歯科													
その他（かかりつけ医院）						1						1	2
合 計	6	5	6	8	5	12	2	6	1	3	6	3	63

【 内 容 】

- 1 1才 ・ 保育士が真後ろでコンビカーを持っていた子どもに気付かずつまづき子供が転倒してしまった。
- 2 3才 ・ 遊具で遊んでいた際子ども同士が接触し、手が顔に当たり傷ができた。
- 3 0才 ・ 他の子が乗っているラックの側に行き、床面で指を挟んだ。
- 4 3才 ・ くまさんシップのはしごを登るとき足を滑らせ、顎をぶつけ舌の表側を噛んだ。
- 5 1才 ・ 乳児園庭の花壇の段差から降りた際バランスを崩し顔を擦りむいた。
- 6 3才 ・ スコップを2つ三輪車に乗せて遊んでいた子に注意したら、怒ってスコップで殴られ、右目瞼に傷ができた。
- 7 0才 ・ 朝の受け入れ時小さなお家の中にいた子が身を乗り出した子の頬に噛みついた。
- 8 2才 ・ 給食前、前後に並んで座っていた時後ろにいた子が前の子を噛んだ。
- 9 3才 ・ 給食の際アルコール消毒の順番を待っているとき喧嘩になり左手親指を噛んだ。
- 10 0才 ・ おもちゃを使って遊んでいた際、近くにいた子に頭突をした。
- 11 0才 ・ AがBの口に人差し指を入れた為Bが噛んでしまった。
- 12 1才 ・ Dが片付けようとしているものをMがとろうとしたため、Dが怒って噛んだ。
- 13 3才 ・ 理由もなく自分のロッカーの前に立っていた子にどいてほしくて押した際壁におでこをぶつけた

- 14 3才・ 早番保育の際、2歳児が3歳児をいきなり叩き怒った3歳児が持っていたおもちゃで左頬を叩いた。
- 15 5才・ 夕方の園庭遊びの時下を向いて歩いていた子が掲揚台の柱の部分に頭をぶつけ少し切れた。
- 16 2才・ 給食を食べ終え待っている時、IがDの右手親指を噛んだ。
- 17 1才・ 保育参加に来ていた父親の膝にいた子の所に他の子が入ろうとした為右上腕部に噛みついた。
- 18 0才・ 部屋で遊んでいた時近くにいた子の左腕を噛んだ。
- 19 1才・ 部屋で遊んでいた時近くにいた子の左腕を噛んだ。
- 20 1才・ 早番保育の際、玩具を持って歩いていた所転倒し右頬をぶつけ、口の中を噛んだ。
- 21 0才・ 早番保育の際、玩具を持ってハイハイしていて前のめりになり玩具で目の左をぶつけた。
- 22 3才・ 片づけの時おもちゃの箱を持ちに来た子の右腕を噛んだ。
- 23 0才・ 片づけの時おもちゃの箱につかまり立ちをした為箱がひっくり返り額をぶつけた。
- 24 1才・ 使っていたままごとの玩具を横取りされ、怒って左手甲を噛んだ。
- 25 1才・ 保育室に戻るとき転倒し、前方にあった靴箱に当たり、下唇が切れた。
- 26 0才・ 給食後、サークルの中で遊んでいた際近くにいた子の目尻を噛んだ。
- 27 5才・ プール後走って部屋に入ろうとしたため部屋の前で転び右目上にこぶができた。
- 28 1才・ 1つのロッカーを取り合い左腕を噛んだ。
- 29 0才・ 朝の受け入れの時間にRがLに噛みついた。
- 30 1才・ 片づけの時片づけをしない子が片づけをしようとした子に怒って右手に噛みついた。
- 31 4才・ 遅番の部屋で隣との間を座ったまま詰めようと動いた際バランスを崩して前方に転倒した。手が出ず頭から床に打ち付けた。
- 32 1才・ サークルからふらふら出ていた子が走って戻ろうとした際、途中で転倒し、椅子に額をぶつけた。
- 33 0才・ 玩具をもってトンネル遊びをしていた為バランスを崩して前のめりになり口の中を切った。
- 34 0才・ 保育者の膝に入っていた子が他の子が近づき捕まろうとした左手を噛んだ。
- 35 3才・ 誤って指を踏んでしまった子に怒り、右腕に噛みついた。
- 36 2才・ リトミックで走っていた子が衝突し頭と顔がぶつかり、上唇の裏が切れた。
- 37 2才・ 他の子が使っていたおもちゃを取ろうとして右の頬を抓った。
- 38 0才・ おもちゃで遊んでいる時に接触し、噛まれた。
- 39 0才・ サークルの中で遊んでいた時噛まれてしまった。
- 40 0才・ おもちゃで遊んでいる時に接触し、噛まれた。
- 41 0才・ テーブル付き椅子に座っている時隣りの子手を伸ばした際噛みついた。
- 42 2才・ 隣同士砂で遊んでいた子の一人が突然もう一人の子の顔に向けて砂を掛けた。応急処置をしたが目が開けられない状態が続いた為眼科に受診した。
- 43 1才・ 早番保育の際、木の椅子の背もたれの隙間に体が挟まり取れずにもがいていた為首の後ろが赤くなった。
- 44 4才・ トイレに行く為部屋を出ようとし、入り口の扉の壁の角にぶつかりこぶとあざができた。
- 45 2才・ 午睡の時間隣同士にいた一人の子の足が他の子の顔に当たり頬に赤い傷ができた。
- 46 0才・ 午睡の時間隣同士で近かったため転がってきたこの手を噛んでしまった。
- 47 2才・ 他の子にそばに来られたことが嫌で手で来た子をはたいた為怒って顔を引っ掻いた。
- 48 1才・ 散歩中、ロープを持ったまま転倒したので地面で額を打ちこぶができた。
- 49 0才・ 他の子が持っていたおもちゃを取ろうとして噛みつかれた。
- 50 0才・ 室内遊びのおもちゃの箱を置いた手前で転んで箱におでこをぶつけた。
- 51 2才・ お部屋での片付けの際、走っていた為、玩具に乗り滑って棚にぶつけた。
- 52 2才・ キリンのスクーターで転んで右目の瞼が少し切れた。
- 53 1才・ じゅうたんの囲いの木の部分でつまづいて転んだ。右足の親指の爪が上の部分が剥がれ出血した。その後の観察でとげが刺さっていて処置した。
- 54 2才・ 他の子からの注意が気に障りとっさに噛みついた。
- 55 1才・ 何もないところを走っていてつまづいて転倒し、おでこを床にぶつけた。
- 56 5才・ セロハンテープを切り取ろうとして台ごと机から落ち、他の子の左足甲の上に落ちた。
- 57 0才・ 保育士がRと遊んでいる所にSが走って来てRの顔を引っ掻いた。
- 58 5才・ くまさんシップの階段を昇っていた時足を滑らせ右頬を打った。
- 59 0才・ ボールを取り合い右耳たぶを噛んだ。
- 60 3才・ クラスの小柄な子を抱っこして遊んでいたバランスを崩して落としホールのひな壇に頭をぶつけ切れた。
- 61 0才・ ゴミ箱のロックの取り合いになり噛みついた。
- 62 1才・ ブリオで遊んでいた二人がレールをもって走り近くで遊んでいた子の頭におもちゃが当たりこぶができた。
- 63 2才・ 一時預かりの子が給食時リンゴの一部を左鼻の中に入れてしまい、耳鼻科に受診しとった。

【年齢別件数】

	0才	1才	2才	3才	4才	5才	一時保育	合計
件数	21	16	10	9	2	4	1	63

- * 今年も0～2歳児の成長の過程に見られるかみつきや引っ掻きが3歳でも見られた。同じ子がする事が多く感情の起伏や情緒の不安定さが気にかかる。
- * 言葉の未熟さがコミュニケーションスキルに関係し事故に繋がるケースが多く見られている。年々コミュニケーションスキルの低い発達年齢に届かない子が多くなっていると感じる。
- * 今年も0・1歳児の小さなけがも記録し、改めて職員間でどの場所で、誰がどんな時に起こった事故なのかを分析し安全対策の話し合いをすることで新任保育士の意識を高めた。
- * 保育士の指導や目配り・配慮不足が原因となっていることもあり、クラス内での話し合い、振り返り等対策を検討している。

6. 苦情解決 Q&A

- 一. 園内で手足口病が出始めた頃、給食の食べが悪く、手や口に赤い発疹が見られた為受診をお願いした。手足口病だった場合は感染症届が必要と先走りお迎えに来た祖母に用紙を渡してしまった。

★Q 父親から「どこに発疹があったか」「家では見られなかった」「医者にもこんな手足口病じゃないと言われた」「保育士は医者じゃないから診断なんかできないはずだ」と言われた。

☆A 病院に受審をお願いする際の伝え方が悪かったことをお詫びした。保育士間で病気の際の伝え方を話し合い、疑いがあっても病名は出さない伝え方をすることを共通理解した。

- 二. 登園時、衣類がおしっこで濡れていたためウィッキル（除菌液）につけ12時過ぎに汚れ物の袋に入れた。

★Q 帰宅後母親から電話があり「おしっこで汚した服を漂白剤につけましたか？」と聞かれ「こちらではウィッキルという除菌液につけています」と伝えた。「服がじわっとピンク色になっているんです」と言われた。

☆A 母親に謝罪の電話をし、次の日にも直接謝罪をした。母親からは「大丈夫です」と答えてくれた。原因は汚れ物の衣服を水につけ、その上からウィッキルの原液をかけたことで部分的に衣服が脱色してしまったと考えられた。今後は水に原液を溶かしてから衣服を入れるよう共通理解をしていく。

- 三. 運動会の朝、犬の散歩をしていた近隣住民の方から交通マナーについて苦情があった。

★Q 運動会の朝、駐車場係をしていた職員に、近隣住民の方が「犬の散歩をしているだけなのにクラクションを鳴らされた」路面標示の“徐行”を指さし、「道路に書いてある字は読めるか、意味は分かるか」「マナーが悪すぎる。どうにかしろ」等と言われた。

☆A 何度も謝罪し、園で保護者に対して交通ルールやマナーについて守ってもらうようお願いしている旨を伝えた。

- 四. FAXにて匿名で受信

★Q 園の方針、保育士への不信感、来年に向けて不安を感じるとの意見をもらった。

☆A クラス会議と職員会議で参加職員は共通確認、理解を行った。

クラスでは

- ・一日あったこと様子やけがを必ずメモを取り、お昼寝の際に報告（話し合い）をする。伝え忘れない。
 - ・子ども達が落ち着いて過ごすことができるように保育方法の工夫や話し合いを行っていく。
 - ・子ども達が楽しい、面白い、やってみたいと思える保育ができるよう自分の保育を見直す。
 - ・送迎時保護者には出来るだけ話しかけ、子どもの様子を少しでも伝えるようにする。
- * 苦情を受けつけた事や解決策を玄関に貼り出したり、ホームページに載せる。

7. 地域交流事業

【園児】	* ようこそ図書館（年2回）	5月 9日	10月 29日		
	* 交通安全指導（婦警）		5月 30日		
	* 子ども未来プロジェクト		6月 29日・30日		
	* 虫歯予防のおはなし		6月 25日		
	* 花火教室		6月 24日		
	* 浅北コミセンまつり（年長・年中絵画作品展示・歌発表）		9月 21日・22日		
	* 食に関する出前講座（2回）		6月 20日	10月 17日	
	* おじいちゃんおばあちゃんと遊ぼう会		10月 24日		
	* 浅中2年生体験学習		10月 9日～11日		
	* 支援センターフェスティバル（メロープラザ）		11月 19日		
	* 浅羽北小保交流「あきのおみせにどうぞ」		12月 11日		
	* 浅中2年生交流会（2回）		11月 7日	11月 14日	
	* セキスイ団地宮本宅（みかん狩り）		11月 29日		
	* ジュビロサッカー教室		12月 19日		
	* イズモホールふれあい祭り		1月 19日		
	* おはなしマラソン		7月 30日		
	* 浅北コミセン豆まき会（年長・年中・年少）		1月 31日		
	* ハーモニー公演		10月 10日		
	* 袋井市南部ふれあい芸能祭（メロープラザ）		2月 23日		
	* デイサービス誕生会	毎月1回			
	【保護者】	* 3歳児保護者栄養講座		5月 18日	
	【職員】	* ことばの教室職員交流		7月 4日	
		* 袋井市発達支援室職員交流			
		* 浅羽中学校区職員研修会（年3回）		6月 12日	8月 2日
				11月 6日	
		* 幼少中一貫教育説明会		11月 16日	* 2月 29日
	* 保幼小連絡会（入学先各小学校との交流）				
				(コロナウイルス感染症対策にて中止)	
【園】	* 画家 吉川まさゆき氏作	2点の借用			

8. 中学との交流、その他の受け入れ・・・

* 浅羽中学校2年生（職場体験学習）	10/9～10/11	5名	延べ	15名
* 浅羽中学校2年生（ふれあい交流学習）	11/7		延べ	30名
	11/14		延べ	3名
* 栄養士単位実習	8/26～8/30	1名	延べ	5名
* 保育士単位実習	9/2～9/18	1名	延べ	12名
* 保育士単位実習	2/10～2/22	1名	延べ	12名
* 保育士単位実習	2/10～2/27	1名	延べ	12名
* 保育士単位実習	2/17～3/2	1名	延べ	10名
				99名

- ★ 年々地域交流事業が増え、子ども達にとって地域の人達との交流は学びの場となっています。浅羽北コミュニティーセンターでは昨年同様「昔の遊びと豆まき」を企画して下さりルンビニ保育園や浅羽東幼稚園・北幼稚園の交流がありました。
- ★ 小学校交流では一年生の生活科の授業「あきのおみせにどうぞ」に年長さんが招待されました。
- ★ 浅羽中学校交流では中学生にとっては職場体験ということで緊張した3日間です。日頃、言葉遣いも気にしない中学生が子ども達のお手本となるよう先生に言われ服装や言葉遣いに気をつける姿が印象的でした。中学での指導があっただけか気持ちの良い挨拶が出来ていました。子ども達との遊びでは笑顔もみられ、子ども達も嬉しそうでした。
- ★ 浅羽中学校区保幼小中一貫教育プログラムがスタートし、小学校や中学校の授業を参観する機会が出来ました。保育園を卒園した子供たちがどのように成長していくのかが見られ幼児教育の責任の重大さも感じ、懐かしそうな笑顔とあいさつには安堵しました。
- ★ 保幼小一貫教育においては今年度も袋井市より職員並びに保護者に向けての説明会が行われました。今年は2回に分け大掃除の日と合わせたことで多くの保護者が参加して頂くことが出来ましたが2月に開催予定だった第2回は新型コロナウイルス感染症の対策で中止となりました。このような保護者が学ぶ機会となるミニ親学講座の実践は継続していく事の大切さを実感した。

9. 非常災害対策

* 普通救命講習会（3名）	6月 6日	10月 17日	2月 6日
* 袋井市防災教育研修会	8月 21日	1名	
* 津波・洪水対応訓練	6月 19日		
（総合防災訓練）	9月 2日	（浅羽北小避難・園児引き渡し訓練）	
（福祉施設防災訓練）	11月 1日		
	12月 20日	（西側サニーマンション避難訓練）	
	3月 13日	（西側サニーマンション避難訓練）	
* 不審者対応訓練	6月 5日		
	10月 3日		

例年、災害の発生を防止し、災害発生時の被害を最小限に止めるために毎月一回火災・地震等想定して避難訓練を実施している。今年も日本各地で大雨による土砂・洪水災害が発生した。いつ避難勧告が出ても対応できるように津波洪水避難訓練計画を見直しその訓練をより具体的な内容を行うようにした。（雨合羽を瞬時に着せる、年齢に合わせた避難用品を持つなど）11月の訓練では炊き出し用かまどを使用し焼き芋を行った。子ども達は非常食給食の実食体験をしました。乳幼児の避難においては新任職員2年目となり短時間で子どもをおぶうことができるようになりました。緊急一時避難も持ち出し用具等保育士の各自がその都度気候に合わせて考え実践しています。

又、不審者による避難訓練を年2回実施し、その対応の仕方を全職員で確認しあいました。今年是不審者と遭遇した際の職員が瞬時に判断してどのように行動するかの訓練を実施しました。常日頃から意識していないと、咄嗟に行動することができないことが分かりました。

10. 保育担当者・・・各年齢別にクラスを編成し、それぞれに担任保育士を定めて保育を行なう。

* 年度末3月1日時点の保育園児数と保育士

歳 児 別	ク ラ ス	園 児 数	保 育 士 数
0 歳 児	つくし 組	9 名	3 + パート 1
1 歳 児	ちゅーりっぷ組	18 名	2 + パート 1
2 歳 児	れんげ 組	18 名	3 + パート 1
3 歳 児	すみれ 組	22 名	2
4 歳 児	ひまわり 組	19 名	1 + パート 1
5 歳 児	さくら 組	20 名	2
一時保育			パート 1
子育て支援センターすくすく			1 + パート 1
給 食 室	栄 養 士		1
	調 理 師		1 + パート 1
事 務 室	園 長 ・ 主 任		2
	フ リ ー		2 + パート 1
計		106 名	20 + パート 8

※2名産休

11. その他

★ 令和元年度 ルンビニ第二保育園職員募集について

就職説明会でのアピールや学校への案内や実習生やボランティアの受け入れ、ホームページの充実等行っていますが今年は保育士雇用には至りませんでした。職員の安定化は先を見越しての対応が必要と考えます。質を選べる求人体制を維持することや働き方を見直していくことで、離職につながらない人材確保をしていきたいと考えます。

調理師 石橋真弥

令和元年11月 1日付

☆ 令和元年度 退職者

施設長 乗松久実子

令和2年3月31日付

保育士 辻 光夏

令和2年3月31日付

研修の目的

- 職員一人ひとりの倫理観、人間性の向上を目的とします。
- 職務と責任の理解と自覚・知識及び技術の習得と維持、向上を目的とします。

2019 年度・研修への参加報告

月	項目	参加職員	実施内容
4・20	いわた保育士会総会	中島・山田・香緒里	事業決算報告・事業案予算案審議・承認 「みんなで楽しくパーカッション」
4・26	県保連総会と園長研修	園長	保育の価値とリスク:深刻事故予防と保護者コミュニケーションにおける施設長の役割
5・10	県保育研究大会	園長・菜摘	全ての人々が子どもと子育てに関わりを持つ社会の実現をめざして
5・13	保連西部支部総会と園長研修	園長	「働きやすい職場と人材育成」
5・14	磐周園長会・給食研修会	園長・悦子	情報交換
5・15	いわた保育士会部会	安富	自己紹介・年齢に合った食育の
5・28	県保育士会総会	青島	「これからの保育に求められるもの」
6・6	普通救命講習会	杉浦	AEDの使い方 他
6・12	第一回浅中区合同研修会	かおる・尚美・光廣	公開授業・分科会 テーマ「交流」
6・14	県保育士会保育実践研修会	美樹	「乳幼児の発達と保育」
6・15	いわた保育士会第一回職員研修会	山内・大場・由紀子	だんぼ楽会「明日からすぐ使える遊び研修会」
6・17	いわた保育士会部会	安富	年齢にあった食育の絵本をまとめ資料作り
6・18	運動会実技研修	山内	日常の運動遊びを運動会につなげる
6・24	袋井市子どもの健康と食を考える会	小倉	袋井市の食育の取り組み紹介
6・25	食育・アレルギー(キャリアアップ)	香緒里	保育者における食事の提供ガイドライン
6・26	食育・アレルギー(キャリアアップ)	香緒里	アレルギー疾患の理解、他
6・27	食育・アレルギー(キャリアアップ)	香緒里	食育計画の作成と活用
7・9	いわた保育士会部会	安富	資料作り・赤緑黄の栄養素表作り
7・12	県保育士会リーダーセミナー	由起子	危機管理
7・24	袋井市子ども支援研修	山内	「発達特性を持つ子供がいるクラスづくり」
8・2	浅羽中学校区職員研修会	園長・辻	小学校・中学校との連携
8・5	袋井市子ども理解講座	幸世	育てにくい子にはわけがある (基礎感覚を育てる発達支援)
8・6	袋井市就学前教育推進会議	かおる	接続カリキュラムの検証・振り返り票について
8・6	いわた保育士会部会	安富	資料作り・赤緑黄の栄養素表作り
8・8	花育教室	尚美	寄せ植え講習会
8・21	袋井市職員防災研修	小倉	南海トラフ自信発生に対応する乳幼児施設の防災対策
8・21	磐周園長会	園長	幼児教育無償化について
8・23	給食勉強会	悦子	講演会について・グループ討議・情報交換
8・23	保育所等における防犯講座	園長	園の防犯対策と子どもへの安全教育
8・27	いわた保育士会部会	安富	資料作り・赤緑黄の栄養素表作り
8・31	いわた保育士会第二回職員研修	光夏・尚美・小倉	心の発達アテンダント
9・3	いわた保育士会部会	安富	発表会資料作り・パワーポイント作成
9/5・6・7	保護者支援・子育て支援(キャリアアップ)	由起子	意義・相談援助・虐待防止・子育て支援
9・10	いわた保育士会部会	安富	発表会資料作り・パワーポイント作成・買い物
9・26	幼児保育担当者研修(キャリアアップ)	大場	計画・記録・評価・小学校との接続
10・1	いわた保育士会部会	安富	発表会資料作り・パワーポイント作成

令和元年度 一時預かり保育事業実績報告書 【年度末】

ルンビニ第二保育園

【現状】

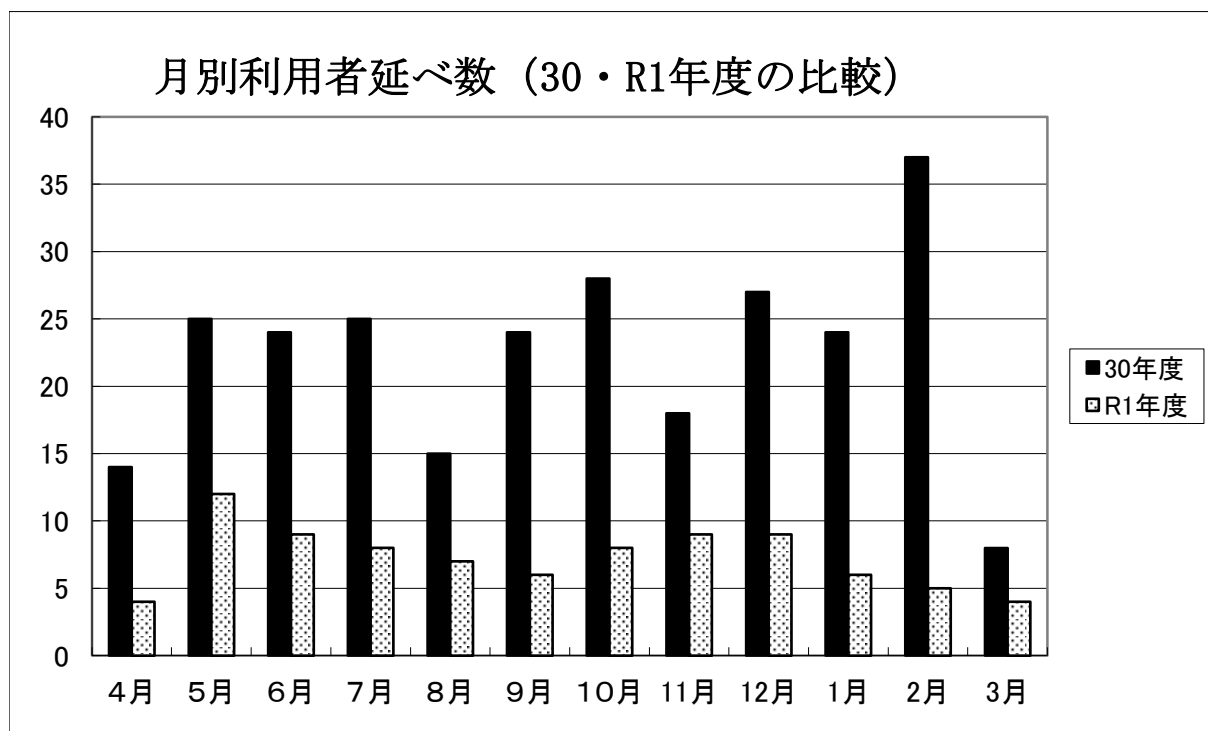
- ・利用者の殆どが昨年からの利用で、新たな登録者は増えず、数名の利用に留まった。そのため、利用料が上がらなかった。
- ・人数が少ない分、利用希望日に添うことができた。
- ・手厚く関わることができ、2歳児の利用者は、トイレトレーニングや食育など、他の子と同じように進めていることをとても喜んできた。
- ・予約後のキャンセルは、殆どなかった。

【今後の取り組み】

- ・ルンビニ第二しんぶんを引き続き配布していき、地域に一時預かりを周知してもらおうと共に、保育園での取り組みを伝えていきたい。
(地域・浅羽北幼稚園・浅羽北小学校・浅羽中学校)
- ・来年度も、市役所や各支援センターに一時預かり保育の案内を置かせてもらい、他の地域の方に周知してもらえるようにしていく。
- ・保護者の方が、安心して預けてもらえるよう保育園での子どもの様子を詳しく丁寧に伝えていく。また、保護者の相談には丁寧にに関わり、支援していく。

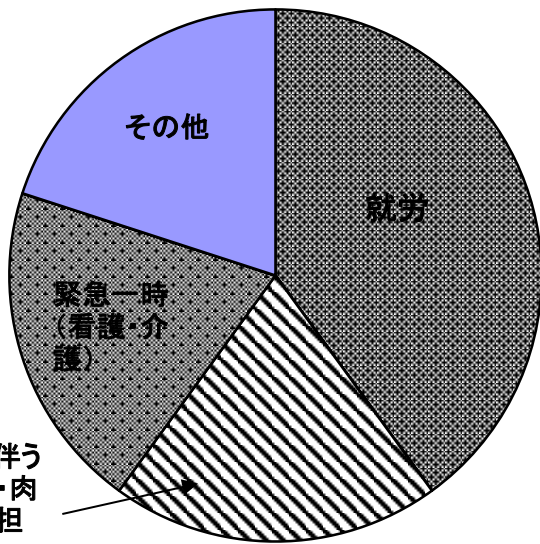
一、月別利用者数（平成30年度との比較）

月	登録数		利用者数		利用者延べ数		利用金額	
	30年度	R1年度	30年度	R1年度	30年度	R1年度	30年度	R1年度
4月	2	0	5	3	14	4	33,900	8,700
5月	2	1	7	5	25	12	70,800	27,900
6月	1	0	6	4	24	9	62,700	22,500
7月	0	0	9	3	25	8	63,900	20,100
8月	4	0	5	2	15	7	35,700	17,400
9月	2	0	7	2	24	6	57,000	14,400
10月	4	0	9	2	28	8	66,900	20,400
11月	2	0	11	2	18	9	44,100	24,300
12月	3	1	10	3	27	9	73,500	21,600
1月	3	0	12	2	24	6	63,600	15,300
2月	4	0	12	2	37	5	93,300	12,300
3月	0	3	7	1	8	4	21,600	9,300
合計	27	5	100	31	269	87	687,000	214,200



- ・今年度は、一年通して利用者は少なかった。
- ・3月は新型コロナウイルスの影響で、利用制限させてもらった。

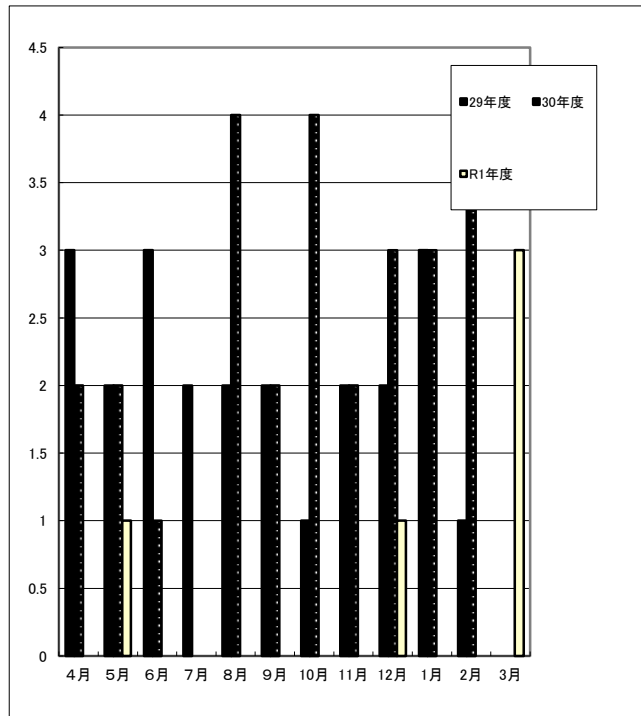
一時預かり登録理由



- 就業
- 出産
- 集団生活に慣れる
- 育児に伴う心理的・肉体的負担の解消
- 緊急(看護・介護)
-
-

登録数：平成29・30・R1年度の比較

	29年度	30年度	R1年度
4月	3	2	0
5月	2	2	1
6月	3	1	0
7月	2	0	0
8月	2	4	0
9月	2	2	0
10月	1	4	0
11月	2	2	0
12月	2	3	1
1月	3	3	0
2月	1	4	0
3月	0	0	3
合計	20	23	5

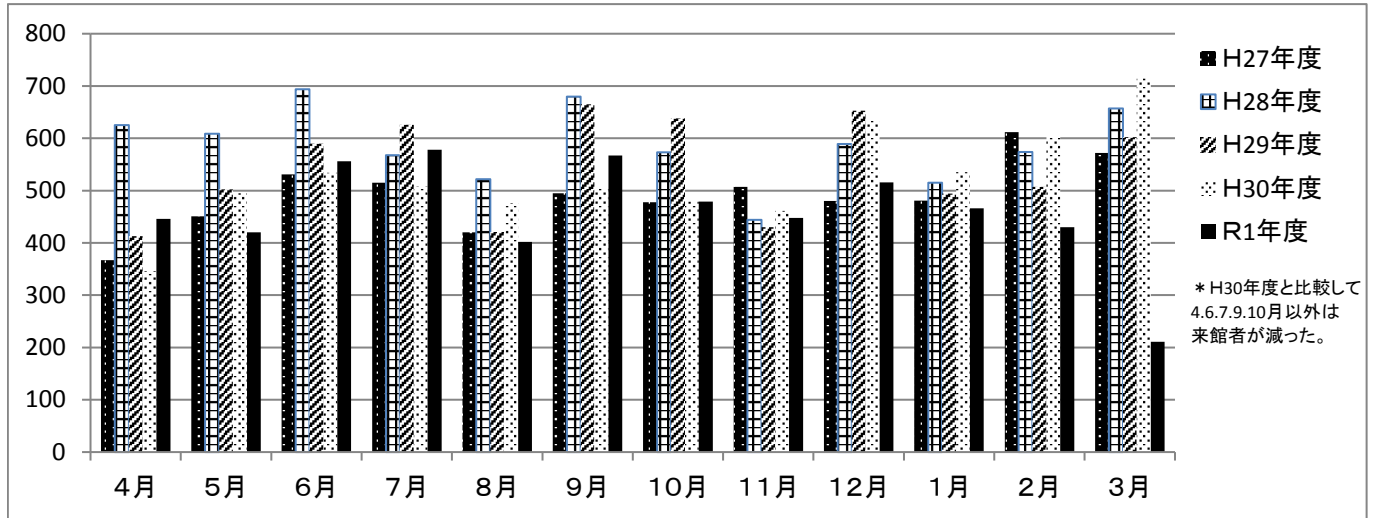


二、令和元年度における一人当たりの給食費の実績

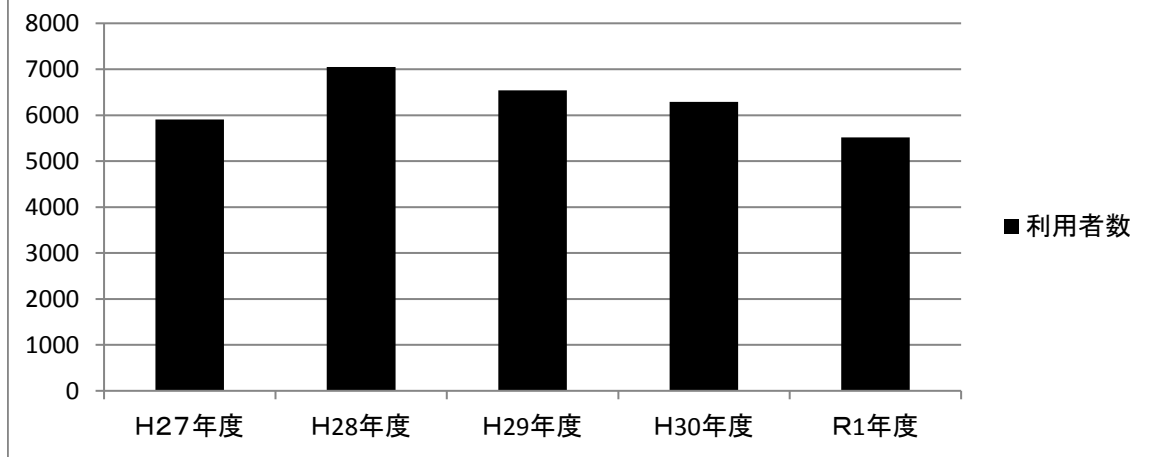
月	利用者延べ人数	予約延べ人数	1日1人当たりの金額	合計金額
4月	4	5	217	868
5月	12	12	222	2,664
6月	9	9	216	1,944
7月	8	10	239	1,912
8月	7	7	211	1,477
9月	6	6	220	1,320
10月	8	8	232	1,856
11月	9	9	222	1,998
12月	9	9	222	1,998
1月	6	6	223	1,338
2月	5	5	212	1,060
3月	4	4	233	932
合計	87	90	2669	19,367

子育て支援センターすくすく 令和元年度事業報告書

H27年度～R1年度の利用者数



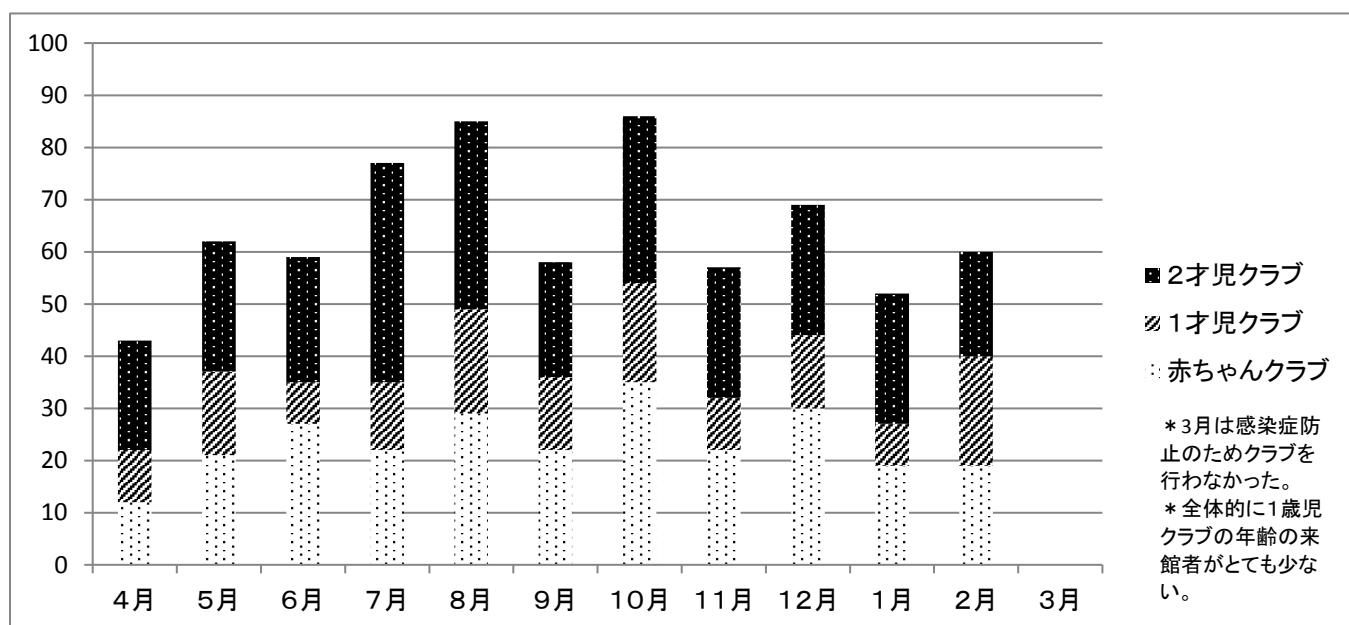
H27年度～R1年度の利用者数



令和元年度 子育て支援センター「すくすく」 月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開設日数	18	19	21	22	17	19	21	19	20	19	18	15	228
利用者数	446	420	556	578	402	567	479	448	516	466	430	211	5519
1日平均利用者数	24.8	22.1	26.5	26.3	23.6	29.8	22.8	23.6	25.8	24.5	23.9	14.1	288
赤ちゃんクラブ	12	21	27	22	29	22	35	22	30	19	19	15	258
一歳児クラブ	10	16	8	13	20	14	19	10	14	8	21	15	153
二歳児クラブ	21	25	24	42	36	22	32	25	25	25	26	21	303
おはなし広場	161	102	156	149	118	96	86	97	76	88	112	112	1241
誕生会	17	9	13	29	7	21	19	18	21	21	0	15	175
赤ちゃんタイム	30	26	48	45	42	62	26	18	22	20	14	15	353
その他の行事	23	71	56	103	31	94	125	75	142	117	57	15	894
育児相談	12	11	8	10	4	4	7	9	5	12	6	3	91
電話相談	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
問い合わせ	7	11	8	13	11	14	20	14	9	9	6	5	127

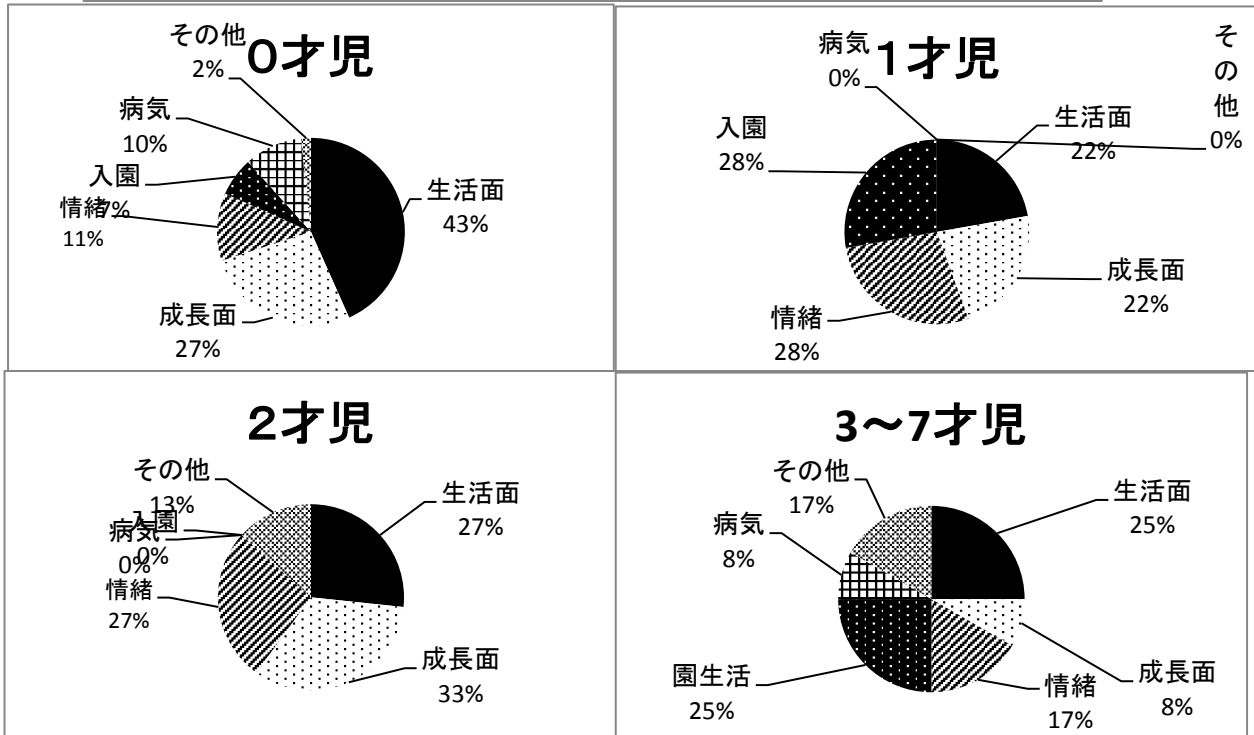
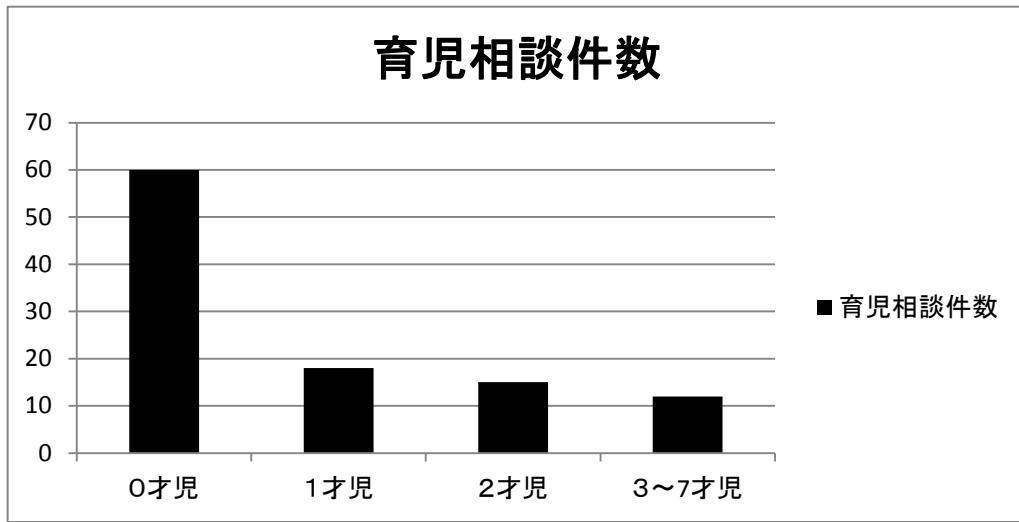
R元年度年齢別クラブ参加者数



年間を通しての考察、今後の取り組みについて

- ・今年度は前年度と利用者数があまり変わらなかった。しかし、2月の終わりから新型コロナウイルスの発症拡大により、支援センターのイベント中止があり、スマイルママの活動（2月3月）の中止、3月のクラブ、ひなまつり会等ができなかった。外出を自粛する親子も増え、3月中の自由開放も来館者はまばらだった。
- ・おはなし広場を楽しみにする親子が多く、おはなしがよく聞けるようになった。はじめはなかなか聞けなかった子も慣れてくると聞けるようになっていき、母親とできたことを共感し、喜びあった。母親も支援センターにくるとママ友がいて、職員がいて、不安やちょっとした悩みを話しにくる。そしてスッキリとして帰っていく方がたくさんいるので母親のホッとできる場になってきていると感じている。
- ・クラブや行事の楽しみだけでなく、日々の遊びを楽しんでほしいという思いから、春におさんぽ企画をして近くの公園やどこどこ牧場に行った。あそび場や子どもとの関わり方や遊び方を伝えていった。
- ・相談の件数は少なくなったが、周りにベテランママが多く、そこで解決する悩みも多かったように感じている。特に今年度の2歳児の母親は第2子、第3子の母親が多く、とても頼もしい存在となっていた。職員もフォローや少しアドバイスをしながら話を聞く事が多かった。
- ・「赤ちゃんタイム」火曜午後のわらべうたベビーマッサージの時間が定着してきた。マッサージということで1歳になると参加しない親子もいるが、毎週参加し、親子の触れ合いや、同じ位の月齢のお母さん方とのおしゃべりがリラックスできる良い時間となっていると感じている。育児や離乳、成長の悩みを共感できる場となっているので、今後はマタニティも参加できるような会にしていけたらと思っている。
- ・母親サークルスマイルママの活動は、今年度で7年目になった。年間で決めた行事に対して担当者を決め、計画・打ち合わせ・準備・当日の進行を行った。活動の取り組みではよく来館する母親が主になって動いてくれることが多く、負担が大きくなってしまったこともあった。感染症予防対策により2月の給食センター、3月のいちご狩りが中止になってしまった。2歳児の母親が中心で行ってきたが、来年度は2歳児が抜け、少人数になるが、母親達が楽しめて輝ける場になるよう、応援・フォローしていく。

育児相談



育児相談件数、内容

- ・ 育児相談はどの年齢からも様々な相談があった。
0歳児の相談では、離乳食の事など日常生活面に関する相談が多かった。不安な気持ちが少しでも軽減できるよう母親の子育てに対する不安な思いや困っていることに共感しながら、じっくり話しを聞くようにした。
- 1. 2歳児の相談では、子どもの成長や母親自身の情緒不安に伴う相談が多かった。発達の遅れを感じ、悩んでいる母親がみられた。他の子どもと比べるのではなく、その子自身を見てほしいと考え、一緒に職員が遊びながら話を聞き、母親の気持ちが少しでも和らぐようにした。また、子どもの良いところ、成長した所を言葉で伝えた。
- ・ 保健師、栄養士、親子での触れあい遊びの方法を教えてくれる講師等を招いての講話を多く取り入れ、戸外活動にも出掛けた。子育てへの不安や悩みを軽減したり、子どもと楽しい時間を持てるようにした。
- ・ 就園した子たちの中には「はぐくみ」「ぬっく」など専門機関に通所している親子が多く、現在も様々な場面で悩みを抱えている。相談時にはじっくりと関わって話を聞いてあげられるように心掛けている。
- ・ 来館していた兄弟の相談がとて多かった。職員がその子をよく知っているので相談しやすいようだ。幼稚園、小学校での悩みや大きくなってからの発達・情緒の話も多かった。母親は話を聞いてもらうことで自分の気持ちを確認し、少し楽になれるようだった。アドバイスよりもじっくりと聞くことを行った。

育児相談内容と対応

クラブ	対象児	内容	対応	その後
赤ちゃんクラブ	1歳4ヶ月 (女児)	母が21歳でADHD。以前保健師と共に来館。母親の気持ちの落ち込みがあり、育児がままならない状態である。母親は暗い表情で祖母と一緒に遊んでいた。	今の様子など本児をほめながら話をした。育児に困っている様子がみられ、母親自身も一時保育を利用してみたいということから一時保育の紹介をした。また、保健師に情報報告を行った。	保育園の一時保育に登録し、今後利用を考えている。来館した時に声をかけていきたい。
	10ヶ月 (女児)	保育園入所決定の通知がきたが、学区の違う保育園だったため迷っている。	保育園の場合は様々な学区からきている子がほとんどであることを伝え入園のチャンスだと母親が前向きに考えられるようにしていった。	入園を決意し、保育園に通っている。
1才児クラブ	1歳11ヶ月 (男児)	4月から保育園を希望したが落ちてしまった。市役所に問い合わせているが難しいようだ。	とても落ち込んでいる様子だったため、母の話をよく聞いた。認証保育園等の紹介をしたが、もう一年育休を延長しようと考えているようだった。	追加の募集に応募し、保育園が決まり母親も安堵した様子だった。
	2歳5ヶ月 (女児)	本児が言う事を聞いてくれず、本当に怒れた時は手をあげてしまう。その後、手をあげたことを後悔する悪循環の繰り返しに陥っている。	家に二人きりでいることが多いと気になる事も増えてしまう。公園や支援センターなどを利用したり、一時保育の提案も行った。	一時保育の登録を済ませ、まだ利用はしていない。来館した際には母親の様子を気にかけていきたい。
	1歳6ヶ月 (男児)	鎖骨あたりにしこりのようなものができ、触ると痛い様子。少し前に転び打ったかもしれないが腫瘍などの大きな病気ではないかと心配している。	本児の兄が病気で亡くなっているため、心配する母親の気持ちを受け止めながら話を聞いた。総合病院での受診を考えているようだった。	総合病院で検査をした結果、打撲だったようだ。
2才児クラブ	2歳 10ヶ月 (男児)	発達が他の子にくらべて遅いように思っている。4月から幼稚園に通園するが大丈夫か。	どのような時に感じているかをよく聞いた。3月29日生まれのため、他の子と比べようとせず、本児なりの成長を見守ることが大切だと伝える。	来館した際には声をかけられる事を言葉にして母親に伝える様にした。母も他の子と比べる事が少し減って子どもと一緒にゆったり遊んでいる。
	2歳 6ヶ月 (女児)	父親のことを嫌がるようになってしまい困っている。原因は行く予定だった旅行が発熱で本児が行けなかった。母親の用事も兼ねていたため、母親だけ出掛け、父親と留守番していたことが原因ではないか。	母親の話をよく聞いた。寂しかった気持ちを受け止めたうえで、父親との楽しかった経験を会話してみてもどうか。	父親を嫌がるのではなく、自分が行けなかったと話せるようになった。お話が上手になったことを母親に伝えた。

年齢別クラブ、行事の内容

	赤ちゃんクラブ	一歳児クラブ	二歳児クラブ	行事
4月	こいのぼりを作ってあそぼう	こいのぼりを作ってあそぼう	こいのぼりを作ってあそぼう	
5月	図書館司書による「赤ちゃんの好きな絵本について」	ウォークラリーへLet's go!!		・さつまいもの苗付け体験
6月	助産師による「ベビーマッサージ」	管理栄養士による「親子で食育講座」	スポーツ推進委員会 親子で楽しく運動あそび	・おやこ保健室
7月	手作りおもちゃづくり	水遊びのおもちゃづくり	水遊びのおもちゃづくり	・たなばた会
8月	歯科衛生士による「乳歯のケアについて」	夏祭り会		・保育園・幼稚園の入園について
9月	親子でベビーヨガ	親子でベビーヨガ	親子で自然あそび	・交通安全教室
10月	ミニミニ運動会	ミニ運動会		・さつまいも掘り ・ハロウィンパーティー ・消防署見学 ・おやこ保健室
11月	助産師による「ベビーマッサージ」	こども支援室ぬっくによる「イヤイヤ期について」	親子クッキング	・マフラー作り
12月	クリスマス会	クリスマス会	クリスマス会	・出張保健センター ・簡単！安心おやつレシピ ・クリスマスおはなし広場
1月	カレンダー作り			・かるた取り大会 ・プチ豆まき会
2月	市保健師による「卒乳について」	スポーツ推進委員会 親子で楽しく運動あそび	小麦粉粘土であそぼう	・豆まき会
3月	お楽しみ会	お楽しみ会	お別れ会	・ひな祭り会

母親サークル「スマイルママ」の活動内容

	スマイルママ年間活動	内容	参加組数 (人数)
4月	・各グループ話し合い		
5月	・各グループ話し合い		
6月	・丸大食品に工場見学に行こう！	・現地集合、現地解散。工場の中を見学したり、DVDを見たりした。お土産をたくさんもらい嬉しそうだった。	17組 (39人)
7月			
8月	・シャボン玉&水あそびを楽しもう	・すくすくの室内でラジオ体操を行い、外でシャボン玉遊び、プールを行った。小学生と幼稚園児が多く、プールがいっぱいになった。	11組 (20人)
9月	・各グループ話し合い		
10月	・スクラップブック作り	・写真や材料を持ち寄り制作した。個性を生かした作品ができた。	7組 (16人)
11月	・リサイクル市 ～子育て用品・衣料品～ ・各グループ話し合い	・事前に各家庭から持ち寄った物を並べ、当日欲しい物を譲り合いながらそれぞれ持ち帰った。	11組 (26人)
12月			
1月	各グループ話し合い		
2月	・中部給食センター見学&試食（¥250） ・各グループ話し合い	・新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止となった。	
3月	・R1年度の反省、来年度の活動予定について ・いちご狩り	・新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止となった。	

＜スマイルママの1年を振り返って＞

スマイルママは、平成24年度から活動を始め、今年度は8年目となった。リーダーという名前だとかしこまり引き受けてくれる方がいないとのことで、連絡係というかたちになった。

今年度は6つの企画となった。途中で企画が増えても話し合いをしたり、協力し合いながら楽しく企画運営している姿が見られている。

第2子第3子のお母さんはスマイルママの活動を長くやってきているので、とても頼れる存在になっていて同じ担当のお母さんに丁寧にやっていくことを伝えたり割り振りしていた。このように企画・運営をする姿が上手く受け継がれていると感じている。以前から顔見知りだった母親同士がスマイルママに入会して一緒に活動することで、母親同士の仲が深まり、お互いの子育ての悩みを話したり、大変さを共感しあったりして共に子育てを楽しむ姿が見られて嬉しく思う。

スマイルママの活動は親子共に成長する場になっていると感じている。また、母親同士もお互いに刺激し合い、楽しみながら子育てをする場となっていると思うので今後も、活発に活動していけるようにサポートしていきたい。
2歳児の母親が多くいたため、来年度は少人数の活動となりそうだ。

令和元年度実績報告書

ルンビニあゆみ園

1. 所在地 静岡県袋井市高尾1777番地の1

2. 各月初日現在年齢別措置児童数 (定員120名)

月 歳児	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
0	9	9	9	9	9	12	12	13	13	15	15	14	139
1	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
2	18	18	18	18	18	18	18	18	17	18	18	18	215
3	19	19	19	19	19	19	19	20	20	21	21	21	236
4	10	10	11	12	12	12	12	12	12	12	13	13	141
5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
計	75	75	76	77	77	80	80	82	81	85	86	85	956

各月初日平均年齢別措置児童数 79.9人

対定員充足率 66.6%

3. 保育内容

法人理念の「大慈愛心(だいじあいしん)」、保育理念の「仏教」を基本に「生命尊重」「修善」「協調」を三本柱とし、「感謝の気持ち」を子どもの心に育てていきます。

・「子どもの主体性を育む環境づくり」をしています。

「子どもが主体」とは、どのようなことなのでしょう。主体というのは、「自分のすることは、自分が決める」「私の主人公は私」という感覚です。保育でいちばん大事なことは、子どもが自分の感情や意志を持ち、やりたいことを自分で決められること。おむつ替えひとつにしても、ただおむつを替えて貰うのではなく、毎回同じ手順でおこなうことで、子ども自らの意志でお尻を持ち上げたりします。「〇〇しなさい」では、子どもの主体性は育ちません。些細なことでも選択肢を与えることで、子どもは考え意志を持つことができます。

また、大きくなると遊びの中で、子ども自身が課題にぶつかり考え気づくことができず。そこにも主体性が生まれてくると考えます。そのためには、豊かな環境が必要です。遊具や用具、素材。室内、園庭、園外。大人はいたずらと思うかも知れませんが、それは好奇心の表れ。この好奇心こそが自分で考えて行動する力の芽生えであり、主体性につながっていきます。やらせる、教える保育ではなく、子ども本来の力を信じ、待つ保育を実践します。

・「子どもが安心して過ごせる環境づくり」をしています。

次に主体性を育むとは別の視点からの環境作りについてお話します。まず園内、保育室内をご覧いただくと、シンプルな雰囲気がお分かりになると思います。よく、幼稚園、保育園で目にする壁面(色画用紙を使い、クマさん、ウサギさんなどが壁に大きく貼られているもの)。ルンビニあゆみ園では、それらのものはありません。何故、あゆみ園ではないのでしょうか。誰でもキャラクターや強い刺激を使えば、子どもを引き付けることができます。けれど、養護と教育の環境としては、原色やキャラクターにあふれた部屋はあまり好ましいとは思えません。子どもが絵本を読んだり、自分で遊びを創りだしたりするためには、強い刺激、カラフルな色彩や模様は、むしろ邪魔。原色があふれた集中しにくい環境のなかで、子どもたちは落ち着いて過ごせるでしょうか。子どもたちの豊かな感性を育むために、このような環境作りをお

こなっています。

また、職員も環境のひとつ。職員自身が、子どもに与える影響は多大なもの。だからこそ、服装・所作・言葉遣い・声の大きさ…全てにおいて、職員が意識を持つように努めています。

・「乳児保育担当制」を取り入れています。

よく知られている一斉保育。クラス単位で担任が子どもたちを一斉に保育する。赤ちゃんの時から、みんなでご飯を食べ、みんなで排泄をおこない、みんなでお昼寝。しかし、ルンビニあゆみ園ではそのような保育はしません。自立へ向けてゆっくり歩みを進み始めたばかりで、生活リズムの個人差が大きい乳児に対して、特定の保育者が特定の子どもの育児（食事、排泄、睡眠など基本的な生活への援助）をします。もちろん一人ひとりの発達や生活のリズムに合わせるので、給食やお昼寝、おむつを交換する（排泄に誘う）タイミングが違います。また、決められた手順、決められた方法で毎日繰り返し過ごすことで、子ども自身が次の展開に見通しを持つことができ、さらに安心感が高まります。

同じ大人が同じ子どもの日常へ密接に関わるというご家庭では当たり前のことを実践するために、できる限り丁寧に保育し、子どもたちが安心して過ごせ、大人との愛着関係を形成していけるようにしていきたいと考えています。

・「あそび」の中にすべての要素が詰まっていると考えます。

子どもたちの園生活で、ほとんどの時間を占めている「あそび」。この遊びの中に、社会に出るための全てが集約されているとあゆみ園では考えます。

さて、「あそび」とは、何だと思われませんか。大人にとっての遊びとは、「現実から離れる」ためのもの（息抜き）ですが、子どもにとっての遊びは「現実に入る」ためのもの（学び）です。役割遊びなど、経験したことを遊びの中（自分の世界）に落とし、現実への想像力を伸ばしていきます。買い物に行ったことのない子どもには、お買い物ごっこは想像できません。ですから、様々な経験が必要となります。あゆみ園では知識や情報だけを教えるのではなく、環境に対して、子どもが想像し知恵を使って考える経験を大切にします。そのためには、子どもが主体的に行動することが必要であり、主体的に行動するためには、どこまで遊びこめるかが鍵となるのです。

経験をいろいろなかたちで表現したり、複雑なルールを守ったり。成長につれ、遊びの中身は驚くほど高度なものへと変化していきます。一人では難しいことも、友だちや仲間の力を借りてできるようになります。つまり「あそび」は、将来の集中力や創造力、協調性へと繋がる第一歩なのです。想像力が伸びる時期に、先に文字や色、数字などの概念を教えこむのはもったいないことです。この時期に想像力がしっかりと伸びた子どもは、4歳すぎから、「なぜ」「どうして」「これは何」という知識欲の時代がやってきます。それ以前の時期に伸ばせなかった想像力は、後で伸ばすことが困難です。ですから、大切なのは、小さいうちに想像力を育て、文字や色、数字などの概念の下地を作っておくこと。それらは全て「あそび」の中に集約されているとあゆみ園では考えます。

(1) 保育時間

保育短時間	8時30分～16時30分
保育標準時間	7時30分～18時30分
土曜保育	7時30分～17時30分

(2) 行事

- ・「行事」は子どもが成長するために必要と考えますが、年齢、発達にそぐわない過度な行事はおこないません。0～2歳児は、繰り返される日常こそが、子どもに安心感を与えるため大きな行事はおこないません。

4月	*開園式・花まつり 前期健康診断 こどもの日のお祝い
5月	尿検査
6月	歯科検診 交通安全教室 *保育参加
7月	たなばた 花火教室 視力・聴力検査 *納涼祭
9月	*運動会(3～5) *総合防災・引き渡し訓練 おつきみ
10月	*参観・懇談会・栄養講座(3) *参観・懇談会・歯科講座(4～5) 後期健康診断 *保育参加
11月	社会福祉施設防災訓練 *親子遠足(2～5) *保育参加 七五三のお祝い *お遊戯会(4～5)
12月	成道会 クリスマス会 *もちつき
1月	*保育参加
2月	豆まき *奉仕作業(0～2) 涅槃会 *入園説明会(次年度新入園児) 園外保育「可睡斎ひなまつり」(4, 5)
3月	ひなまつり *奉仕作業(3～5) *卒園式(5) 修了式(3～5)

◎ *印・・・保護者参加行事

◎ 毎月・・・避難訓練、身体測定、誕生日のお祝い

小規模多機能型居宅介護事業所ひなた訪問(4, 5)

(3) 日課

日課は年間を通じて年齢別に発達段階に応じて園長、主任保育士、保育士が協議して定め、次のものを基本としています。

クラス名 時刻	いちご組 0歳児	さくらんぼ組 1歳児	ばなな組 2歳児	ぶどう組 3歳児	みかん組 4歳児	めろん組 5歳児
7:00	開園（必要時間にあわせて随時登園）					
8:00	名簿に登園時間を記入 個人のロッカーの荷物準備 合同保育					
9:00						
10:00	必要に応じて お昼寝	さまざまな遊び		クラス活動		
11:00	順次	順次	順次	食事 お昼寝		
12:00	食事	食事	食事		食事	食事
13:00	お昼寝	お昼寝	お昼寝	さまざまな遊び		
14:00	おやつ	おやつ	おやつ	必要に応じて お昼寝		
15:00				おやつ	おやつ	おやつ
16:00	合同保育（必要時間にあわせて随時降園）					
17:00	ロッカーの荷物片付け（お忘れ物の無いように）					
18:00	名簿に降園時間を記入					
19:00	閉園（降園完了）					

(4) 給食

- ・地産地消の食材を使い、温かい手作り「給食、おやつ」。離乳食、アレルギー対応食もおこなっています。

永平寺の開祖『道元禅師』は中国へと修業に渡った時、険しい山の中で椎茸を採っている一人の老僧に出会いました。「こんなに厳しい仕事をご老人にさせるなんて」と思った道元禅師に老僧は、「食材を扱う事は、それを口にする者の命を扱うという事。食事を頂く者の感謝は、命を持った食材に対する礼儀であり、食事に関わる全ての行いは、尊い修業です。」と諭されました。『食べる』という行いは、命をいただき、命をつなげることです。人として生きる上で大切な『食事』について、ルンビニあゆみ園の食育では、『頂ける事への感謝の気持ち』を育むことから始めています。

そして、食べ物が溢れている現代社会だからこそ「食育」にこだわらなければいけないと考えます。まずは、毎日の食事。規則正しい生活リズムで、日々の食事を食べる。これこそがなによりの食育です。旬の食材や、多彩な調理方法、バランスのとれた栄養は、子どもた

ちの「おいしい」笑顔につながっていきます。たくさんの「おいしい」という体験こそが、豊かな味覚と食への関心の源となっていきます。

一日当たりの平均栄養価摂取量

	3歳以上児		3歳未満児	
	熱量	蛋白質	熱量	蛋白質
給与目標	511.0 kcal	20.4 g	477.0 kcal	19.1 g
摂取量	543.1 kcal	21.16 g	490.6 kcal	19.4 g

一日当たり平均給食費

3歳以上児	252 円	3歳未満児	199 円
-------	-------	-------	-------

(5) 健康管理

袋井市諸井所在の岩本医師を嘱託医とし、定められた入所時健康診断（前期）・後期健康診断を実施し、又、まきの歯科クリニックによる歯科検診を年1回おこなった。

前期健康診断 4月19日 後期健康診断 10月23日

歯科検診 6月20日

尿検査 5月22日

視力・聴力検査 7月11日

各異常者なし

フッ素洗口 4, 5歳児のみ11月より開始。

(6) 災害非常対策

毎月1回 避難・消火訓練 9月 2日 総合防災・引き渡し訓練

11月 6日 社会福祉施設防災訓練

(7) 保育担当者

年・月齢、発達段階、生活リズムを考慮し、担当保育士を定めて保育をおこなう。

年度末3月1日時点の保育園児数と保育士

歳児別	クラス名	園児数	職員数
0歳児	いちご	15名	5名
1歳児	さくらんぼ	18名	4名
2歳児	ばなな	18名	3名
3歳児	ぶどう	21名	2名
4歳児	みかん	13名	1名
5歳児	めろん	1名	
給食室	管理栄養士		1名
	栄養士		1名
	調理員		2名
補助員			1名
職員室	園長・主任・副主任		3名
計		86名	23名

職員配置

年度当初 園長1名 主任1名 保育士15名

管理栄養士1名 栄養士1名 調理員2名

10月 補助員(パート)1名採用(0歳児入所による職員の雑務軽減のため)

1月 保育士(パート)1名採用(さらなる0歳児入所のため)

4. 実習受け入れ

10/15～28 保育実習 静岡こども福祉専門学校 1名

5. その他

(1) 職員研修

月	項目	参加職員	実施内容
4/20	いわた保育士会総会	園長・保育士5名	みんなで楽しくパーカッション
4/26	県保連保育所長研修会・総会	園長	保育の価値とリスク
5/7	曹洞宗保育連合会総会	園長	少子高齢・人口減少社会と保育政策の行方
5/13	県保連西部支部総会・所長研修会	園長	人材育成と働きやすい環境
5/28	県保育士会総会	園長	今後の幼児教育・保育のポイント
6/1	県栄養士会総会	管理栄養士	健康課題の現状と取り組み
6/14	県保連青年部会総会並びにシンポジウム	保育士	保育の環境を考えよう
6/15	いわた保育士会研	主任・保育士	明日からすぐに使える遊び
6/25～27	キャリアアップ研修	保育士	食育・アレルギー
6/29	県栄養士会研	管理栄養士	在宅訪問栄養指導の実態

7/3~4	関東ブロック保育研究大会	園長	すべての人が子どもと子育てに関わりをもつ社会の実現を目指して
7/19	県保連西部支部男性職員交流研修会	園長・保育士 2名・調理員	より良い教育・保育現場を実現するために
8/23	防犯講座	園長	園の防犯対策と子どもへの安全教育
8/31	保育講座	園長・主任・ 保育士6名	幼児教育のパラダイムシフト
8/31	食物アレルギー研	管理栄養士	食物アレルギー対応について
9/5~7	キャリアアップ研修	保育士	保護者支援・子育て支援
9/22~24	キャリアアップ研修	保育士	乳児保育
9/24~26	キャリアアップ研修	保育士	幼児保育
10/16~18	キャリアアップ研修	保育士	障害児保育
10/24~25	県保連民間園長会研	園長	今こそ子どもの最善の利益を見直す
10/30~31	県保育士会主任保育士研修会	主任	子どもの育ちを保障するために
11/5, 25~26	キャリアアップ研修	保育士	マネジメント
11/16	県栄養士会研	管理栄養士	根拠に基づいた栄養管理
11/26	県保育士会研	保育士	発達の支援・つなげる支援
12/7	いわた保育士会	園長・保育士2名	研究部会報告会
1/10	乳児保育研究会	主任・保育士	担当制 流れる日課について
1/24	乳児保育研究会	園長・主任	担当制 流れる日課について
1/29	公開保育	園長・保育士	いずみこども園
1/30	県保連施設長研	園長	保育環境への取り組みを通して
2/4	公開保育	保育士	桜木こどもの森
2/6	県保育士研	管理栄養士	子どもの発達と食育
2/10	公開保育	園長・保育士	みそらこども園
2/15	県栄養士研	管理栄養士	H A C C Pの義務化に向けて
2/25~27	キャリアアップ研修	保育士	保護者支援・子育て支援

(2) 職員会議

毎月、職員会議の中で保育を振り返る。職員会議、給食会議の他、0, 1歳の会議、3～5歳の会議など細分化しておこなっている。

(3) 保護者との連携及び連絡

担当・担任が、連絡ノートや口頭で伝達。毎週、金曜日にその週の様子を写真で掲示。園だよりの発行、保育参加への呼びかけ。施設の保育への理解を促している。令和2年度は、ICT化により書面のメール配信、ホームページの開設を予定している。

6. 感染症の動向

病名	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
溶連菌感染症		1			1	1	5	1	6				15
感染性胃腸炎		2		1									3
伝染性膿痂疹		1											1
咽頭結膜熱			2						6	2			10
アデノウイルス感染症			2						3				5
ヘルパンギーナ				2			3						5
RSウイルス感染症				1	1	1					3		6
手足口病				43	5	7	1						56
インフルエンザ								1	4	9	2		16
計	0	4	4	47	7	9	9	2	19	11	5	0	117

7. ヒヤリ・ハット

処置	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
子どもの危険行為	2	1		3									6
保育者の対応			1										0
環境不備													0
計	2	1	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	6

8. 事故報告

処置	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
園内処置	6	6	6	2	3	2	1	1		4	2	2	35
岩本外科	1												1
まきの歯科									1				1
他医院								1		1		1	3
計	7	6	6	2	3	2	1	2	1	5	2	3	40

喧嘩・噛みつき・ひっかき 16件

遊具や台からの落下 4件

つまずき、ぶつかり転倒 11件

人や物にぶつかるなどの接触 9件

うち医療機関にかかった事故 5件

- ・友だちと玩具の取り合いになり、振り向いた際にピアノの角に左側頭部をぶつけ裂傷(岩本外科)
- ・滑り台を滑り終えたところバランスを崩し、他児との激突防止の支柱に当たり上唇小帯裂傷(ふくろい中央歯科)
- ・園庭に築山から階段へ走って向かったところ転倒。上部歯肉裂傷(まきの歯科)
- ・車の玩具を踏んでしまい、足の裏裂傷(犬塚皮膚科)
- ・公園で転倒し手をつき、左肘亜脱臼(よしむら整形外科)

9. 苦情・要望等

歳児	保護者の意見・要望	園としての考え・対応
1	運動会を全年齢対象にして欲しい。たとえ種目が少なくても、その年齢なりにやるだけで親は満足できると思う。	お子様へのご関心をお持ちになっていただき大変うれしく思います。行事につきまして、あゆみ園では、子どもにも、保護者にも、職員にもできるだけ負担が少なくと考えております。行事を増やせば、必ず子ども、保護者、職員すべてに負担が増えます。幼い子どもには、一番大切な日常生活を崩してまで行事をおこなう必要はないと考えます。保護者の方も、仕事を休んで行事に参加することが増え、さらに小学生などの兄弟がいれば、園行事に学校行事もプラスされます。ご家庭でおこなっていただく用意・制作などの負担も、各園ではよくある話です。
2	運動会での鼓隊やお遊戯会、職員が作るアルバムなど楽しみにしていたものが無く残念。職員の負担は大きくなるが、子どもにとっても良い経験と思い出になる。	
1	もう少し参観会などの行事をして欲しい。園での成長をもっと見守ってほしい。	
2	小さい子のクラスでも運動会に参加したい。	アルバムの作成も、保護者の方にはお金、職員には勤務時間外の持ち帰り仕事（園長自信も保育士として徹夜で作業した経験もあります）。かなりの負担が増加します。昔からアルバム作成をおこなっている園でも、辞める園がでてきている時代です。ご理解ください。行事は決して親や職員が感動、満足するためにおこなうものではなく、あくまでも子どもが成長するためのものです。子どものためにどうあるべきか、今後も考え、皆様にご理解いただけるよう発信していきます。
3	マラソン大会など運動を通して子どもの成長ぶりを見られる機会があったらうれしい。	
2	遠足に両親揃ってバスに乗り参加したい。	
4	年に一度くらいでよいので、親子、もしくは母親同士の親睦会があると良い。	バスの事前予約は半年前より始まっており、両親が乗れるようにする場合は、1.5倍の席数確保は難しくはなりません。利用者数で経費を割るので、空席が多いと、各保護者の負担も増加します。バス申込時には、まだその年度の園児数も決定しておらず、何人の保護者が両親で利用するか未確定な状況でのバスの確保は難しく、単純に園児数の倍の席数確保とさせていただきます。来年度は5月21日（木）3～5歳児対象に親子遠足を企画しております。
3	今年の納涼祭、もちつき会のように保護者が無くても保護者の有志で行事が成り立てばそちらの方がありがたい。保護者が必要であれば、できるだけ負担の少ないものにして欲しい。	大きいお子さんのクラスでは、行事で集まる機会がありますので、連絡先を交換し、親睦会を開いてみてはいかがでしょうか。子育ての悩みなど、共有できると気持ちも楽になりますね。
1	普段の様子が分からない、他の子のことが、ほとんど分からないため、子どもとの会話が分からない。	今年度は、保護者が無いまま行事をさせていただきましたが、やはり保護者と園と一緒に子どもたちを育てていくためにも保護者が必要かと思えます。ただ、園児にも、保護者にも、職員にも優しい園を目指しているため、保護者の負担もできるだけ軽減したいと考えています。その時にはまたお力をお貸しいただけるようお願いいたします。
3	連絡帳を採用して欲しい。	
2	連絡帳が無い3～5歳児クラスはホワイトボード等メモ程度でよいので活動をわかるようにして欲しい。他2名	
2	食事、便の回数、昼寝の時間など生活面の様子を教えて欲しい。	連絡帳につきましては、今後も導入する予定はございません。1冊の記入に3分かかるとして、定員の25名が在籍した場合、75分かかります。保育園の職員は、一般企業と違い、園児が常にいるため、きちんとした休憩時間が取れないのが現状です。職員の負担も考慮し、連絡帳を省いております。また、クラス全体に対しての掲示も、行事以外の日常の保育では、子どもが興味を持った遊びに取り組んでいますので、ひとり一人遊びが違います。また、飽きるまで毎日同じ遊びをやり込み、少しずつ変化をしていきます。そのため一概にその日の出来事を表記するのは難しいかと思えます。連絡帳の使用が無く、ホームページもまだ無いので、保護者に向けて、週に一度、お知らせコーナーに写真を掲示したり、園だより、クラスだより等で保育内容を発信したりしています。また写真販売でもお子様の園での様子が分かるかと思えます。今後も、ご覧になっていただきたく、そこからお子様との会話をたのしんでいただければと思います。あとはぜひ、保育参加で普段の様子をみていただきたいと思えます。
1	お知らせコーナーの写真掲示。できるだけたくさん掲示して欲しい。	連絡帳につきましては、今後も導入する予定はございません。1冊の記入に3分かかるとして、定員の25名が在籍した場合、75分かかります。保育園の職員は、一般企業と違い、園児が常にいるため、きちんとした休憩時間が取れないのが現状です。職員の負担も考慮し、連絡帳を省いております。また、クラス全体に対しての掲示も、行事以外の日常の保育では、子どもが興味を持った遊びに取り組んでいますので、ひとり一人遊びが違います。また、飽きるまで毎日同じ遊びをやり込み、少しずつ変化をしていきます。そのため一概にその日の出来事を表記するのは難しいかと思えます。連絡帳の使用が無く、ホームページもまだ無いので、保護者に向けて、週に一度、お知らせコーナーに写真を掲示したり、園だより、クラスだより等で保育内容を発信したりしています。また写真販売でもお子様の園での様子が分かるかと思えます。今後も、ご覧になっていただきたく、そこからお子様との会話をたのしんでいただければと思います。あとはぜひ、保育参加で普段の様子をみていただきたいと思えます。
3	子どもに聞いてもよく分からない。引き渡し時に教えてもらえると嬉しい。	
3	おたよりに、その月歌っていた、読んでいる絵本、こどもたちが好きな絵本を教えてください。	
0	おたよりのペーパーレス化。ネット、メールでの配信。	ホームページ立ち上げの際は、ネット上でのおたよりの閲覧を検討予定ですが、紙媒体を無くしてしまうと、見る人、見ない人の差が更に開くと思われず。印刷代、紙代などかかりますが、紙媒体なら、家族の方全員にも目を通していただく機会が持てると思います。今後の社会の流れによっては、ペーパーレス化も検討していきます。
0	登降園管理の電子システム化。	3月より、登降園の管理、欠席の連絡などアプリを通じてできるようICT化の準備をしています。
3	園でケガをした際に、報告が無く残念。定期的に体調を確認して欲しい。	職員も気づかなかったようで、大変申し訳ございませんでした。もしそのようなことがあった場合は、職員にお知らせ願います。
1	仏教理念の取り込みをもっとして欲しい。	仏教保育へのご理解ありがとうございます。あゆみ園では仏教行事、降誕祭、成道会、涅槃会の他、食前の言葉を唱えて居ます。今後も、（生命の尊重）（修善）（協調）を子どもたちに伝えていけるよう努力してまいります。
0	平日に習い事ができないので、英語、体操など保育時間内でできたら良い。	小学校の教育では、到達目標がきまっておき「ここまで到達しなければならない」という教育をおこなっています。しかし、この幼児期の教育では、到達目標ではなく方向性を示しております。ですので、あゆみ園では、外国の文化に興味を持つことが、優先と考えます。自分の住んでいる国とは違う地理、文化、言語そういったものに興味をもつこそ外国語教育は成り立ちます。昨年というラグビーワールドカップ。国旗や国名に興味を持ちました。このような経験を今後も積んでいきたいと思えます。
3	低年齢時期には必要性はないかもしれないが、長年齢期には、小学校入学に備え、英語の習い事があるといい。	調査によると、体育指導に熱心な園では、運動能力の値が低く、自由に体を動かす保育をしていた園の方が運動能力の値が高かったという結果が出ています（2008年東京学芸大学・杉原隆教授の研究チーム等による調査）。この調査からは、“やらされる”ものより、自分で“やりたい”と楽しむほうが、子どもの能力を伸ばすことにつながっていることがわかります。あゆみ園の環境では、今のところ物足りなさがありますが、まだまだこれから発展していく園庭です。今後も、挑戦できる環境作りをおこなっていきます。また、お茶の水女子大学名誉教授の内田伸子先生の研究（2012・2014）によると、幼児期に読み書き能力に差があっても、「小学校1年生の6月には差がなくなる」ということです。「読み書きは、脳の発達の準備が整ってから学習し、習得するのが最も効果的」。就学前に読み書きができたからといって、その後もその能力差が続くわけではありません。この時期に本当は何が必要か、あゆみ園では考えています。
2	乳児保育担当制には共感できるが、2歳児クラスに必要な疑問。担当と子どもの相性があるが、子どもは先生を選べない。経験年数、育児経験、担当によって偏りができてしまうのではないかと、トイレや、食事は集団での声掛けで動くほうが、土連するのではないかと感じる。担当を決めてしまう保育の良さを、効果、成果、実際の子どもたちの言動などで知りたい。	貴重なご意見をありがとうございます。2歳児クラスの年齢ですと、排泄、食事はまだ個別対応が必要と考えます。排尿の感覚把握、スプーンの三点持ち、左手の使い方の確認。一斉保育では、そこまで気に掛けることができないのが、今の保育の現状です。先生との相性というものも確かに存在すると思えます。しかし、これは今後の園・学校生活でも常に存在し、担当制に限ったことではありません。担当制では、誰が保育をしても同じになるように、基本の部分は統一し、マニュアル化をすすめていますので、ご安心ください。
3	トイレ後石鹸を使用していないようだが。	年度当初、石けん遊びに使うお子さんが複数おり、職員も水道につきっきりになることは不可能で、石けんを子どもの手の届かないところにおいておりました。食事前後を中心に石けんを使用していましたが、今後は、常に水道に置くようにしていきます。

1	いつ頃から、園で歯磨きを開始するのか。	歯ブラシの使用についてですが、虫歯は短時間で急激に増えるものではなく、何日もかけてブランク（歯垢）化していくため、1日1回ゆっくり丁寧に磨いて、虫歯のリスクを下げる事が大切と考えます。また、子どもが、自分自身で歯磨きをおこなえるようになるのは、きちんとしたスプーンの持ち方（ペンを持つように親指・人差し指・中指で支える持ち方）ができるようになってからで、この持ち方ができると、力を入れすぎることがないので、歯や歯ぐきを痛めるなどのリスクも減ります。園での歯磨きは、2歳児（ばなな組）の1月よりおこなっていますが、園でおこなう歯磨きのねらいは、「歯ブラシを口に入れる歯磨きの経験を積んでいく」こと。小学校3年生くらいまでは仕上げ磨きが必要と聞きます。自分で歯を磨くようになるのはまだ先の話です。ですので、1日1回ゆっくり丁寧に磨くことは、今までどおりご家庭で続けてください。
3	発熱、嘔吐時の対応を教えてください。	職員室には医務コーナーもありますので、症状の良くない（特に感染症が疑われる）お子さんはそちらで預かるようにしています。連絡を入れた際には、お仕事の都合もあるかと思いますが、とにかくにも速やかなお迎えをお願いいたします。
0	病み上がりの子や、調子の悪い子は、元気な子と離して保育して欲しい。	当園では、病児保育、病後児保育をおこなっていませんので、病み上がりの子や、調子の悪い子は登園できません。体調が悪くなった際には、上記の対応をしています。速やかなお迎えをお願いいたします。
3	駐車場の照明を増やして欲しい。	駐車場への照明設置は、施工業者に確認したところ、アスファルトをはがすなどの工事が想定され、現在の園の運営ではとても対応できません。建物より、駐車場を照らす設備を、施工業者に発注している段階です。ずいぶん前に依頼しましたが、すでに冬至を過ぎ日が伸びていく季節になってしまいました。くれぐれも、事故の無いよう送迎の際は、必ずお子様の手をつないで移動をしてください。
4	今後遊具を増やす予定があれば、雲梯やジャングルジム、上り棒など、手や体を動かすものが増えればいい。	園の理想としては、木登りなどできる環境を作りたいと考えています。こちらも予算との兼ね合いになってしまいますが、今後も、挑戦できる環境作りをおこなっていきます。
2	高い滑り台。階段で落ちないか心配。	遊具については年齢制限をしていませんので、高い場所は危険と思われるかもしれませんが、しかし、危険だからと排除、制限するより、転んだとき、咄嗟に手が出せるように育てていくことが大切と考えます。今後も、ひとり一人の発達に伴って挑戦していく姿を大切にしていきたいと思います。もちろん、玩具を持ったまま遊具を使う、追いかけて走って使用するなどの大きなケガにつながる危険な行為はおこなわないよう伝えていきます。
3	テラスのすのこ周辺の砂や汚れが目立つときがある。	土曜日や、副主任の手の空いているときに掃除をしています。風が強いとすぐ砂が入り込んでしまいます。廊下は毎日、モップをかけておりますが、戸外まではなかなか手が回らない状況です。今後も、気をつけていきます。
2	エプロンにおかずがたくさんついたまま返却され、衛生面で気になる。	申し訳ありませんでした。園では、大きな食べかすなどは払ってから返却するようにしています。今後も気をつけていきます。
3	園で活動している写真を撮って販売して欲しい。 他1名	9月に配布した重要事項説明書に記載したように、1月より写真の販売を開始しました。ただ、主任、副主任ともできるだけ現場へ入っているため、事務仕事をこなす人手が足りず販売が遅れてしまい申し訳ございません。また、普段の送迎や、参観会、保育参加では、写真撮影を禁止しておりますが、親子遠足、納涼祭、運動会、発表会などの大きな行事は、各ご家庭で写真撮影可能です。
1	天候によって、北（幼児）棟と、南（乳児）棟の連結部が雨が降り込むこともあり大変。 他1名	ご迷惑をおかけして大変申し訳ございません。施工業者とも何度かお話をしていますが、強風が吹き抜けるため、対策に苦慮しております。また今後も、業者と検討していきます。
3	送迎の際、あいさつをしてくれない先生がいる。	不快な思いをさせてしまい、大変申し訳ございません。改めて、全職員に指導していきます。

令和元年度実績報告書

ルンビニ保育室 花びら

1. 所在地 静岡県袋井市浅羽2275番地の1

2. 各月初日現在年齢別措置児童数 (定員12名)

月 歳児	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
0	0	1	1	2	3	3	4	4	4	4	4	4	34
1	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
2	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
計	10	11	11	12	13	13	14	14	14	14	14	14	154

各月初日平均年齢別措置児童数 12.8人

対定員充足率 106%

3. 保育内容

ルンビニ保育室 花びらでは「乳児保育担当制」を取り入れています

よく知られている一斉保育。クラス単位で担任が子どもたちを一斉に保育する。赤ちゃんの時から、みんなでご飯を食べ、みんなで排泄をおこない、みんなでお昼寝。しかし、ルンビニ保育室 花びらではそのような保育はしません。自立へ向けてゆっくり歩みを進み始めたばかりで、生活リズムの個人差が大きい乳児に対して、特定の保育者が特定の子どもの育児（食事、排泄、睡眠など基本的な生活への援助）をします。もちろん一人ひとりの発達や生活のリズムに合わせるので、給食やお昼寝、おむつを交換する（排泄に誘う）タイミングが違います。

同じ大人が同じ子どもの日常へ密接に関わるというご家庭では当たり前のことを実践するために、できる限り丁寧に保育し、子どもたちが安心して過ごせ、大人との愛着関係を形成していけるようにしていきたいと考えています。

ルンビニ保育室 花びら 生活のしおりより抜粋

(1) 保育時間

保育短時間	8時30分～16時30分
保育標準時間	7時30分～18時30分
土曜保育	7時30分～17時30分

(2) 行事

4月	*花まつり 前期健康診断 こどもの日のお祝い
6月	歯科検診
7月	たなばた 奉仕作業（浅羽中央公園・対象：職員）地域の奉仕作業に参加 *ルンビニ第二保育園 納涼祭（園児5名参加） *ルンビニ保育園 納涼祭（園児2名参加） *ルンビニあゆみ園 納涼祭（園児3名参加）
9月	*ルンビニ第二保育園 運動会（2歳児1名参加） *総合防災・引き渡し訓練
10月	*ルンビニ保育園 運動会（2歳児参加なし） *保育参加 後期健康診断
11月	社会福祉施設防災訓練 *保育参加 七五三のお祝い
12月	ルンビニ保育園成道会（2歳児4名参加） ルンビニ保育園 もちつき会（2歳児4名参加） クリスマス会
2月	まめまき ルンビニ保育園 涅槃会（2歳児5名参加） *入園説明会
3月	ひなまつり お別れ会

◎ *印・・・保護者参加行事

◎ 毎月・・・避難訓練、身体測定、誕生日のお祝い

(3) 日課

7:30 随時登園 遊び
9:15 散歩（浅羽中央公園等）
10:30 帰園 遊び 給食準備
11:10 遊び 給食 午睡
14:30 起床 遊び おやつ準備
15:15 遊び おやつ
16:00 随時降園 遊び
～18:30

日課は年間を通じて年齢別に発達段階に応じて室長、副主任保育士、担当保育士が協議して定め、左記のものを基本としています。

一斉保育ではなく、一人ひとりに合わせた日課を実践するため、「遊び」「給食」「午睡」などが重なります。

(4) 給食

ルンビニ第二保育園参照

(5) 健康管理

袋井市諸井所在の岩本医師を嘱託医とし、定められた入所時健康診断（前期）・後期健康診断を実施し、又、まきの歯科クリニックによる歯科検診を年1回行いました。

前期健康診断	4月16日	後期健康診断	10月9日
歯科検診	6月13日		異常者なし

平成31年度 研修一覧

ルンビニ保育室花びら

	月日	時間	研修名	会場	参加者
1	4月11日	13:00~16:30	いわた保育士総会	竜洋なぎの木会館	岡田 晶子 左右木 依久美
2	4月21日	10:00~18:00	診療カウンセラー資格取得講座	アクト研修センター	岡田 晶子
3	4月26日	12:00~16:30	保育所連合会総会並びに所長研修会	静岡市民文化会館	岡田 晶子
4	5月5日	10:00~18:00	診療カウンセラー資格取得講座	アクト研修センター	岡田 晶子
5	5月11日	12:45~17:00	保育働き方講座	サイボウズ本社 カンファレンスルーム27F	岡田 晶子
6	5月13日	13:00~17:00	西部支部総会並びに施設長研修会	アクト コングレスセンター	岡田 晶子
7	6月2日	10:00~18:00	診療カウンセラー資格取得講座	アクト研修センター	岡田 晶子
8	6月14日	13:00~19:30	令和元年度 青年部総会並びに シンポジウム・情報交換会	静岡産業経済会館	岡田 晶子
9	6月25日	13:00~16:50	キャリアアップ研修 【食育・アレルギー】	アクト コングレスセンター	山田 敬子
	6月26日	9:00~16:35			山田 敬子
	6月27日	9:00~16:45			山田 敬子
10	7月19日	13:00~15:40	令和元年度 中堅職員研修会	アクト コングレスセンター	多田 琴美
11	7月21日	10:00~18:00	診療カウンセラー資格取得講座	アクト研修センター	岡田 晶子
12	8月4日	10:00~18:00	診療カウンセラー資格取得講座	アクト研修センター	岡田 晶子
13	8月25日	10:00~18:00	診療カウンセラー資格取得講座	アクト研修センター	岡田 晶子
14	9月5日	13:00~16:50	キャリアアップ研修 【保護者支援・子育て支援】	グランシップ	山田 敬子
	9月6日	9:00~16:35			山田 敬子
	9月7日	9:00~16:30			山田 敬子
15	9月20日	18:00~21:15	2019年 保育リーダーのための 『成長をし続けるチームを創る育成講座』	BIVI藤枝 1F セミナールーム	岡田晶子
16	9月22日	9:30~16:35	キャリアアップ研修 【乳児保育】	グランシップ	多田 琴美
	9月23日	9:30~16:35			多田 琴美
	9月24日	9:30~12:45			多田 琴美
17	9月24日	14:00~17:15	キャリアアップ研修 【幼児教育】	グランシップ	山田 敬子
	9月25日	9:30~16:35			山田 敬子
	9月26日	9:30~16:30			山田 敬子
18	9月28日	12:30~16:00	保育特別講座	浜松勤労会館Uホール	岡田晶子
19	10月3日 4日	12:00~18:00 9:00~16:00	管理職対象 接遇講座	研究社 英語センター会議室	岡田晶子
20	10月8日	9:30~16:35	キャリアアップ 研修 【保健衛生・安全対策】	沼津 プラザ'エルテ	左右木依久美
21	10月16日 17日	9:30~17:00 9:30~12:40	キャリアアップ 研修 【障害児保育】	グランシップ	多田琴美
22	10月17日	14:00~16:30	保育士のための働き改革セミナー	グランシップ	岡田晶子
23	10月18日	9:30~16:40	キャリアアップ 研修 【障害児保育】	グランシップ	山田敬子
24	10月24日 25日	12:30~18:00 9:30~12:00	令和元年度民間園長研修会	ホテルセンチュリー静岡 5F	岡田晶子
25	10月30日	13:30~16:00	令和元年度小児医療研修会	アクト コングレスセンター	岡田晶子
26	11月5日	9:30~12:40	キャリアアップ 研修 【マネジメント】	アクト コングレスセンター	左右木依久美
27	11月19日	9:30~16:00	令和元年度 育児相談研修会	静岡音楽館AOI講堂	岡田晶子
28	11月25日 26日	9:30~16:45	キャリアアップ 研修 【マネジメント】	アクト コングレスセンター	左右木依久美
29	12月21日	9:30~17:10	危機対応コミュニケーションセミナー	日本橋ビル	岡田晶子
30	1月10日	18:30~21:00	乳児保育研究会	浜松情報専門学校	岡田晶子 多田琴美
31	1月17日	17:30~21:30	保育リーダーのための育成講座	BIVI藤枝	岡田晶子 多田琴美
32	1月24日	18:00~21:00	乳児保育研究会	浜松情報専門学校	岡田晶子 多田琴美
33	1月30日	10:00~16:00	令和元年度施設長研修会	グランシップ	岡田晶子
34	2月18日	13:30~16:30	防犯管理者セミナー	あざれあ	岡田晶子

6. 感染症の動向

病名 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
感染性胃腸炎		1											1
手足口病				2									2
突発性発疹										1			1
インフルエンザB	1	1											2
計	1	2	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	6

7. ヒヤリ・ハット

9件

- ・首輪をつけていない犬が園周辺を徘徊している
- ・給食異物混入（配膳前だったため提供していない）
- ・勢いよく棚にもたれかかり傾き掛けた（転倒防止対策あり） 1歳児
- ・鈴のついた玩具を口に入れて、かみ切ろうとした。 0歳児
- ・キッチンとの境の扉にもたれかかり、扉が開いてしまった。 2歳児
- ・（嘔みつき／ひっかき）そうになった（4件）

8. 事故報告

8件

処置 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
園内処置			1	0	2	1	2	1				1	8
岩本外科													0
計	0	0	1	0	2	1	2	1	0	0	0	1	8

- ・転倒 3件
- ・（物／人）接触 2件
- ・嘔みつき 1件
- ・連絡帳入れ間違い 2件

9. 苦情・要望等

- ・産休、育休中も延長料金が発生してもいいので標準時間での保育をして欲しい。

10. 修善事業等

- ・玄関ゲート設置費 73,640円
- ・玄関センサーライト設置工事 25,300円
- ・電気容量増設工事 38,000円
- ・ココセコム工事費 12,210円